


内閣府食品安全委員会事務局
平成21年度食品安全確保総合調査報告書

食品安全に係る緊急事態等に対応した 情報提供の高度化に関する調査 報告書

平成22年3月

 株式
会社 **三菱総合研究所**

目次

I.	調査の概要	1
II.	国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査	7
	1. 食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型分析 ..	9
	2. 緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成	60
III.	定型的な説明資料の実効性の検証	65
	1. 消費者等の視点からの検証	67
	2. 緊急時対応訓練における実践による検証	89
IV.	まとめ	115

I. 調査の概要

目次

1. 調査目的.....	3
2. 調査項目.....	3
2.1 国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査	3
2.1.1 食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型 分析	4
2.1.2 緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成	4
2.2 定型的な説明資料の実効性の検証	4
2.2.1 消費者等の視点からの検証.....	4
2.2.2 緊急時対応訓練における実践による検証	4

1. 調査目的

緊急事態発生時に国民に対し危害物質の健康影響等について一層迅速で理解しやすい¹情報提供ができるよう説明資料の内容や表現等の高度化について、調査・分析した。また、その調査・分析した結果に基づき、定型的な国民への説明資料の整備等を検討し、その整備等について消費者等への意見聴取や内閣府食品安全委員会が主催する緊急時対応訓練（以下「訓練」）における実践により検証することを目的とした。

調査の全体像を図 1-1 に示す。

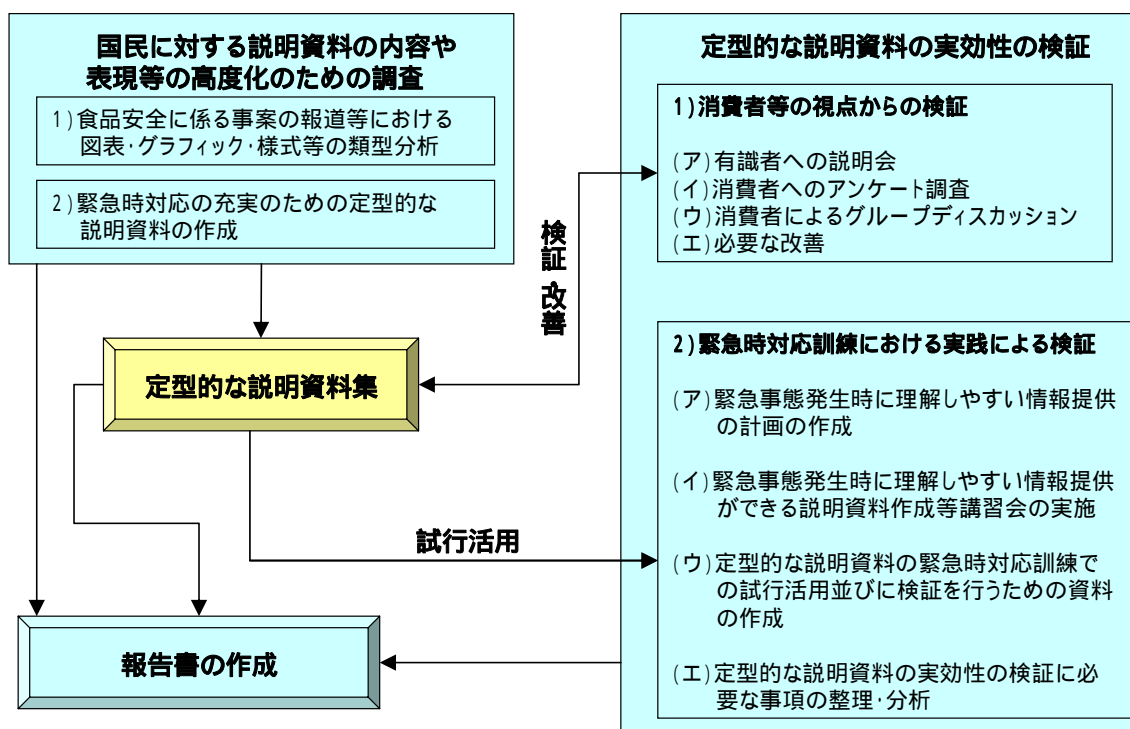


図 1-1 調査の全体像

2. 調査項目

2.1 国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査

理解しやすい説明や、食品安全委員会の信頼性を高める表現及びスピード感のある対応が求められることから、以下の調査を実施した。なお、調査に当たっては、食品安全委員会緊急時対応専門調査会及び食品安全委員会事務局（以下「事務局」という。）と対象とするハザード²の種類や健康影響の程度等について、検討・調整を行った。

¹ 「理解しやすい」：ここでは、緊急事態において、国民が理解しやすく、国民から誤解されないことを意味する。

² 「ハザード」：人の健康に悪影響を及ぼす原因となる可能性のある食品中の物質または食品の状態。有害微生物等の生物学的要因、汚染物質や残留農薬等化学的要因、放射線や食品が置かれる温度の状態等の物理的要因がある。

2.1.1 食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型分析

平成8年から現在まで、国内で発生した食品安全に係る事案等の国内における報道等について、報道等に用いられた図表・グラフィック・様式等を対象とするハザードの種類や健康影響の程度等パターンに類型分析し、緊急事態において、理解しやすい説明をする際に留意すべき点を取りまとめ整理した。

2.1.2 緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成

食品安全委員会の緊急時対応を更に充実させるため、対象とするハザードの種類や健康影響の程度等段階に応じた定型的な説明（単なる事件の説明ではない）資料を、前項の調査結果に基づき、過去の食品安全委員会や厚生労働省等の対応を参考に作成した。

2.2 定型的な説明資料の実効性の検証

「国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査」で作成した定型的な説明資料について、消費者や食品安全分野の専門家の視点から検証し必要な改善を図ると共に、実効性を確認した。

2.2.1 消費者等の視点からの検証

本調査で作成した定型的な説明資料について、有識者への説明会や消費者へのアンケート調査等により消費者等の視点から検証し、消費者等の意見を取りまとめ整理の上、意見を反映した必要な改善を図った。本調査では、以下の3種類の方法で検証を実施した。

- 有識者への説明会
- 消費者へのアンケート調査
- 消費者によるグループディスカッション

2.2.2 緊急時対応訓練における実践による検証

訓練において、今後起こりうる事例について、「国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査」で作成した定型的な説明資料を試行活用しつつ、緊急記者会見用説明資料及びホームページ掲載用説明資料を試行作成し、模擬記者会見においてプレゼンテーションを試行実施することを前提に、1)の調査結果（「消費者等の視点からの検証」）を踏まえ、緊急事態発生時に国民に対し危害物質の健康影響等の一層迅速で理解しやすい情報提供について計画提案するとともに、訓練での試行活用及び検証に必要な資料を作成した。

(1) 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供の計画の作成

食品安全委員会が作成する訓練のシナリオに応じて、内閣府食品安全委員会緊急時対応専門調査会及び事務局と検討・調整を行った対象とするハザードの種類や健康影響の程度等踏まえ、緊急事態発生時に理解しやすい情報提供の計画を作成した。

(2) 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供ができる説明資料作成等講習会の実施

前項で作成した情報提供計画に基づく訓練での定型的な説明資料の実効性を高めるため、訓練前に内閣府食品安全委員会委員・事務局職員等に対する緊急事態発生時に理解しやすい情報提供ができる説明資料作成等講習会を企画・開催した。

(3) 定型的な説明資料の緊急時対応訓練での試行活用並びに検証を行うための資料の作成

定型的な説明資料の緊急時対応訓練での試行活用並びに検証を行うための資料を作成した。

(4) 定型的な説明資料の実効性の検証に必要な事項の整理・分析

緊急記者会見用説明資料及びホームページ掲載用説明資料の作成や模擬記者会見におけるプレゼンテーションの試行実施への定型的な説明資料の活用の有効性を検討し、定型的な説明資料の実効性の検証に必要な事項を整理・分析した。

II . 国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査

目次

1. 食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型分析.....	9
1.1 調査対象事例	9
1.2 調査対象媒体と調査方法	10
1.3 調査結果	12
2. 緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成.....	60
2.1 作成対象	60
2.2 作成方針と作成した資料一覧	62

1. 食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型分析

1.1 調査対象事例

1.1.1 一般事例

以下の事例を対象として調査を行った。

表 調査対象事例

分類	ハザード	事例
化学物質	1. メタミドホス	中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生 (H.20.1) 事故米穀の不正規流通事案 (H.20.9)
	2. ジクロールボス	中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生 (H.20.1)
自然毒等	3. アフラトキシン B1	事故米穀の不正規流通事案 (H.20.9)
	4. フグ毒	フグ毒一般 (個別事例を対象にしない)
微生物・ウイルス等	5. 新型インフルエンザ	新型インフルエンザ (インフルエンザ A/H1N1) の発生 (H.21.4)
	6. ノロウイルス	ノロウイルス感染者の拡大 (H.18.12)
	7. プリオン	国内外の BSE 発生事案
	8. O157	かいわれ大根に関する風評被害が発生した集団食中毒事件 (H.8.7)
その他	9. スギヒラタケ	スギヒラタケが原因と疑われる急性脳症の発生 (H.19.10)
	10. 未認証遺伝子組み換えトウモロコシ Bt10	未認証遺伝子組み換えトウモロコシ Bt10 混入 (H.17.3)

1.1.2 食品安全委員会のリスク評価に関して報道された事例

食品安全委員会がリスク評価を行って報道された事例のうち、以下の事例を対象に調査を行った。

表 食品安全委員会のリスク評価に関して報道された事例のうち対象とする事例

「クローン牛・豚の評価に「安全」/食品委答申」(2009/06/26、読売)
「大豆イソフラボン配合特定保健用食品 妊婦・子どもに「推奨できない」/安全委」(2006/03/10、読売)
「メチル水銀摂取量 妊婦は現行比の4割減 食品安全委が基準試案」(2005/06/09、読売)
「BSE対策 全頭検査緩和を答申 生後20か月以下除外/食品安全委」(2005/05/07、読売)
「食品安全委、「アマメシバ粉末禁止」で存在意義 課題は山積」(2003/10/11、読売)

1.2 調査対象媒体と調査方法

新聞（全国紙）、サイエンス雑誌（専門学術雑誌を除く）、書籍、その他テレビ等マスメディアにおける映像資料を含む報道や解説記事等に用いられた図表・グラフィック・様式等（事例1件当たり20以上の図表・グラフィック・様式等）を調査の対象とし、各事例・事案の報道初日を基点として基点から1ヶ月を対象期間とした。ただし、他の事例を調査中に見つかったものやWEBについては対象期間外であってもカウントに含めた。また、ふぐ毒については、調査の基点が設定されないため、新聞・テレビの調査を行わなかった。

表 調査対象媒体と方法

種別	媒体名	調査方法	検索キーワード	対象期間
新聞（全国紙）	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞	日経テレコン・ELネット等のデータベース及び縮刷版の併用	各事例で個別に設定するキーワード	各事例の基点から1ヶ月間
子供新聞	朝日小学生新聞、毎日小学生新聞			
サイエンス雑誌	nature（ネイチャージヤパン）、Newton（ニュートンプレス）、milsil（国立科学博物館）、科学（岩波書店）、日経サイエンス（日経サイエンス）、食品と科学、食の科学	当該事例が話題となった時期3ヶ月程度の間発行された冊子（実物）を調査	「食品」	平成8年～平成21年9月

種別	媒体名	調査方法	検索キーワード	対象期間
テレビ報道	食品安全委員会所有の録画資料 週刊こどもニュースのWEBサイト	ビデオ、WEB サイト等		
書籍	食品汚染はなにが危ないのか(中西貴之、藤本ひろみ著 技術評論社)、食中毒のリスクと人間社会(清水潮著 幸書房)、食品の危険度安全度がわかる本(法研)、Q&Aでわかるおとなの食育新常識 105(主婦の友社)、危ない健康食品から身を守る本(コモンズ)、図解食育(全国学校給食協会)、筑波書房ブックレット暮らしのなかの食と農 41 安全・安心は食の原点(滝澤昭義著 筑波書房)、食と健康(ポプラ社)、食べ物はどうして血となり肉となる(技術評論社)	データベースの利用による検索と冊子(実物)を調査	「食品」	平成 8 年 ~平成 21 年 9 月
インターネット	関連する WEB サイトの資料	インターネット検索	各事例で個別に設定するキーワード	設定なし

1.3 調査結果

1.3.1 収集資料の整理の方針

以下に示す分類ごとに、使われている形式（図、表、グラフ等の区別）をカウントした。

表 収集資料の整理の方針

大分類	小分類	内容
健康影響評価に関わるもの	暴露量評価	対象商品一覧、販売店一覧等、個人にとっての暴露量に関する事項
	原因物質	原因物質の毒性、特性、法規制等
	原因食品	原因食品における物質混入量、混入の状況、健康影響等
その他、健康影響評価を補足するもの	行政機関の役割	行政機関の関係、輸入食品の監視体制等、食品安全行政に関する説明
	時系列的整理	当該事案の展開を時系列的に整理したもの
	サプライチェーン	原料調達先、流通経路、販売先などサプライチェーンに関する解説
	原因	当該事案の原因に関する解説
	被害拡大状況の整理	当該事案における被害の拡大に関するデータ
	事業者の対応	当該事案に関わる事業者の対応状況
	消費者意識	当該事案を受けた消費者意識に関する調査データ
	基礎データ	関連商品の流通量、輸入量、過去の事件等、当該事案とは直接関係はない補足データ
その他	海外情報など	

1.3.2 収集資料の一覧

(1) 一般事例

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生 (H.20.1)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
1-	A1	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	ジェイティブーズが自主回収する商品	暴露量評価	表
1-	A2	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	味の素冷凍食品による自主回収商品	暴露量評価	表
1-	A3	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	加ト吉が自主回収する主な商品	暴露量評価	表
1-	A4	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	輸入商品の監視体制	行政機関の役割	その他
1-	A5	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	輸入食品の届け出件数と検査件数の推移	基礎データ	折れ線グラフ
1-	A6	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	中国の商品などをめぐるこれまでの主な出来事	基礎データ	表
1-	A7	朝日新聞	2008/1/31	朝刊	中国製冷凍ギョウザの中毒をめぐる経緯	時系列的整理	表
1-	A8	朝日新聞	2008/1/31	夕刊	各社が自主回収する商品	暴露量評価	表
1-	A9	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	中国からの主な食品の輸入量	基礎データ	折れ線グラフ
1-	A10	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	現状の消費者行政のイメージ	行政機関の役割	図(チャート)
1-	A11	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	海外の消費者政策の組織	その他	図(チャート)
1-	A12	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	冷凍食品の個別輸入量	基礎データ	折れ線グラフ
1-	A13	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	メタミドホスどこで混入?	原因	図(チャート)
1-	A14	朝日新聞	2008/2/1	朝刊	これまでに判明した事実	原因食品	表
1-	A15	朝日新聞	2008/2/2	朝刊	中国製ギョウザ問題での企業の対応	事業者の対応	表
1-	A16	朝日新聞	2008/2/2	朝刊	輸入に占める中国産の割合は?	基礎データ	円グラフ
1-	A17	朝日新聞	2008/2/3	朝刊	農薬成分混入が判明した中国製ギョウザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	A18	朝日新聞	2008/2/3	朝刊	ギョウザの製造工程	サプライチェーン	図(チャート)
1-	A19	朝日新聞	2008/2/3	朝刊	冷凍食品の消費量の推移	基礎データ	複合(棒折線)グラフ
1-	A20	朝日新聞	2008/2/4	朝刊	ギョウザ製造から販売までの流れ	サプライチェーン	図(チャート)
1-	A21	朝日新聞	2008/2/4	朝刊	メタミドホスが検出された9袋の中国製冷凍ギョウザ	原因食品	表
1-	A22	朝日新聞	2008/2/5	朝刊	中国製冷凍ギョウザの出荷の流れとメタミドホス検出の状況	時系列的整理	図
1-	A23	朝日新聞	2008/2/5	朝刊	ギョウザ製造工程の見取り図	原因	図(見取り図)
1-	A24	朝日新聞	2008/2/5	朝刊	農薬成分が検出された2種類のギョウザの流通経路	サプライチェーン	その他
1-	A25	朝日新聞	2008/2/5	夕刊	千葉県でみつかった汚染ギョウザの流通ルート	サプライチェーン	その他
1-	A26	朝日新聞	2008/2/6	朝刊	新たに見つかった農薬(ジクロロホス)	原因食品	図
1-	A27	朝日新聞	2008/2/6	朝刊	コープあいつで購入(11/10)	サプライチェーン	その他
1-	A28	朝日新聞	2008/2/6	朝刊	ジクロロホスの検出までの主な経緯	時系列的整理	表
1-	A29	朝日新聞	2008/2/7	夕刊	「CO・OP 手作り餃子」ジクロロホス検出までの経緯	時系列的整理	その他
1-	A30	朝日新聞	2008/2/7	朝刊	有機リン系農薬成分が検出された中国・天津食品製冷凍ギョウザの汚染状況	原因食品	表
1-	A31	朝日新聞	2008/2/7	夕刊	汚染されたギョウザと同一製造日の市品が流通したとみられる都道府県	被害拡大状況の整理	地図
1-	A32	朝日新聞	2008/2/8	朝刊	メタミドホスが検出された天津食品製冷凍ギョウザの汚染状況(警察・検査機関の鑑定などによる)	原因食品	表
1-	A33	朝日新聞	2008/2/10	朝刊	ジクロロホスが検出された「CO・OP 手作り餃子」	原因食品	表
1-	A34	朝日新聞	2008/2/10	朝刊	原産地の表示義務	基礎データ	その他
1-	A35	朝日新聞	2008/2/11	朝刊	食品業界の安全・安心対策の例	事業者の対応	表
1-	A36	朝日新聞	2008/2/11	朝刊	食品の安全性の保証についての保証	消費者意識	棒グラフ
1-	A37	朝日新聞	2008/2/13	朝刊	商品パッケージの生産工場と、主な原料産地の表示	基礎データ	図
1-	A39	朝日新聞	2008/2/16	朝刊	ギョウザ事件の経過と中国の反応	時系列的整理	その他
1-	NK1	日本経済新聞	2008/1/31	朝刊	自主回収を発表した冷凍食品など	暴露量評価	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
1-	NK2	日本経済新聞	2008/1/31	夕刊	新たに自主回収を発表した冷凍食品など	暴露量評価	表
1-	NK3	日本経済新聞	2008/1/31	夕刊	中国製加工食品などに関する小売りや外食各社の動き	事業者の対応	表
1-	NK4	日本経済新聞	2008/2/1	朝刊	中国製冷凍食品の購入額と国内総市場に占める比率	基礎データ	複合(棒折線)グラフ
1-	NK5	日本経済新聞	2008/2/1	朝刊	輸入食品の検査の流れ	行政機関の役割	図(チャート)
1-	NK6	日本経済新聞	2008/2/1	朝刊	中国製加工食品などに関する小売りや外食各社の動き	事業者の対応	表
1-	NK7	日本経済新聞	2008/2/1	朝刊	冷凍食品の国内市場規模	基礎データ	棒グラフ
1-	NK8	日本経済新聞	2008/2/1	朝刊	各社が自主回収を発表した冷凍食品など	暴露量評価	表
1-	NK9	日本経済新聞	2008/2/3	朝刊	中国製冷蔵食が届くまで	サプライチェーン	図(チャート)
1-	NK10	日本経済新聞	2008/2/4	朝刊	中毒が判明した中国製ギョーザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	NK11	日本経済新聞	2008/2/4	朝刊	殺虫剤が検出された商品	原因食品	表
1-	NK12	日本経済新聞	2008/2/4	夕刊	中国製冷凍ギョーザによる中毒問題の流れ	時系列的整理	その他
1-	NK13	日本経済新聞	2008/2/5	朝刊	中毒が判明した中国製ギョーザの流通経路とメタミドホスの検出状況	サプライチェーン	図(チャート)
1-	NK14	日本経済新聞	2008/2/6	朝刊	新たな殺虫剤が検出された中国製ギョーザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	NK15	日本経済新聞	2008/2/6	朝刊	ジクロロボスが検出された「CO・OP手作り餃子」と同一製造日の商品が納入された生協一覧	暴露量評価	表
1-	NK16	日本経済新聞	2008/2/6	夕刊	食品表示でわかること、わからないこと	基礎データ	表
1-	NK17	日本経済新聞	2008/2/7	朝刊	ギョーザ事件 1週間	時系列的整理	表
1-	NK18	日本経済新聞	2008/2/7	朝刊	殺虫剤が検出された商品	原因食品	表
1-	NK19	日本経済新聞	2008/2/7	夕刊	主な中国野菜の輸入量と国内流通シェア	基礎データ	表
1-	NK20	日本経済新聞	2008/2/9	夕刊	全国の検疫所に届け出があった輸入食品などの数量	基礎データ	折れ線グラフ
1-	NK21	日本経済新聞	2008/2/25	夕刊	中国製冷凍食品から検出された薬物の状況	原因食品	表
1-	M1	毎日新聞	2008/1/31	夕刊	全国の保健所などに届けられた被害(日本地図図式)	被害拡大状況の整理	図
1-	M2	毎日新聞	2008/2/1	朝刊	冷凍ギョーザ中毒事件をめぐる関係機関の動き	時系列的整理	図
1-	M3	毎日新聞	2008/2/1	夕刊	保健所への多い質問例と回答	暴露量評価	その他
1-	M4	毎日新聞	2008/2/2	朝刊	冷凍ギョーザの輸送経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	M5	毎日新聞	2008/2/3	朝刊	中国産冷凍食品による健康被害の相談数	被害拡大状況の整理	表
1-	M6	毎日新聞	2008/2/4	朝刊	中国製冷凍ギョーザ中毒事件の一覧	原因食品	表
1-	M7	毎日新聞	2008/2/5	朝刊	天洋食品の製造工程	原因	図(見取り図)
1-	M8	毎日新聞	2008/2/6	朝刊	中毒を起こした2食品の出荷の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
1-	M9	毎日新聞	2008/2/6	朝刊	中国製冷凍ギョーザ中毒事件の一覧	原因食品	表
1-	M10	毎日新聞	2008/2/8	朝刊	殺虫剤を検出した袋の特徴	原因食品	表
1-	M11	毎日新聞	2008/2/9	朝刊	ギョーザ包装前後の工程と人員配置	原因	図(見取り図)
1-	M12	毎日新聞	2008/2/10	朝刊	二つの農薬の比較(メタミドホス・ジクロロボス)	原因物質	表
1-	M13	毎日新聞	2008/2/10	朝刊	ギョーザ事件についての各地の声	消費者意識	表
1-	M14	毎日新聞	2008/2/10	朝刊	冷凍食品の購入状況	消費者意識	円グラフ
1-	M15	毎日新聞	2008/2/16	朝刊	メタミドホス微量検出一覧	原因食品	表
1-	Y1	読売新聞	2008/1/31	朝刊	JTFが自主回収する商品一覧(商品パッケージ写真付)	暴露量評価	表
1-	Y2	読売新聞	2008/1/31	朝刊	冷凍ギョーザの輸入・流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
1-	Y3	読売新聞	2008/1/31	朝刊	中国製輸入食品をめぐる過去のトラブル	基礎データ	表
1-	Y4	読売新聞	2008/2/1	朝刊	食品輸入の届出手続きと流れ	行政機関の役割	図(チャート)
1-	Y5	読売新聞	2008/2/1	朝刊	中国製ギョーザなどの商品を回収する生協・自主回収される商品と問い合わせ先	暴露量評価	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
1-	Y6	読売新聞	2008/2/2	朝刊	冷凍食品中毒事件に関して保健所に届けがあった事例一覧(都調べ)	被害拡大状況の整理	表
1-	Y7	読売新聞	2008/2/2	朝刊	主な自主回収商品(市販用)と問い合わせ先(商品パッケージ写真付)	暴露量評価	表
1-	Y8	読売新聞	2008/2/4	朝刊	殺虫剤メタミドホスが検出された冷凍ギョーザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	Y9	読売新聞	2008/2/4	夕刊	[中華 de ごちそう ひとくち餃子]の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
1-	Y10	読売新聞	2008/2/5	朝刊	天洋食品工場の見取り図	原因	図(見取り図)
1-	Y11	読売新聞	2008/2/6	朝刊	ジクロルボスが検出された「C.O.P 手作り餃子」の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	Y12	読売新聞	2008/2/6	朝刊	各地で殺虫剤が検出されたギョーザ	原因食品	表
1-	Y13	読売新聞	2008/2/6	朝刊	天洋食品の冷凍食品を巡りJTF側に寄せられたクレーム	時系列的整理	表
1-	Y14	読売新聞	2008/2/9	朝刊	殺虫剤などが検出された商品の流れと概要	サプライチェーン	図
1-	Y15	読売新聞	2008/2/10	朝刊	中国製冷凍ギョーザに関しとど府県などに寄せられた相談・報告	被害拡大状況の整理	表
1-	Y16	読売新聞	2008/2/22	朝刊	中国製冷凍食品から検出された有機リン系殺虫剤	原因物質	表
1-	Y17	読売新聞	2008/2/28	朝刊	転用食品製冷凍ギョーザ問題で判明した事実と、日中両国の当局者の公式発言	時系列的整理	表
1-	S1	産経新聞	2008/1/31	朝刊	JT 子会社23品目自主回収	暴露量評価	表
1-	S2	産経新聞	2008/1/31	朝刊	中国製冷凍ギョーザの輸入経路	サプライチェーン	地図
1-	S3	産経新聞	2008/1/31	朝刊	中国からの輸入品をめぐる問題	基礎データ	表
1-	S4	産経新聞	2008/2/1	朝刊	自主回収を発表した一覧	暴露量評価	表
1-	S5	産経新聞	2008/2/1	朝刊	冷凍食品の国内消費量の推移	基礎データ	棒グラフ
1-	S6	産経新聞	2008/2/1	朝刊	中国製ギョーザ中毒事件の経緯	時系列的整理	表
1-	S7	産経新聞	2008/2/2	朝刊	中国製ギョーザによる中毒の症状	原因食品	表
1-	S8	産経新聞	2008/2/2	朝刊	中毒が判明した中国製ギョーザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	S9	産経新聞	2008/2/3	朝刊	全国の主な検疫所	行政機関の役割	地図
1-	S10	産経新聞	2008/2/4	朝刊	中国産ギョーザの生産・流通過程と想定される農薬混入ケース	原因	図(チャート)
1-	S11	産経新聞	2008/2/4	朝刊	中毒が判明した中国製ギョーザの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	S12	産経新聞	2008/2/5	朝刊	天洋食品工場の見取り図	原因	図(見取り図)
1-	S13	産経新聞	2008/2/6	朝刊	検出された農薬の比較	原因物質	表
1-	S14	産経新聞	2008/2/6	朝刊	中国製ギョーザ中毒事件の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
1-	S15	産経新聞	2008/2/9	朝刊	殺虫剤などが検出された商品の特徴	原因食品	表
1-	S16	産経新聞	2008/2/9	朝刊	毒ギョーザ 日中の見解	その他	表
1-	S17	産経新聞	2008/2/10	朝刊	中国製ギョーザで中毒についてのアンケート結果	消費者意識	その他
1-	S18	産経新聞	2008/2/22	朝刊	中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質	原因物質	表
1-	ZNE	Newton	2008.4月号		メタミドホスが信号伝達を乱すしくみ	原因物質	図
1-	ZSST1	食品と科学	2008.6月号		2007年に起こった食品不祥事のまとめ	基礎データ	表
1-	ZSST2		2008.6月号		不祥事における管理内容の変化	基礎データ	図(チャート)
1-	ZSK1	食品工業	2008.4月15号		冷凍食品生産高の最近5ヵ年の推移	基礎データ	表
1-	ZSK2		2008.4月15号		平成17年・18年 冷凍食品品目別生産数量、生産金額比較	基礎データ	表
1-	ZSK3		2008.4月15号		日本の冷凍食品輸入量と消費量に占める中国からの割合	基礎データ	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
1-	- 4	NHK (米国产牛肉せき柱混入事例、NHK 食の安全基準を探る、新トーカー人の選択)	4/22 ~		餃子に混入したメタミドホスの検出量	原因物質	図
1-	- 5		4/24、5/2 20:00 ~ 20:45、5/8				
1-	D2-1	フジテレビ(新報道 2001 “キーマンに聞け 野田大臣に問う食の安全”)	H20.11.16		サンプル検疫と家庭に届くまでのタイムラグ	サプライチェーン	図
1-	D2-2		H20.11.16		消費者庁の説明(4枚まとめて)	行政機関の役割	図
1-	D2-3		H20.11.16		食品問題に関する法律	行政機関の役割	図
1-	D2-4		H20.11.16		消費者庁の権限	行政機関の役割	図
1-	SKN-1	NHK(週刊こどもニュース)	2008/1/12		餃子の流れ	サプライチェーン	図
1-	SKN-2		2008/1/12		工場内部	原因	図
1-	SKN-3		2008/1/12		袋詰め	原因	図
1-	SKN-4		2008/2/2		冷凍餃子模型	原因食品	図
1-	SKN-5		2008/2/2		検疫の流れ	行政機関の役割	図
1-	SKN-6		2008/2/2		全体の流れ	サプライチェーン	図
1-	SAO1	食品汚染はなにが危ないのか			メタミドホスの作用メカニズム	原因物質	図
1-	SAO2				千葉県警によるメタミドホス濃度の分析結果	原因食品	表
1-	WEB1	国立医薬品食品衛生研究所			国際化学物質安全性カード:メタミドホス	原因物質	表
1-	WEB2	鹿児島大学農学部 岡本嘉六			実際の残存量・一過性超過は健康に影響せず	原因物質	図
計	131						

事故米穀の不正規流通事案（H.20.9）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
2-	A1	朝日新聞	2008/9/6	夕刊	今回の事故米の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A2	朝日新聞	2008/9/6	夕刊	事故米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A3	朝日新聞	2008/9/7	朝刊	政府が三笠フーズに売却した事故米	基礎データ	表
2-	A4	朝日新聞	2008/9/9	夕刊	これまでに判明した事故米の流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A5	朝日新聞	2008/9/10	夕刊	事故米購入・販売業者と主な用途	サプライチェーン	表
2-	A6	朝日新聞	2008/9/11	朝刊	浅井の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A7	朝日新聞	2008/9/12	朝刊	近畿2府4県で使用された事故米の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A8	朝日新聞	2008/9/13	朝刊	メタミドホスで汚染された中国産もち米の流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A9	朝日新聞	2008/9/14	朝刊	自主回収に乗り出している主な会社と商品	暴露量評価	表
2-	A10	朝日新聞	2008/9/14	朝刊	三笠フーズからの事故米の流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A11	朝日新聞	2008/9/14	朝刊	浅井と太田産業からの事故米流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A12	朝日新聞	2008/9/17	朝刊	三笠フーズによる汚染米の流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A13	朝日新聞	2008/9/19	朝刊	京都の学校給食・シノフーズへの流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A14	朝日新聞	2008/9/28	朝刊	事故米が消費者の口へ入ってしまうまで	サプライチェーン	図(チャート)
2-	A15	朝日新聞	2008/9/30	朝刊	事故米が含まれている可能性が判明した学校や幼稚園の給食	被害拡大状況の整理	表
2-	NK1	日経新聞	2008/9/6	朝刊	今回の農薬残留米の販売経緯	サプライチェーン	図
2-	NK2	日経新聞	2008/9/11	朝刊	愛知2社による事故米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK3	日経新聞	2008/9/12	朝刊	事故米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK4	日経新聞	2008/9/12	朝刊	三笠フーズから事故米が流通した府県と業者数	サプライチェーン	地図
2-	NK5	日経新聞	2008/9/14	朝刊	汚染された中国産もち米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK6	日経新聞	9/15 マンデー日経	朝刊	コメの取引価格	基礎データ	折れ線グラフ
2-	NK7	日経新聞	2008/9/15	朝刊	事故米の主な流通経路の解明状況	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK8	日経新聞	2008/9/17	朝刊	三笠フーズによる事故米流通ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK9	日経新聞	2008/9/20	朝刊	ミニマムアクセス米の販売状況	基礎データ	円グラフ
2-	NK10	日経新聞	2008/9/20	朝刊	仲介業者を使った事故米の取引の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK11	日経新聞	2008/9/24	朝刊	「食の安全」に関係する主な政府部門	行政機関の役割	表
2-	NK12	日経新聞	2008/9/24	夕刊	三笠フーズを巡る事故米の主な不正転売ルート	サプライチェーン	図(チャート)
2-	NK13	日経新聞	2008/9/24	夕刊	三笠フーズの事故米転売を巡る主な経緯	時系列的整理	表
2-	NK14	日経新聞	2008/9/26	朝刊	事故米問題の検査強化案	行政機関の役割	図(チャート)
2-	NK15	日経新聞	2008/10/4	朝刊	中国産食品・食材の安全・偽装問題(2008年)	基礎データ	表
2-	M1	毎日新聞	2008/9/6	朝刊	三笠フーズの事故米流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M2	毎日新聞	2008/9/6	朝刊	事故米転売問題の経緯	時系列的整理	その他
2-	M3	毎日新聞	2008/9/8	朝刊	事故米の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M4	毎日新聞	2008/9/9	朝刊	三笠フーズの事故米流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M5	毎日新聞	2008/9/10	朝刊	メタミドホス汚染米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M6	毎日新聞	2008/9/12	朝刊	汚染米の主な流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M7	毎日新聞	2008/9/13	朝刊	事故米ダミー取引の構図	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M8	毎日新聞	2008/9/15	朝刊	三笠フーズが購入した事故米	基礎データ	表
2-	M9	毎日新聞	2008/9/16	夕刊	事故米の転売にかかわった約370社の企業名などが記載された一覧表	サプライチェーン	表
2-	M10	毎日新聞	2008/9/17	朝刊	三笠フーズによる不正規流通の概要(農水省中間報告)	サプライチェーン	図(チャート)
2-	M11	毎日新聞	2008/9/20	朝刊	事故米転売問題と農水省の対応	時系列的整理	その他
2-	M12	毎日新聞	2008/9/23	朝刊	汚染米使用の給食数	被害拡大状況の整理	表
2-	M13	毎日新聞	2008/9/24	夕刊	三笠フーズによる汚染米転売の流れ	サプライチェーン	図(チャート)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
2-	Y1	読売新聞	2008/9/7	朝刊	メタミドホスとアフラトキシンで汚染された米の流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	Y2	読売新聞	2008/9/11	朝刊	新たに判明した契約違反となる事故米の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	Y3	読売新聞	2008/9/12	朝刊	ミニマム・アクセス米の流れ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	Y4	読売新聞	2008/9/17	朝刊	三笠フーズによる不正流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	Y5	読売新聞	2008/9/19	朝刊	「事故米」不正転売問題を巡る動き	時系列的整理	表
2-	Y6	読売新聞	2008/9/19	朝刊	三笠フーズからの事故米流通ルートの一つ	サプライチェーン	図(チャート)
2-	S1	産経新聞	2008/9/6	朝刊	三笠フーズが仕入れた事故米穀	基礎データ	表
2-	S2	産経新聞	2008/9/13	朝刊	事故米の主な流通経路	サプライチェーン	図(チャート)
2-	S3	産経新聞	2008/9/13	朝刊	事故米が使われ回収されている主な商品	暴露量評価	表
2-	S4	産経新聞	2008/9/15	朝刊	汚染米の食用などへの流通ルート(農水省など調べ)	サプライチェーン	図(チャート)
2-	S5	産経新聞	2008/9/17	朝刊	汚染米流通先の業者一覧(2枚)	サプライチェーン	表
2-	S6	産経新聞	2008/9/17	朝刊	三笠フーズによる不正規流通の概要(農水省発表)	サプライチェーン	図(チャート)
2-	S7	産経新聞	2008/9/23	朝刊	新たな流通先(政府発表)・事故米を出荷していなかった業者	サプライチェーン	表
2-	ZNE	Newton	2008.12 月号		カビが死んでも、カビ毒は残る	原因物質	図
2-	ZSKO-1	食品工業	2008/4/30		代表的なカビ毒	原因物質	表
2-	ZSKO-2	食品工業	2008/4/30		カビ発生による回収広告	基礎データ	表
2-	D1-1		2008/10/8		輸入米の検査ルート	行政機関の役割	図(チャート)
2-	D1-2	テレビ朝日(報道ステーション)	2008/10/8		ベトナム汚染米のルート	行政機関の役割	地図
2-	D1-3		2008/10/8		「三笠フーズフーズによる不正規流通の概要」(中間報告)	サプライチェーン	図(チャート)
2-	SKN-1		2008/9/13		事故米とは	原因食品	図
2-	SKN-2	NHK(週刊こどもニュース)	2008/9/13		事故米とは2	サプライチェーン	図
2-	SKN-3		2008/9/13		ミニマムアクセス	基礎データ	図
2-	SKN-4		2008/9/13		三笠フーズ	サプライチェーン	図
2-	SAO1	食品汚染はなに			アフラトキシンの構造	原因物質	図
2-	SAO2	が危ないのか			事故米の流通	サプライチェーン	図(チャート)
2-	SAO3	食品汚染はなに			ポジティブリスト制度が事故米に与える影響	基礎データ	図
2-	SAO4	が危ないのか			うるち米の安全性を計算する	原因物質	図
2-	SAO5				ミニマムアクセス米の輸入量	基礎データ	棒グラフ
2-	AA1				米が輸入されるまで	サプライチェーン	その他
2-	AA2	安全・安心は食の原点			最近の主なアフラトキシン検出事例(厚労省資料・基準超過分のみ)	基礎データ	表
2-	AA3				輸入米から「カビ状の異物」発見	基礎データ	表
2-	AA4				ミニマムアクセス米の輸入契約数量	基礎データ	表
2-	WEB1	コープこうべ商品検査センター			食べる可能性がある物質の発がん性の比較	原因物質	その他
計	76						

フグ毒一般（個別事例を対象にしない）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別	
3-	ZNE-1	Newton	2008.4 月号		フグの仲間と猛毒テロドトキシ	原因食品	表	
3-	ZNE-2		2008.4 月号		テロドトキシを持つ生物たちの例	原因食品	図	
3-	SAO1	食品汚染はなに が危ないのか	2009.4 発行		テロドトキシの構造	原因物質	図	
3-	SAO2		2009.4 発行		テロドトキシによる情報伝達ブロッ クのメカニズム	原因物質	図	
3-	WEB1	環境省(社)瀬 戸内海環境保 全協会運営			テロドトキシ保有動物の毒化機 構	原因物質	図(チャート)	
3-	WEB2	神奈川県ふぐ協 会			各種ふぐの最高毒力表	原因食品	表	
3-	WEB3				毒性の頻度	原因食品	表	
3-	WEB4	横浜市			ふぐ食中毒発生状況	被害拡大状況の整理	円グラフ	
3-	WEB5				ふぐ中毒の死者数	被害拡大状況の整理	棒グラフ	
3-	WEB6				原因施設別ふぐ中毒事件数	原因	円グラフ	
3-	WEB7				ふぐ認証店	その他	表	
3-	WEB8	神奈川県福祉 保健センター			ふぐ加工製品の販売店	その他	表	
3-	WEB9	東京都福祉保 健局			食用にしてもよいフグ	原因物質	表	
3-	WEB10				危険がいっぱい! ふぐの素人料理	その他	図	
3-	WEB11	大阪市立大学			ナトリウムイオンチャンネルタンパク の構造	原因物質	図	
3-	WEB12				フグ毒:テロドトキシ(TTX)の立 体構造	原因物質	図	
3-	WEB13				アダマンタン(ダイヤモンドの構造ユ ニット)と同じ立体構造	原因物質	図	
3-	WEB14	個人サイト「食 の安全と安心の ために」			食中毒病院物質別死者数(人)	被害拡大状況の整理	表	
3-	WEB15	Wikipedia「テロ ドトキシ」			テロドトキシの分子構造	原因物質	図	
3-	WEB16				テロドトキシの分子構造3D表示	原因物質	図	
3-	WEB17				テロドトキシの分子構造 CPK モ デル	原因物質	図	
3-	WEB18	国立科学博物 館			適切な処理等により人の健康を損な う恐れがないと認められるフグの種 類及び部位	原因食品	表	
3-	WEB19				マフグ	原因食品	図	
3-	WEB20				ハマフグ	原因食品	図	
3-	WEB21				ハリセンボン	原因食品	図	
3-	WEB22				ツムギハゼ	原因食品	図	
3-	WEB23				ハナムシロガイ	原因食品	図	
3-	WEB24				ヒョウモンダコ	原因食品	図	
3-	WEB25				スベスベマンジュウガニ	原因食品	図	
3-	WEB26				フグ毒の強さ	原因食品	表	
3-	WEB27		個人サイト「毒 魚って何だろ う?」			クサフグの毒性	原因食品	表
3-	WEB28					コモンフグの毒性	原因食品	表
3-	WEB29					ヒガンフグの毒性	原因食品	表
3-	WEB30					ショウサイフグの毒性	原因食品	表
3-	WEB31					マフグの毒性	原因食品	表
3-	WEB32	個人サイト「毒 魚って何だろ う?」			アカメフグの毒性	原因食品	表	
3-	WEB33				トラフグの毒性	原因食品	表	
3-	WEB34				キタマクラの毒性	原因食品	表	
計	39							

新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）の発生（H.21.4）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	A-2	朝日新聞	2009/4/26	朝刊	インフルエンザ感染の流れ	原因物質	図
4-	A-3	朝日新聞	2009/4/26	朝刊	自治体の電話相談窓口	行政機関の役割	表
4-	A-4	朝日新聞	2009/4/27	朝刊	メキシコと米国の豚インフルエンザ感染状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-5	朝日新聞	2009/4/27	朝刊	世界保健機関(WHO)の警戒フェーズと国内の対応	その他	図(チャート)
4-	A-6	朝日新聞	2009/4/27	朝刊	その時、家庭の備えは	その他	その他
4-	A-7	朝日新聞	2009/4/27	夕刊	メキシコと北米の豚インフルエンザ感染状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-8	朝日新聞	2009/4/28	朝刊	豚インフルエンザ感染状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-9	朝日新聞	2009/4/28	朝刊	無題2	基礎データ	地図
4-	A-10	朝日新聞	2009/4/28	夕刊	WHOの警戒レベル(フェーズ)の定義	その他	図
4-	A-11	朝日新聞	2009/4/28	夕刊	豚インフルエンザ感染状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-12	朝日新聞	2009/4/28	夕刊	政府の基本的対処方針(要旨)	行政機関の役割	その他
4-	A-13	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	感染が確認された国、疑いが報じられた国	被害拡大状況の整理	表
4-	A-14	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	豚インフルエンザ日本政府の対応	行政機関の役割	表
4-	A-15	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	WHO 事務局長声明の骨子	その他	その他
4-	A-16	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	WHOの警戒レベルと日本政府が想定する状況	その他	折れ線グラフ
4-	A-17	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	豚インフルエンザの診断と検査の流れ	その他	図(チャート)
4-	A-18	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	情報の窓口	その他	その他
4-	A-19	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	手洗いの方法	その他	図
4-	A-20	朝日新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザの予防法	その他	その他
4-	A-21	朝日新聞	2009/4/30	朝刊	死者・感染者が確認された国	被害拡大状況の整理	表
4-	A-22	朝日新聞	2009/4/30	朝刊	今回疑われるウイルス発生のしくみ	原因物質	図
4-	A-23	朝日新聞	2009/4/30	朝刊	豚肉の国別輸入量	基礎データ	円グラフ
4-	A-24	朝日新聞	2009/4/30	朝刊	豚インフルエンザの情報はこちら	その他	その他
4-	A-25	朝日新聞	2009/4/30	朝刊	新型豚インフルエンザ「疑い患者」診断手順	その他	図(チャート)
4-	A-26	朝日新聞	2009/4/30	夕刊	死者・感染者が確認された国、疑いが報じられた国	被害拡大状況の整理	表
4-	A-27	朝日新聞	2009/4/30	夕刊	豚インフルエンザ感染者が確認された国	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-28	朝日新聞	2009/4/30	夕刊	WHOの警戒レベル(フェーズ)の定義	その他	表
4-	A-29	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	新型豚インフルエンザ感染確認の手順	その他	図(チャート)
4-	A-30	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザ強毒型弱毒型比較表	原因物質	表
4-	A-31	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	新型の豚インフルエンザの検査の流れ	行政機関の役割	図(チャート)
4-	A-32	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザって何？	原因物質	図
4-	A-33	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザ出現の流れ	原因物質	図
4-	A-34	朝日新聞	2009/5/1	朝刊	過去の大流行と新型インフルエンザの被害想定	時系列的整理	表
4-	A-35	朝日新聞	2009/5/1	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-36	朝日新聞	2009/5/2	朝刊	政府の新型インフルエンザ対策	行政機関の役割	チャート表
4-	A-37	朝日新聞	2009/5/2	朝刊	家庭での新型インフルエンザ対策(厚生労働省ガイドラインから)	その他	その他
4-	A-38	朝日新聞	2009/5/2	朝刊	新型豚インフルエンザ検査の流れ	その他	図(チャート)
4-	A-39	朝日新聞	2009/5/2	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-40	朝日新聞	2009/5/2	夕刊	通常のインフルエンザワクチンの作り方	その他	図(チャート)
4-	A-41	朝日新聞	2009/5/2	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-42	朝日新聞	2009/5/3	朝刊	新型のウイルスができるまで	原因物質	図
4-	A-43	朝日新聞	2009/5/3	朝刊	通常のインフルエンザワクチンの作り方	その他	図
4-	A-44	朝日新聞	2009/5/3	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-45	朝日新聞	2009/5/4	朝刊	世界保健機構(WHO)の初動の経緯	時系列的整理	表
4-	A-46	朝日新聞	2009/5/4	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-47	朝日新聞	2009/5/5	朝刊	新型インフルエンザここまで判明	その他	その他
4-	A-48	朝日新聞	2009/5/5	朝刊	新型インフルエンザと確認された患者・死者の総数の比較	被害拡大状況の整理	複合グラフ

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	A-49	朝日新聞	2009/5/5	朝刊	新型インフルエンザ感染者が確認された国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-50	朝日新聞	2009/5/5	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-51	朝日新聞	2009/5/5	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-52	朝日新聞	2009/5/7	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-53	朝日新聞	2009/5/7	夕刊	これまでの新型インフルエンザ「疑い例」	時系列的整理	表
4-	A-54	朝日新聞	2009/5/7	夕刊	新型インフルエンザ確定までのながれ	その他	図(チャート)
4-	A-55	朝日新聞	2009/5/8	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-56	朝日新聞	2009/5/8	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-57	朝日新聞	2009/5/9	朝刊	感染確認された3人行動範囲(国内初感染者行動範囲)の地図	その他	地図
4-	A-58	朝日新聞	2009/5/9	朝刊	感染が確認された3人の日程(国内初感染者関連)	時系列的整理	表
4-	A-59	朝日新聞	2009/5/9	朝刊	新型インフルエンザ電話相談窓口	その他	その他
4-	A-60	朝日新聞	2009/5/9	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-61	朝日新聞	2009/5/9	夕刊	予防するには	その他	図
4-	A-62	朝日新聞	2009/5/9	夕刊	患者3人の座席図	その他	図(見取り図)
4-	A-63	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	NW25便の入国者の行き先	被害拡大状況の整理	地図
4-	A-64	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	乗客乗員の内訳	被害拡大状況の整理	図
4-	A-65	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	季節性と新型のインフルエンザの主な特徴	その他	表
4-	A-66	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	無題 3(新型インフルエンザの感染に関する図)	その他	図
4-	A-67	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	飛沫感染と空気感染の違い	その他	図
4-	A-68	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-69	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザの電話相談窓口、情報のウェブサイト	その他	表
4-	A-70	朝日新聞	2009/5/10	朝刊	患者3人の座席図	その他	図(見取り図)
4-	A-71	朝日新聞	2009/5/11	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-72	朝日新聞	2009/5/11	朝刊	新型インフルエンザ電話相談	その他	その他
4-	A-73	朝日新聞	2009/5/11	夕刊	感染者が乗っていた航空便の乗客・乗員の内訳	被害拡大状況の整理	図
4-	A-74	朝日新聞	2009/5/11	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-75	朝日新聞	2009/5/12	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-76	朝日新聞	2009/5/12	朝刊	インフルエンザウイルス	原因物質	図
4-	A-77	朝日新聞	2009/5/12	朝刊	新型インフルエンザ電話相談	その他	その他
4-	A-78	朝日新聞	2009/5/12	夕刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-79	朝日新聞	2009/5/13	朝刊	死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-80	朝日新聞	2009/5/13	朝刊	新型インフルエンザ電話相談	その他	その他
4-	A-81	朝日新聞	2009/5/13	夕刊	新型インフル死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-82	朝日新聞	2009/5/14	朝刊	新型インフル死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-83	朝日新聞	2009/5/14	朝刊	新型インフル死者・感染者の確認状況	被害拡大状況の整理	表
4-	A-01	朝日新聞	2009/5/20	朝刊	自宅療養での注意点	その他	図
4-	N-1	日経新聞	2009/4/26	朝刊	新型インフルエンザ感染の仕組み	原因物質	図
4-	N-2	日経新聞	2009/4/26	朝刊	豚インフルエンザの感染状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-3	日経新聞	2009/4/26	朝刊	主なA型インフルエンザウイルスの特徴	その他	表
4-	N-4	日経新聞	2009/4/27	朝刊	WHOのフェーズ分類	その他	表
4-	N-5	日経新聞	2009/4/27	朝刊	メキシコ・米以外でも感染の疑い例がある例が相次いでいる	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-6	日経新聞	2009/4/27	朝刊	米疫病対策センター発表インフルエンザウイルス電子顕微鏡写真	原因物質	図
4-	N-7	日経新聞	2009/4/27	朝刊	インフルエンザの感染経緯	その他	図
4-	N-8	日経新聞	2009/4/27	朝刊	現在のインフルエンザ対策 警戒水域引き上げて検討する対策	その他	表
4-	N-9	日経新聞	2009/4/28	朝刊	メキシコで現地生産している主な日本企業	基礎データ	表
4-	N-10	日経新聞	2009/4/28	夕刊	新しいWHOのフェーズ分類	その他	表
4-	N-11	日経新聞	2009/4/28	夕刊	政府の基本的対処方針	その他	表
4-	N-12	日経新聞	2009/4/28	朝刊	新型インフルエンザの情報窓口	その他	その他
4-	N-13	日経新聞	2009/4/29	朝刊	20世紀に流行したインフルエンザウイルス	時系列的整理	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	N-14	日経新聞	2009/4/29	朝刊	実施済み・指示済みの措置(人・モノ入規制、出国規制、国内幹線チェック強化)	その他	表
4-	N-15	日経新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザ感染者数	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-16	日経新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザへの企業の対応	事業者の対応	表
4-	N-17	日経新聞	2009/4/30	朝刊	発生国からの帰国者に対する新型インフルエンザの診断基準	その他	図(チャート)
4-	N-18	日経新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフルエンザ感染者、10ヶ国に	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-19	日経新聞	2009/4/30	朝刊	感染の疑いがある人の数	被害拡大状況の整理	表
4-	N-20	日経新聞	2009/4/30	朝刊	新しいWHOのフェーズ分類	その他	表
4-	N-21	日経新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフルエンザ感染者、13ヶ国に	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-22	日経新聞	2009/5/1	朝刊	インフルエンザから身を守る7ヵ条	その他	図
4-	N-23	日経新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザを巡る主な動き	時系列的整理	表
4-	N-24	日経新聞	2009/5/1	朝刊	インフルエンザワクチン国内製造量	基礎データ	棒グラフ
4-	N-25	日経新聞	2009/5/1	朝刊	開国博 Y150 会場に這い出された衛生管理についての告知	その他	写真
4-	N-26	日経新聞	2009/5/1	夕刊	新型インフルエンザの電話相談窓口、情報のウェブサイト診断基準	その他	図(チャート)
4-	N-27	日経新聞	2009/5/2	朝刊	新型インフルエンザ感染者、14ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-28	日経新聞	2009/5/2	朝刊	大型連休に外国出張する閣僚とその訪問先	その他	表
4-	N-29	日経新聞	2009/5/2	夕刊	新型インフルエンザ感染者、16ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-30	日経新聞	2009/5/2	夕刊	新型インフルエンザ感染者は19州に拡大(米国)	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-31	日経新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザ感染者、17ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-32	日経新聞	2009/5/4	朝刊	新型インフルエンザ感染者、19ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-33	日経新聞	2009/5/4	朝刊	2種類の豚インフルエンザと人のウイルスが混合か	原因物質	図
4-	N-34	日経新聞	2009/5/4	朝刊	主なインフルエンザウイルスの比較	原因物質	表
4-	N-35	日経新聞	2009/5/6	朝刊	新型インフルエンザ感染者、21ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-36	日経新聞	2009/5/7	夕刊	新型インフルエンザ感染者、24ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-37	日経新聞	2009/5/8	朝刊	新型インフルエンザ感染者、24ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-38	日経新聞	2009/5/8	朝刊	新型インフルエンザの診断基準	その他	図(チャート)
4-	N-39	日経新聞	2009/5/9	朝刊	連休明け企業の新型インフルエンザ対応	事業者の対応	表
4-	N-40	日経新聞	2009/5/9	朝刊	新型インフルエンザ感染者、26ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-41	日経新聞	2009/5/9	夕刊	感染者の座席位置 ノースウエスト25便(国内初感染者関連)	その他	図(見取り図)
4-	N-42	日経新聞	2009/5/9	夕刊	新型インフルエンザを巡る主な動きめぐる動き	時系列的整理	表
4-	N-43	日経新聞	2009/5/9	夕刊	感染者を確認した米国の州	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-44	日経新聞	2009/5/9	夕刊	新型インフルエンザ感染者、28ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-45	日経新聞	2009/5/9	夕刊	もし、国内発生となったら(水際対策、国内まん延防止、社会機能維持)	その他	表
4-	N-46	日経新聞	2009/5/9	夕刊	都立高校の生徒らの移動ルート(国内初感染者関連)	その他	地図
4-	N-47	日経新聞	2009/5/9	夕刊	新型インフルエンザの情報窓口	行政機関の役割	表
4-	N-48	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフル 家庭と企業の対策	その他	図
4-	N-49	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザと季節性インフルエンザの比較	原因物質	図
4-	N-50	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザ感染者、29ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-51	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型の感染者がでた航空等乗客への対応	その他	図
4-	N-52	日経新聞	2009/5/10	朝刊	3人の感染者の状況と濃厚接触者の範囲	その他	図(見取り図)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	N-53	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザの感染者が出た航空機に乗り合わせた健康監視対象者の都道府県所在地	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-54	日経新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザ情報窓口	その他	その他
4-	N-55	日経新聞	2009/5/11	朝刊	新型インフルエンザ感染者、30ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-56	日経新聞	2009/5/11	朝刊	4人の感染者が確認されたノースウエスト航空25便の座席図と濃厚接触者の範囲	その他	図(見取り図)
4-	N-57	日経新聞	2009/5/12	朝刊	国内で新型インフルエンザが流行した場合の主な対応策	その他	表
4-	N-58	日経新聞	2009/5/12	朝刊	新型インフルエンザ感染者、32ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-59	日経新聞	2009/5/13	朝刊	新型インフルエンザ影響:海外パッケージツアーの参加人数	基礎データ	折れ線グラフ
4-	N-60	日経新聞	2009/5/13	朝刊	新型インフルエンザの医療体調べ疑問、不満	消費者意識	棒グラフ
4-	N-61	日経新聞	2009/5/13	朝刊	新型インフルエンザ感染者、34ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	N-62	日経新聞	2009/5/14	夕刊	新型インフルエンザ感染者、35ヶ国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	M-1	毎日新聞	2009/4/25	朝刊	豚インフルエンザ感染 南米地図	基礎データ	地図
4-	M-2	毎日新聞	2009/4/26	朝刊	豚インフルエンザと疑われる患者の発生地と死者数	被害拡大状況の整理	地図
4-	M-3	毎日新聞	2009/4/26	朝刊	新型インフルエンザの想定される感染ルート	原因	図
4-	M-4	毎日新聞	2009/4/26	朝刊	WHOによる新型インフルエンザ流行段階の分類	その他	表
4-	M-5	毎日新聞	2009/4/26	朝刊	流行段階別の主なインフルエンザ対策(政府の行動計画から抜粋)	その他	その他
4-	M-6	毎日新聞	2009/4/27	朝刊	WHOによる新型インフルエンザ流行段階の分類	その他	表
4-	M-7	毎日新聞	2009/4/27	朝刊	豚インフルエンザ感染確認・疑いの数(27日)	被害拡大状況の整理	地図
4-	M-8	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	各国の感染者数	被害拡大状況の整理	表
4-	M-9	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	WHOによる新型インフルエンザ流行段階の分類の新旧比較	その他	表
4-	M-10	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	政府の行動計画第1段階(海外発生期)の概要	その他	その他
4-	M-11	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	WHO新型インフルエンザ警告レベル(フェーズ1~6)	その他	表
4-	M-12	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	感染が確定した国・疑いが報告された国	被害拡大状況の整理	表
4-	M-13	毎日新聞	2009/4/28	朝刊	フェーズ引き上げを受け実施される主な対策	その他	その他
4-	M-14	毎日新聞	2009/4/29	朝刊	感染が確定した患者数(国別)	被害拡大状況の整理	表
4-	M-15	毎日新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザQ&A	その他	その他
4-	M-16	毎日新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザの確定法(新型インフルエンザ対策ガイドラインに基づき作成)	その他	図(チャート)
4-	M-17	毎日新聞	2009/4/29	朝刊	警告レベルの新フェーズ(1-6)	その他	表
4-	M-18	毎日新聞	2009/4/29	朝刊	世界大流行のインフルエンザの被害推計	時系列的整理	表
4-	M-19	毎日新聞	2009/4/30	朝刊	メキシコ人米で死亡の説明地図	基礎データ	地図
4-	M-20	毎日新聞	2009/4/30	朝刊	感染が確定した国	被害拡大状況の整理	表
4-	M-21	毎日新聞	2009/4/30	朝刊	機内検疫検査の診断基準と対応方法	その他	図(チャート)
4-	M-22	毎日新聞	2009/4/30	朝刊	警告レベル(フェーズ4-6)	その他	表
4-	M-23	毎日新聞	2009/4/30	朝刊	感染が確定した国・疑いが報告された国	被害拡大状況の整理	表
4-	M-24	毎日新聞	2009/5/1	朝刊	感染が確定した国	被害拡大状況の整理	表
4-	M-25	毎日新聞	2009/5/1	朝刊	警告レベル(フェーズ4-6)	その他	表
4-	M-26	毎日新聞	2009/5/1	朝刊	WHOの管轄6地域	その他	地図
4-	M-27	毎日新聞	2009/5/1	朝刊	政府の行動計画第2段階(国内発生早期)の概要	その他	その他
4-	M-28	毎日新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザの感染確認手順	その他	チャート
4-	M-29	毎日新聞	2009/5/1	夕刊	感染が確定した国	被害拡大状況の整理	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	M-30	毎日新聞	2009/5/2	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-31	毎日新聞	2009/5/2	朝刊	男子高校生陽性反応後の経過(国内初感染者関連)	時系列的整理	その他
4-	M-32	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-33	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	フェーズ別WHOの発言や動き・国内の発言比較	その他	表
4-	M-34	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	A型インフルエンザウイルスの構造	原因物質	図
4-	M-35	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	過去の主なインフルエンザ	時系列的整理	表
4-	M-36	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザ感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	地図
4-	M-37	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	インフルエンザウイルスの変異と感染	原因物質	図
4-	M-38	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザをめぐる経緯	時系列的整理	表
4-	M-39	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	政府の行動計画第1段階(海外発生期)の概要	その他	表
4-	M-40	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	メキシコの感染者数と死者数の確認推移	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
4-	M-41	毎日新聞	2009/5/3	朝刊	発生状況(1日現在)メキシコ新型インフルエンザ	被害拡大状況の整理	地図
4-	M-42	毎日新聞	2009/5/4	朝刊	新型ウイルスができるまで	原因物質	図
4-	M-43	毎日新聞	2009/5/5	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-44	毎日新聞	2009/5/6	朝刊	新型インフルエンザ感染の「疑い例」	時系列的整理	表
4-	M-45	毎日新聞	2009/5/7	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-46	毎日新聞	2009/5/8	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-47	毎日新聞	2009/5/9	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-48	毎日新聞	2009/5/9	朝刊	国内初の新型インフルエンザ感染者の移動地図	基礎データ	地図
4-	M-49	毎日新聞	2009/5/9	朝刊	国内初の新型インフルエンザ感染者が乗っていた機内の座席図	その他	図(見取り図)
4-	M-50	毎日新聞	2009/5/9	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-51	毎日新聞	2009/5/10	朝刊	国内初の新型インフルエンザ感染者が乗っていた機内の座席図	その他	図(見取り図)
4-	M-52	毎日新聞	2009/5/10	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-53	毎日新聞	2009/5/11	朝刊	国内初の感染者が発生した航空便の乗客乗員の状況	被害拡大状況の整理	図(チャート)
4-	M-54	毎日新聞	2009/5/11	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-55	毎日新聞	2009/5/11	夕刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-56	毎日新聞	2009/5/12	夕刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-57	毎日新聞	5/13 日刊	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-58	毎日新聞	2009/5/13	夕刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	M-59	毎日新聞	5/14 日刊	朝刊	感染が確定した国・地域	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-1	読売新聞	2009/4/19	朝刊	ワクチン接種のスケジュール案	その他	その他
4-	Y-2	読売新聞	2009/4/19	朝刊	大流行前ワクチンを優先接種する主な職種	その他	表
4-	Y-3	読売新聞	2009/4/25	朝刊	豚インフル感染メキシコ 800 人超	その他	地図
4-	Y-4	読売新聞	2009/4/25	夕刊	豚インフル感染メキシコ 1000 人超	その他	地図
4-	Y-5	読売新聞	2009/4/26	朝刊	WHOによる新型インフルエンザ警戒レベル(6段階)と政府対応	その他	表
4-	Y-6	読売新聞	2009/4/26	朝刊	新型インフルエンザウイルス出現のイメージ	原因物質	図
4-	Y-7	読売新聞	2009/4/26	朝刊	主なインフルエンザの流行・発生	時系列的整理	表
4-	Y-8	読売新聞	2009/4/27	朝刊	豚インフルエンザ感染・感染疑いがある国(26日まとめ)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-9	読売新聞	2009/4/27	朝刊	豚インフルエンザ発生をめぐる経緯	時系列的整理	表
4-	Y-10	読売新聞	2009/4/27	夕刊	豚インフルエンザ感染・感染疑いがある国(27日まとめ)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-11	読売新聞	2009/4/28	朝刊	豚インフルエンザワクチン製造の流れ	その他	図
4-	Y-12	読売新聞	2009/4/28	朝刊	国内のインフルエンザ流行による死亡者数	基礎データ	棒グラフ
4-	Y-13	読売新聞	2009/4/28	朝刊	豚インフルエンザ感染・感染疑いがある国(27日まとめ)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-14	読売新聞	2009/4/28	朝刊	WHOによる新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)と国内の対応	その他	図(チャート)
4-	Y-15	読売新聞	2009/4/28	朝刊	豚インフルエンザQ&A	その他	表
4-	Y-16	読売新聞	2009/4/28	朝刊	WHOの新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)の新基準	その他	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	Y-17	読売新聞	2009/4/28	朝刊	豚インフルエンザ感染・感染疑いがある国(28日まとめ)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-18	読売新聞	2009/4/28	朝刊	主な注意点	その他	表
4-	Y-19	読売新聞	2009/4/28	夕刊	豚インフルエンザ発生を巡る経緯	時系列的整理	表
4-	Y-20	読売新聞	2009/4/28	夕刊	新型インフルエンザ電話相談窓口	その他	その他
4-	Y-21	読売新聞	2009/4/28	夕刊	豚インフルエンザQ & A (厚生労働省HPより作成)	その他	表
4-	Y-22	読売新聞	2009/4/29	朝刊	政府対策本部が決めた基本的対処方針と具体策	その他	表
4-	Y-23	読売新聞	2009/4/29	朝刊	豚インフルエンザ感染・感染疑いがある国(28日まとめ)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-24	読売新聞	2009/4/29	朝刊	日本企業の新型インフルエンザ対応	事業者の対応	表
4-	Y-25	読売新聞	2009/4/29	朝刊	マスクの付け方とはずし方	その他	図
4-	Y-26	読売新聞	2009/4/29	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-27	読売新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国(29日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-28	読売新聞	2009/4/30	朝刊	WHOの新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)	その他	表
4-	Y-29	読売新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフルエンザの海外発生期と国内発生早期の対策	その他	表
4-	Y-30	読売新聞	2009/4/30	朝刊	米国で確認された新型インフルエンザ感染者数(人)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-31	読売新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフル感染源メキシコ東部か	原因	地図
4-	Y-32	読売新聞	2009/4/30	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-33	読売新聞	2009/4/30	朝刊	主な注意点	その他	表
4-	Y-34	読売新聞	2009/4/30	朝刊	検疫所における診断の大まかな流れ	その他	チャート図
4-	Y-35	読売新聞	2009/4/30	夕刊	WHOの新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)	その他	表
4-	Y-36	読売新聞	2009/4/30	夕刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国(30日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-37	読売新聞	2009/4/30	夕刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-38	読売新聞	2009/4/30	夕刊	主な注意点	その他	表
4-	Y-39	読売新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-40	読売新聞	2009/5/1	朝刊	WHOの新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)	その他	表
4-	Y-41	読売新聞	2009/5/1	朝刊	マスクの付け方とはずし方	その他	図
4-	Y-42	読売新聞	2009/5/1	朝刊	正しい手洗いの方法	その他	図
4-	Y-43	読売新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザのウイルス感染の仕組み	原因物質	図
4-	Y-44	読売新聞	2009/5/1	朝刊	主な注意点	その他	表
4-	Y-45	読売新聞	2009/5/1	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-46	読売新聞	2009/5/1	夕刊	新型インフルエンザの感染確認の手順	その他	図(チャート)
4-	Y-47	読売新聞	2009/5/1	夕刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国(1日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-48	読売新聞	2009/5/1	夕刊	新型インフルエンザが疑われる男子高校生の行動	時系列的整理	表
4-	Y-49	読売新聞	2009/5/1	夕刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-50	読売新聞	2009/5/2	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国・地域(2日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-51	読売新聞	2009/5/2	朝刊	インフルエンザの経過とウイルス量の関係	その他	折れ線グラフ
4-	Y-52	読売新聞	2009/5/2	朝刊	新型インフルエンザの感染確認の手順	その他	図(チャート)
4-	Y-53	読売新聞	2009/5/2	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-54	読売新聞	2009/5/2	夕刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国・地域(2日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-55	読売新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国・地域(3日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-56	読売新聞	2009/5/3	朝刊	戦目目標ごとのWHO予算	基礎データ	円グラフ
4-	Y-57	読売新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザができた経緯	原因物質	図
4-	Y-58	読売新聞	2009/5/3	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-59	読売新聞	2009/5/4	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国・地域(4日まとめ)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-60	読売新聞	2009/5/5	朝刊	新型インフルエンザ感染・感染疑いがある国・地域(5日まとめ)	被害拡大状況の整理	表

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	Y-61	読売新聞	2009/5/5	朝刊	感染者が確認された国・地域(5日現在)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-62	読売新聞	2009/5/6	朝刊	WHOの新型インフルエンザ警戒レベル(フェーズ)	その他	表
4-	Y-63	読売新聞	2009/5/6	朝刊	感染者が確認された国・地域(6日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-64	読売新聞	2009/5/6	朝刊	説明用南米地図	その他	地図
4-	Y-65	読売新聞	2009/5/6	朝刊	米・メキシコ両国で新型インフルエンザの感染が確認された人数(死亡者含む)	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
4-	Y-66	読売新聞	2009/5/7	朝刊	感染者が確認された国・地域(7日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-67	読売新聞	2009/5/8	朝刊	感染者が確認された国・地域(8日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-68	読売新聞	2009/5/9	夕刊	ノースウエスト25便の座席図(新型インフルエンザ国内初確認)	その他	図(見取り図)
4-	Y-69	読売新聞	2009/5/9	夕刊	感染者が確認された国・地域(9日現在)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-70	読売新聞	2009/5/9	夕刊	新型インフルエンザ検査の流れ	その他	図(チャート)
4-	Y-71	読売新聞	2009/5/9	夕刊	新型インフルエンザウイルスの説明漫画イラスト図	その他	図
4-	Y-72	読売新聞	2009/5/9	夕刊	生徒らの行動・カナダの感染者数(国内初感染者の行動履歴)	時系列的整理	図
4-	Y-73	読売新聞	2009/5/9	夕刊	生徒らの行動範囲(国内初感染者行動範囲)の地図	その他	地図
4-	Y-74	読売新聞	2009/5/9	夕刊	インフルエンザから身を守るために(イラスト)	その他	図
4-	Y-75	読売新聞	2009/5/10	朝刊	ノースウエスト25便の乗員乗客の内訳(国内初感染関連)	被害拡大状況の整理	その他
4-	Y-76	読売新聞	2009/5/10	朝刊	ノースウエスト25便の座席図(新型インフルエンザ国内初確認)	その他	図(見取り図)
4-	Y-77	読売新聞	2009/5/10	朝刊	マスクの着用・せきエチケット他イラスト	その他	図
4-	Y-78	読売新聞	2009/5/10	朝刊	感染者が確認された国・地域(10日現在)	被害拡大状況の整理	地図
4-	Y-79	読売新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザウイルスの構造8本の遺伝子(RNA)の由来は?	原因物質	図
4-	Y-80	読売新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口(都民版:保健所電話番号)	その他	その他
4-	Y-81	読売新聞	2009/5/10	朝刊	23区と同乗者の健康状態確認状況(国内初感染関連)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-82	読売新聞	2009/5/10	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-83	読売新聞	2009/5/10	朝刊	感染がひろがればー対策4段階	その他	その他
4-	Y-84	読売新聞	2009/5/11	朝刊	新型インフルエンザ相談窓口	その他	その他
4-	Y-85	読売新聞	2009/5/11	夕刊	感染者が確認された国・地域(11日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-86	読売新聞	2009/5/12	朝刊	感染者が確認された国・地域(12日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-87	読売新聞	2009/5/12	夕刊	感染者が確認された国・地域(12日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-88	読売新聞	2009/5/13	朝刊	感染者が確認された国・地域(13日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-89	読売新聞	2009/5/13	夕刊	感染者が確認された国・地域(13日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-90	読売新聞	2009/5/14	朝刊	感染者が確認された国・地域(14日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	Y-91	読売新聞	2009/5/14	夕刊	感染者が確認された国・地域(14日現在)	被害拡大状況の整理	表
4-	S-1	産経新聞	2009/4/26	日刊	H1N1型の豚インフルエンザウイルスの電子顕微鏡写真	原因物質	写真
4-	S-2	産経新聞	2009/4/26	日刊	新型インフルエンザ海外発生期と国内発生早期における政府の対応	その他	表
4-	S-3	産経新聞	2009/4/26	日刊	WHOの警告フェーズ表	その他	表
4-	S-4	産経新聞	2009/4/27	日刊	新型インフルエンザ発生の仕組み	原因物質	図
4-	S-5	産経新聞	2009/4/28	日刊	インフルエンザワクチンの製造過程	その他	その他
4-	S-6	産経新聞	2009/4/29	日刊	新型インフルエンザ警戒水域	その他	図(チャート)
4-	S-7	産経新聞	2009/4/29	日刊	新型インフルエンザ 家庭の備え	その他	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	S-8	産経新聞	2009/4/30	日刊	医療機関の対応の流れ	その他	図(チャート)
4-	S-9	産経新聞	2009/5/2	日刊	新型インフルエンザ診断の流れと対応(検査所の場合)	その他	図(チャート)
4-	S-10	産経新聞	2009/5/2	日刊	新型インフルエンザ発生各段階における政府の対応	その他	表
4-	S-11	産経新聞	2009/5/3	日刊	新型インフルエンザ発生のイメージと各段階の方針	その他	折れ線グラフ
4-	S-12	産経新聞	2009/5/10	日刊	府立高校の生徒らの移動ルート(国内初感染者関連)	基礎データ	地図
7-	S-13	産経新聞	2009/5/11	日刊	ノースウエスト25便の乗員乗客の内訳(国内初感染者関連)	被害拡大状況の整理	表
8-	S-14	産経新聞	2009/5/14	日刊	新型インフル感染状況	被害拡大状況の整理	表
4-	ZK1	科学	2009.6 月号 vol79		ヨーロッパと北米のブタに常在する A 型インフルエンザウイルス	原因物質	表
4-	ZK2	科学	2009.6 月号 vol79		米国の養豚施設の総数と1施設あたりの平均飼育数の推移	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZK3	科学	2009.6 月号 vol79		ブタインフルエンザウイルスのヒトへの感染例	時系列的整理	表
4-	ZK4	科学	2009.6 月号 vol79		入国検査による新型インフルエンザ侵入の抑止効果	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZK5	科学	2009.6 月号 vol79		入国検査による新型インフルエンザ侵入の抑止効果	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZK6	科学	2009.6 月号 vol79		2009 年 5 - 6 月の香港における新型インフルエンザの流行	基礎データ	棒グラフ
4-	ZNK1	日経サイエンス	2009.7 月号		新型ウイルスの系統樹	原因物質	図
4-	ZNK2	日経サイエンス	2009.7 月号		新型ウイルス変異組み合わせ例	原因物質	図
4-	ZNK3	日経サイエンス	2009.11 月号		ウイルス感染したマウスの体重変化	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZNK4	日経サイエンス	2009.11 月号		感染後 3 日後のサルの一部部位でのウイルス量	基礎データ	棒グラフ
4-	ZNK5	日経サイエンス	2009.11 月号		抗ウイルス薬の効果(感染 3 日後のマウスの肺のウイルス量)	基礎データ	棒グラフ
4-	ZBNK1	別冊日経サイエンス163	2008.11 月		開発中のワクチン	その他	その他
4-	ZBNK2		2008.11 月		新しい抗インフルエンザ薬	その他	その他
4-	ZBNK3		2008.11 月		自然界の様々な宿主	その他	図(チャート)
4-	ZBNK4		2008.11 月		地域別に見た感染者数の推移	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK5		2008.11 月		どこで感染したか	基礎データ	棒グラフ
4-	ZBNK6		2008.11 月		実際のデータの検証1	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK7		2008.11 月		実際のデータの検証2	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK8		2008.11 月		実際のデータの検証3	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK9		2008.11 月		列車を止めるのは有効か?	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK10		2008.11 月		学校閉鎖は有効か? 1	基礎データ	棒グラフ
4-	ZBNK11		2008.11 月		学校閉鎖は有効か? 2	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK12		2008.11 月		学校閉鎖は有効か? 3	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK13		2008.11 月		効率の高い事前ワクチン1	基礎データ	棒グラフ
4-	ZBNK14		2008.11 月		効率の高い事前ワクチン2	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK15		2008.11 月		ワクチン接種により感染しにくくなった子供の割合	基礎データ	表
4-	ZBNK16		2008.11 月		無題1	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK17		2008.11 月		無題2	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK18		2008.11 月		無題3	基礎データ	折れ線グラフ
4-	ZBNK19		2008.11 月		無題4	基礎データ	表
4-	ZBNK20		2008.11 月		列車運休や学校閉鎖の効果	基礎データ	表
4-	ZNA1	Nature	2009.9 月号 Vol.9		新型インフルエンザウイルスは 1918 年流行のものと似ている?	原因物質	図
4-	ZNE1	Newton	2009.10 月号		新型インフルエンザの流行状況(2009 年 6 月 22 日現在)	被害拡大状況の整理	地図
4-	ZNE2	Newton	2009.8 月号		インフルエンザウイルスと RNA 合成酵素	原因物質	図
4-	ZNE3	Newton	2009.7 月号		風邪、インフルエンザの違い	原因物質	表
4-	ZNE4	Newton	2009.7 月号		免疫細胞が記憶から「抗体」を作成し病原体を攻撃する図	原因物質	図
4-	ZNE5	Newton	2009.7 月号		A 型インフルエンザウイルス構造図	原因物質	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4-	ZNE6	Newton	2009.7 月号		インフルエンザウイルスの種類・感染 亜型別宿主	原因物質	表
4-	ZNE7	Newton	2009.7 月号		インフルエンザウイルスが増える過 程	原因物質	図
4-	ZNE8	Newton	2009.7 月号		インフルエンザウイルスが変異する しくみ	原因物質	図
4-	ZNE9	Newton	2009.7 月号		ワクチンや抗ウイルス薬はどうきくの か？	その他	表
4-	ZNE10	Newton	2009.7 月号		2009 年に発生した新型インフルエン ザウイルスの拡散状況	被害拡大状況の整理	地図
4-	ZNE11	Newton	2009.6 月号		インフルエンザウイルスが流行する ようすとインターネット検索のイメ ージ	その他	地図
4-	ZM1	milsil	2009.5 月号		RNA ウイルスの複製と進化	原因物質	図
4-	ZM2	milsil	2009.5 月号		ウイルスの大きさ比較	原因物質	図
4-	N わ 1	月刊 10 歳から の News がわか る	2009・11 月 号		せきエチケット他	その他	図
4-	N わ 2		2009・11 月 号		新型インフルエンザにかかった人と 死亡した人の数	被害拡大状況の整理	地図
4-	N わ 3		2009・11 月 号		新型インフルエンザの流行シナリオ	基礎データ	グラフ
4-	N わ 4		2009・11 月 号		新型インフルエンザの重症化のきざ し	その他	表
4-	N わ 5		2009・11 月 号		インフルエンザワクチンのおもな作り 方	その他	図
4-	N わ 6		2009・11 月 号		手の洗い方	その他	図
4-	AC1	朝日小学生新聞	2009/4/29		フェーズ4対策	その他	図
4-	AC2		2009/4/29		マスクの正しいつけ方	その他	図
4-	AC3		2009/4/28		世界保健機構 (WHO) の警戒フェーズ と国内の対応	その他	表
4-	AC4		2009/5/2		新型インフルエンザにかかったら	その他	図
4-	AC5		2009/5/8		マスクのはずし方	その他	図
4-	AC6		2009/5/8		ウイルスや細菌の感染を防ぐ手洗いの 方法	その他	図
4-	MC1	毎日小学生新聞	2009/4/28		WHO による新型インフルエンザ流行 段階の分類	その他	表
4-	MC2		2009/4/30		豚インフルエンザ流行！？	その他	図
4	-1	NHK 週刊子どもニュー ース	2007/12/8		H1N1	原因物質	図
4	-2		2007/12/8		ウイルス増殖の仕組み	その他	図
4	-3		2007/12/8		抗原抗体反応	原因物質	図
4	-4		2007/12/8		ウイルスの変異	原因物質	図
4	-5		2009/1/31		インフルエンザとは	その他	図
4	-6		2009/1/31		インフルエンザウイルスとは	原因物質	図
4	-7		2009/1/31		鳥から人への感染	その他	図
4	-8		2009/1/31		人から人への感染	その他	図
4	-9		2009/1/31		体内での増殖	その他	図
4	-10		2009/1/31		体内での増殖 2	その他	図
4	-11		2009/1/31		感染拡大の危惧	被害拡大状況の整理	地図
4	-12		2009/1/31		感染拡大防止の工夫	その他	図
4	-13		2009/1/31		マスクの着用方法	その他	図
4	-14		2009/1/31		人から人への感染 2	その他	図
4	-15		2009/1/31		新型インフルエンザにかかる人	その他	図
4	-16		2009/5/2		WHO 緊急事態宣言	その他	図
4	-17		2009/5/2		人以外への感染	その他	図
4	-18		2009/5/2		新型インフルエンザウイルス	原因物質	図
4	-19		2009/5/2		国内水際対策	その他	図
4	-20		2009/5/2		手洗い方法	その他	図
4	-21		2009/5/9		弱毒性ウイルス	原因物質	図
4	-22		2009/5/9		強毒性ウイルス	原因物質	図
4	-23		2009/5/9		南半球への感染拡大の懸念	その他	図
4	-24		2009/5/9		免疫	その他	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
4	-25	NHK 週刊こどもニュー ース	2009/5/9		免疫の出来方	その他	図
4	-26		2009/5/9		ワクチン	その他	図
4	-27		2009/5/23		感染拡大経路	その他	図
4	-28		2009/5/23		新型インフルエンザ全体の流れ	その他	図
4	-29		2009/5/23		ワクチンによる免疫	その他	図
4	-30		2009/5/23		新型インフルエンザ全体の流れ 2	その他	図
4	-31		2009/9/12		主症状	その他	図
4	-32		2009/9/12		サイトカイン	その他	図
4	-33		2009/9/12		脳でのサイトカイン	その他	図
4	-34		2009/9/12		インフルエンザ脳症全体	その他	図
計	402						

ノロウイルス感染者の拡大（H.18.12）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
5-	M-1	毎日新聞	2006/12/27	朝刊	感染性胃腸炎発症数の推移	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
5-	S-1	産経新聞	2006/12/12	朝刊	感染抗原検査月別陽性数	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
5-	S-1	産経新聞	2006/12/17	朝刊	ノロウイルス感染予防対策	その他	その他
5-	N-1	日経新聞	2006/12/15	朝刊	感染防止の工夫	その他	その他
5-	A-1	朝日新聞	2006/12/16	朝刊	嘔吐物や排泄物の処理方法	その他	図
5-	A-2	朝日新聞	2006/12/20	朝刊	ノロウイルスなど感染性胃腸炎の週別発生状況	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
5-	ZSK-01	食品工業	2005/6/30		わが国における主な微生物性食中毒の発生状況(1973-2003)	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
5-	ZSK-02	食品工業	2005/6/30		ノロウイルス食中毒の月別発生状況(平成10-15年)	被害拡大状況の整理	折れ線グラフ
5-	ZSK-03	食品工業	2005/6/30		ノロウイルス食中毒 1,287 事件の原因施設(平成10-15年)	原因	表
5-	ZSK-04	食品工業	2005/6/30		ノロウイルス食中毒 1,287 事件の原因食品(平成10-15年)	原因食品	表
5-	ZSK-05	食品工業	2005/6/30		ノロウイルスの感染経路	その他	図(チャート)
5-	ZSK-06	食品工業	2005/6/30		塩素処理によるノロウイルス不活化	原因物質	表
5-	ZSK-07	食品工業	2005/6/30		ノロウイルスの抵抗性	原因物質	表
5-	WEB1	SARAYA			食中毒ルート、感染症ルート	その他	図(チャート)
5-	WEB2	SARAYA			手洗いによる細菌除菌レベル	その他	図(チャート)
5-	WEB3	SARAYA			ノロウイルスの潜んでいる場所	その他	図
5-	WEB4	SARAYA			適切な汚物処理 準備するもの・方法	その他	その他
5-	WEB5	横浜市保健所			ノロウイルスはどこから感染するの？	その他	表
5-	WEB6	群馬県食品安全情報センター			ノロウイルス感染経路	その他	図
5-	WEB7	東京都福祉保健局			感染経路	その他	図
5-	WEB8	東京都福祉保健局			手洗いの手順	その他	図
5-	WEB9	東京都福祉保健局			手洗いを行うタイミング	その他	図
5-	WEB10	東京都福祉保健局			嘔吐物の正しい処理方法	その他	図
5-	WEB11	東京都福祉保健局			飛散嘔吐物・汚物処理、トイレ清掃方法	その他	その他
5-	WEB12	東京都福祉保健局			消毒液(次亜塩素酸ナトリウム希釈液)の作り方	その他	図
計	25						

国内外の BSE 発生事案

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
6-	A-1	朝日新聞	2001/9/11	朝刊	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の発生した国	被害拡大状況の整理	地図
6-	A-2	朝日新聞	2001/9/11	夕刊	狂牛病感染の危険度 (EU 医薬品審査庁による分類)	その他	その他
6-	A-3	朝日新聞	2001/9/14	夕刊	主なプリオン病	基礎データ	表
6-	A-4	朝日新聞	2001/9/22	朝刊	狂牛病が確認された国・地域 (国際獣疫事務局資料に基づく)	被害拡大状況の整理	地図
6-	A-5	朝日新聞	2001/9/23	朝刊	感染牛の流通ルート	サプライチェーン	チャート図
6-	A-6	朝日新聞	2001/9/23	朝刊	狂牛病 Q&A 用の挿絵	その他	図
6-	A-7	朝日新聞	2001/9/24	朝刊	狂牛病と肉骨粉をめぐる動き	時系列的整理	表
6-	A-8	朝日新聞	2001/9/29	朝刊	医薬品や化粧品に使われてきた牛の部位	その他	図
6-	A-9	朝日新聞	2001/10/2	朝刊	肉骨粉の流れ (農水省資料)	その他	チャート図
6-	A-10	朝日新聞	2001/10/3	夕刊	狂牛病の簡易検査の流れ	原因物質	図
6-	A-11	朝日新聞	2001/10/6	朝刊	牛由来の原材料を使っている主な加工食品	暴露量評価	表
6-	A-12	朝日新聞	2001/10/10	朝刊	牛の処理ルート	サプライチェーン	チャート図
6-	M-1	毎日新聞	2001/9/11	朝刊	狂牛病をめぐる最近の動き	時系列的整理	表
6-	M-2	毎日新聞	2001/9/15	朝刊	狂牛病疑い肉骨粉流用の説明図	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	M-3	毎日新聞	2001/9/18	朝刊	狂牛病感染の危険度	その他	表
6-	M-4	毎日新聞	2001/9/18	朝刊	佐呂間町農場産乳牛 72 頭の売却判明先	被害拡大状況の整理	表
6-	M-5	毎日新聞	2001/9/19	朝刊	佐呂間町農場産乳牛 72 頭の売却判明先	被害拡大状況の整理	表
6-	M-6	毎日新聞	2001/9/22	夕刊	狂牛病が確認された国・地域	被害拡大状況の整理	地図
6-	M-7	毎日新聞	2001/9/23	朝刊	推定される狂牛病の感染ルート	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	M-8	毎日新聞	2001/9/23	朝刊	佐呂間町農場産乳牛 72 頭の売却判明先	被害拡大状況の整理	表
6-	M-9	毎日新聞	2001/9/27	朝刊	肉骨粉類の使用状況	基礎データ	表
6-	M-10	毎日新聞	2005/10/28	朝刊	異常プリオンが見逃されるケース	その他	図
6-	Y-1	読売新聞	2001/9/11	朝刊	日本の主な狂牛病対策	時系列的整理	表
6-	Y-2	読売新聞	2001/9/11	朝刊	狂牛病が発生した国	被害拡大状況の整理	地図
6-	Y-3	読売新聞	2001/9/24	朝刊	狂牛病感染の危険度	その他	表
6-	Y-4	読売新聞	2001/9/24	朝刊	肉骨粉などの使用状況	基礎データ	表
6-	Y-5	読売新聞	2004/9/7	朝刊	米国産牛肉の輸入再開へ向け今後予想される展開	その他	チャート図
6-	S-1	産経新聞	2001/9/22	朝刊	狂牛病確認に至るまでの経緯	時系列的整理	表
6-	S-2	産経新聞	2001/9/23	朝刊	牛の部位による狂牛病感染の危険度	その他	表
6-	S-01	産経新聞	2006/8/26	朝刊	異常プリオンがたまる特定危険部位	その他	図 (見取り図)
6-	S-02	産経新聞	2006/8/27	朝刊	BSE の特定危険部位の基準	その他	表
6-	NK-1	日経新聞	2001/9/20	朝刊	狂牛病の疑いのある牛の流通経路	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	NK-2	日経新聞	2001/9/21	朝刊	異常プリオン汚染の危険度	原因物質	表
6-	NK-3	日経新聞	2001/9/24	朝刊	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が発生する仕組み	基礎データ	図
6-	NK-4	日経新聞	2001/9/27	朝刊	政府の狂牛病対策	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	NK-5	日経新聞	2001/9/30	朝刊	肉骨粉の流れ	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	NK-6	日経新聞	2001/10/1	朝刊	異常型プリオンが増える仕組み	原因物質	図
6-	NK-7	日経新聞	2001/10/2	朝刊	政府の狂牛病対策	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	NK-8	日経新聞	2001/10/4	朝刊	牛の各部位と国産牛の対応策	その他	図 (見取り図)
6-	NK-9	日経新聞	2001/10/5	朝刊	政府の狂牛病対策	時系列的整理	表
6-	NK-10	日経新聞	2001/10/8	朝刊	食の安全をめぐる年表	時系列的整理	表
6-	NK-11	日経新聞	2001/10/10	朝刊	EU 医薬品審査庁による危険度の分類	その他	図 (見取り図)
6-	NK-12	日経新聞	2001/10/10	朝刊	流通停止までの肉骨粉の流れ	サプライチェーン	図 (チャート)
6-	NK-13	日経新聞	2001/10/10	朝刊	発生から 1ヶ月の経緯	被害拡大状況の整理	表
6-	ZNE-1	Newton	2001.12 月号		世界における狂牛病の発生状況	被害拡大状況の整理	表
6-	ZNE-2	Newton	2001.12 月号		正常・異常型プリオン・タンパク図比較	原因物質	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
6-	ZNE-3	Newton	2001.12 月号		イギリスでの狂牛病および変異型ヤコブ病発生の推移	基礎データ	棒グラフ
6-	ZNE-4	Newton	2001.12 月号		ウシ由来物が用いられてきた医薬品	暴露量評価	表
6-	ZNE-5	Newton	2001.12 月号		ウシ由来物が用いられてきた医薬部外品	暴露量評価	表
6-	ZNE-6	Newton	2001.12 月号		ウシ由来物が用いられてきた化粧品	暴露量評価	表
6-	ZNE-7	Newton	2001.12 月号		ウシ由来物が用いられてきた医療用具	暴露量評価	表
6-	ZNE-8	Newton	2001.12 月号		説1ヘテロ代マモデル・説2画依存性重合モデル	原因物質	図
6-	ZNK1	日経サイエンス	2004.10 月号		病原体の正体(プリオンタンパク質の図)	原因物質	図
6-	ZNK2	日経サイエンス	2004.10 月号		世界の現状	被害拡大状況の整理	表
6-	ZNK3	日経サイエンス	2004.10 月号		BSE 検査方法:生物学的検定法	原因物質	図
6-	ZNK4	日経サイエンス	2004.10 月号		BSE 検査方法:免疫組織化学方	原因物質	図
6-	ZNK5	日経サイエンス	2004.10 月号		BSE 検査方法:免疫測定法	原因物質	図
6-	ZNK6	日経サイエンス	2004.10 月号		BSE 検査方法:構造依存性免疫検査法(CDI)	原因物質	図
6-	RG-1	リスク眼力	2005.03 刊		BSE 感染牛	その他	図
6-	RG-2	リスク眼力	2005.03 刊		異常プリオンの分布図	その他	図(見取り図)
6-	RG-3	リスク眼力	2005.03 刊		BSE 感染リスクの比較(英国と日本)	被害拡大状況の整理	棒グラフ
-	AC-1	朝日小学生新聞	2001/9/29		狂牛病が確認された国・地域	被害拡大状況の整理	地図
-	MC-1	朝日小学生新聞	2001/9/28		狂牛病 推定感染ルート・発生国	被害拡大状況の整理	図
6-	SAO1				正常プリオンたんぱく質と異常プリオンタンパク質の模式図	原因物質	図
6-	SAO2	食品汚染はなにが危ないのか			特定危険部位	その他	図(見取り図)
6-	SAO3	食品汚染はなにが危ないのか			プロテアーゼの作用	原因物質	図
	SAO4				国内での BSE 発生状況(2008 年 4 月 10 日現在)	被害拡大状況の整理	地図
6-	- 1	ビデオ 7/1 放送分 食品安全委員会関連ニュース	2009/7/1		BSE 後の焼肉店売上	基礎データ	折れ線グラフ
6	- 1	ビデオ H16.2/21 政策対談 明日への架け橋(cs 朝日ニュースター)	2004/2/21		牛の危険部位	その他	図(見取り図)
6	- 2	ビデオ 4/22~24 米国産牛肉せき柱混入事例、5/2NHK20:00~20:45 食の安全基準を探る、新トキョー人の選択、5/8 鉛評価	4/22 ~ 4/24、5/2 20:00 ~ 20:45、5/8		輸入禁止の特定危険部位	その他	図(見取り図)
6	- 3		4/22 ~ 4/24、5/2 20:00 ~ 20:45、5/8		牛肉の輸入禁止~再開の経緯	時系列的整理	表
6	- 1		2004/2/15		牛・鶏肉の輸入禁止の割合	基礎データ	円グラフ
6	- 3	ビデオ 日曜討論 亀井農林大臣 NHK	2004/2/15		国産・輸入品別牛肉小売価格の推移	基礎データ	折れ線グラフ
6	- 4		2004/2/15		国内牛肉使用量シェア	基礎データ	円グラフ

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
6	- 10	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.31 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.31		日米の検査対象牛の比較	基礎データ	図
6	- 12	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.36 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.36		外食産業の輸入食料使用割合	基礎データ	図
6	- 2	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.20 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.20		輸入牛タン仲間相場推移	基礎データ	折れ線グラフ
6	- 3	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.21 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.21		牛肉小売価格の推移	基礎データ	棒グラフ
6	- 4	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.22 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.22		牛肉の国内消費量の推移	基礎データ	円グラフ
6	- 5	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.23 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.23		米国の牛肉輸出国別比較	時系列的整理	表
6	- 8	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほっとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.29 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.29		特定危険部位	その他	図(見取り図)
6	-1	NHK 週刊こどもニュース	2005/11/5		米国产牛肉輸入	その他	図
6	-2		2005/11/5		食品安全委員会の話し合い	その他	図
6	-3		2005/11/5		BSE とは	原因物質	図
6	-4		2005/11/5		プリオンとは	原因物質	図
6	-5		2005/11/5		悪いプリオンたんぱく	原因物質	図
6	-6		2005/11/5		肉骨粉	原因	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
6	-7	NHK 週刊こどもニ ース	2005/11/5		BSE 牛から人へ	その他	図
6	-8		2005/11/5		東京都食肉市場	その他	図
6	-9		2005/11/5		東京都食肉衛生検査所	その他	図
6	-10		2005/11/5		牛の延髄	その他	図
6	-11		2005/11/5		悪プリオンたまる場所	その他	図(見取り図)
6	-12		2005/11/5		輸入再開の牛の基準	その他	図
6	-13		2005/11/5		米国の牛	その他	図
計	94						

かいわれ大根に関する風評被害が発生した集団食中毒事件（H.8.7）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
7-	A - 1	朝日新聞	1996/7/15	朝刊	全国各地で起きた病原性大腸菌 O157 による食中毒	被害拡大状況の整理	地図
7-	A - 2	朝日新聞	1996/7/16	朝刊	食中毒の食材納入ルート	サプライチェーン	図(チャート)
7-	A - 3	朝日新聞	1996/7/23	朝刊	全国各地で起きた病原性大腸菌 O157 による食中毒	被害拡大状況の整理	地図
7-	A - 4	朝日新聞	1996/7/24	朝刊	境で初、入院の小5	被害拡大状況の整理	地図
7-	A - 5	朝日新聞	1996/7/25	朝刊	予防法	原因物質	表
7-	A - 6	朝日新聞	1996/7/26	朝刊	岡山・邑久町の思い	被害拡大状況の整理	地図
7-	A - 7	朝日新聞	1996/8/3	朝刊	O157 診断・治療に指針	原因物質	表
7-	A - 8	朝日新聞	1996/8/9	夕刊	病原性大腸菌 O157 による今年の死者	被害拡大状況の整理	表
7-	A - 9	朝日新聞	1996/8/13	朝刊	DNA パターンによる O157 の系統	原因物質	表
7-	NK-1	日経新聞	1996/7/16	朝刊	O157 による感染者(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	NK-2	日経新聞	1996/7/20	夕刊	食中毒事件数・患者数・死者数	基礎データ	折れ線グラフ
7-	NK-3	日経新聞	1996/7/26	朝刊	O157 感染者の出た都府県(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	NK-4	日経新聞	1996/8/8	朝刊	大阪府下の売り上げ減少の著しい主な業績の状況	その他	表
7-	NK-5	日経新聞	1996/8/11	朝刊	O157 で死者の出た府県(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	NK-6	日経新聞	1996/8/11	朝刊	O157 の分析パターン	原因物質	その他
7-	NK-7	日経新聞	1996/8/13	朝刊	堺市の O157 累計患者数と児童入院患者数	被害拡大状況の整理	複合(棒折線)グラフ
7-	M-1	毎日新聞	1996/7/16	朝刊	O157 中毒発生都府県(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	M-2	毎日新聞	1996/7/21	朝刊	O157 による食中毒の発症者数(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	M-3	毎日新聞	1996/7/25	朝刊	海外の O157 感染例	基礎データ	表
7-	M-4	毎日新聞	1996/7/26	朝刊	死亡した 8 人の経緯	被害拡大状況の整理	表
7-	M-5	毎日新聞	1996/8/1	朝刊	指定伝染病の適用でどうなる?	基礎データ	表
7-	M-6	毎日新聞	1996/8/3	朝刊	O157 の体内活動図	原因物質	図
7-	M-7	毎日新聞	1996/8/6	朝刊	伝染病予防法指定に伴う適用範囲	基礎データ	表
7-	M-8	毎日新聞	1996/8/11	朝刊	南野農園のカイワレ大根が食材に使われた日とその後に起きた集団食中毒	被害拡大状況の整理	表
7-	Y - 1	読売新聞	1996/7/25	朝刊	O157 による感染被害の実態(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	Y - 2	読売新聞	1996/7/25	朝刊	厚生省が呼びかけている病原性大腸菌「O157」対策	原因物質	表
7-	Y - 3	読売新聞	1996/7/31	朝刊	O157 による感染被害の実態(日本地図)	被害拡大状況の整理	地図
7-	Y - 4	読売新聞	1996/7/31	朝刊	外国の O157 集団感染の最近の事例(WHO 調べ)	基礎データ	表
7-	Y - 5	読売新聞	1996/8/1	朝刊	政府緊急行動配布チラシ「病原性大腸菌 O157 から身体を守るために」	原因物質	図
7-	S - 1	産経新聞	1996/8/1	朝刊	O157 緊急行動計画(要旨)	その他	表
7-	S - 2	産経新聞	1996/8/9	朝刊	O157 感染者の出た都道府県	被害拡大状況の整理	地図
7-	SRN1	食中毒のリスクと人間社会			食中毒菌の最小発症量	原因物質	表
7-	SAO1	食品汚染はなにが危ないのか			O157 の変わった感染経路	原因物質	図
7-	SAO2				腸管出血性大腸菌 O157 による食中毒の発生状況	基礎データ	表
7-	TA-1	食べ物を安全にしよう～食事・流通・農業～			細菌の増える条件	原因物質	図
7-	TA-2				O-157 に抗生物質がきかないわけ	原因物質	図
7-	WEB1	上尾市医師会健康ガイド			主症状と経過	原因物質	図(チャート)
7-	WEB2	日本医師会			O157 感染症の経過	原因物質	図(チャート)
7-	WEB4	日本衛生研究会			O157 と成型肉	原因食品	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
7-	WEB14	福井医科大学 微生物研究室			腸管出血性大腸菌の抗原	原因物質	図
7-	WEB16	健康バスケット (民間医療メー カ)			O157ってどんな病気?	原因物質	図
計	41						

スギヒラタケが原因と疑われる急性脳症の発生（H.19.10）

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
8-	A-1	朝日新聞	2004/11/3		スギヒラタケが原因とみられる急性脳症の届出患者数	被害拡大状況の整理	地図
8-	A-2	朝日新聞	2004/11/3		急性脳症が発生した各県の状況	被害拡大状況の整理	複合グラフ
8-	WEB1	東京都神経化学総合研究所			神経細胞と髄鞘の模型図	原因物質	図
8-	WEB2	国立感染症研究所			急性脳炎患者の性別年齢分布	被害拡大状況の整理	棒グラフ
8-	WEB3	岐阜県林業センター			日本産の主な毒きのこ	原因食品	表
8-	WEB4	林野庁			スギヒラタケの写真1	原因食品	図
8-	WEB5	林野庁			スギヒラタケの写真2	原因食品	図
8-	WEB6	林野庁			スギヒラタケの写真3	原因食品	図
8-	WEB7	林野庁			スギヒラタケの写真4	原因食品	図
8-	WEB8	林野庁			系統図	原因食品	図
8-	WEB9	林野庁			ヒラタケの写真1	原因食品	図
8-	WEB10	林野庁			ヒラタケの写真2	原因食品	図
8-	WEB11	林野庁			スギヒラタケの写真5	原因食品	図
8-	WEB12	Wikipedia			スギヒラタケの写真1	原因食品	図
8-	WEB13	Wikipedia			スギヒラタケの写真2	原因食品	図
8-	WEB14	Wikipedia			スギヒラタケの写真3	原因食品	図
8-	WEB15	個人のホームページ(ふるさとまごころ)			スギヒラタケの写真	原因食品	図
8-	WEB16	個人のホームページ(ふるさとまごころ)			スギヒラタケせんべい	原因食品	図
8-	WEB17	個人のホームページ			スギヒラタケの写真1	原因食品	図
8-	WEB18	個人のホームページ			スギヒラタケの写真2	原因食品	図
8-	WEB19	個人のホームページ			スギヒラタケの写真3	原因食品	図
8-	WEB20	個人のホームページ			スギヒラタケの写真4	原因食品	図
8-	WEB21	個人のホームページ			スギヒラタケの写真5	原因食品	図
8-	WEB22	個人のホームページ			スギヒラタケの写真6	原因食品	図
8-	WEB23	個人のホームページ			スギヒラタケの写真7	原因食品	図
8-	WEB24	個人のホームページ			スギヒラタケの写真8	原因食品	図
計	26						

未認証遺伝子組み換えトウモロコシ Bt10 混入 (H.17.3)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
9-	M-1	毎日新聞	2005/4/5	朝刊	遺伝子組み換え作物の日本国内での利用先	原因食品	図
9-	M-2	毎日新聞	2005/4/5	朝刊	遺伝子組み換え作物の栽培世界ランキング	原因食品	地図
9-	M-3	毎日新聞	2005/4/5	朝刊	組み換え作物に関連した食品の表示の仕方	その他	チャート図
9-	M-4	毎日新聞	2005/4/5	朝刊	世界での栽培面積の推移(国際アグリバイオ事業団調べ)	基礎データ	棒グラフ
9-	ZSKO-1	食品工業	2008.4.30		2007 年遺伝子組換え作物を栽培した 23 カ国における国別栽培状況	基礎データ	表
9-	ZSKO-2		2008.4.30		遺伝子組換え農作物の安全性評価の流れ	行政機関の役割	図
9-	HSTK-1	食と健康			品種改良とはちがうの？	その他	図
9-	HSTK-2				遺伝子組換え食品の表示のしかた	原因食品	表
9-	HSTK-3				遺伝子組換え表示義務のあるおもな食品	原因食品	表
9-	ZK1	科学	Vol.77 NO.2		主要な作物と野生種間の自然交雑率とその距離の関係	基礎データ	表
9-	ZK2		Vol.77 NO.2		導入遺伝子が個体の適応度に及ぼす影響を調べた研究	基礎データ	表
9-	ZK3		Vol.77 NO.2		適応度を考慮したモデル研究	基礎データ	表
9-	SAO1	食品汚染はなにが危ないのか			作物の性質を変える方法	その他	図
9-	SAO2				遺伝子組み換え作物の作付け面積	基礎データ	棒グラフ
9-	SAO3				遺伝子組み換え作物のいろいろ	その他	図
9-	SAO4				日本への遺伝子組み換え作物、作物別輸入量	基礎データ	棒グラフ
9-	SAK01	食品の危険度・安全度がわかる本			遺伝子組み換えの表示義務のある加工食品	原因食品	表
9-	SAK02				遺伝子組み換え表示の区分	その他	表
9-	SAK03				様々なバイオ技術	基礎データ	表
9-	OSI01	Q&A でわかるおとなの食育新常識 100			遺伝子組み換え表示が義務付けられている 7 つの作物	原因食品	図
9-	OSI02				表示のポイント	その他	図(チャート)
9-	WEB1	WEBLIO			Bt タンパク質遺伝子を導入したトウモロコシの安全性	原因物質	図(チャート)
計	22						

(2) 食品安全委員会のリスク評価に関して報道された事例

「クローン牛・豚の評価に「安全」/食品委答申」(2009/06/26、読売)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
-	Nわ1	月刊 10 歳からの News がわかる	2009.10 月号		クローン牛の作り方(受精卵クローン・体細胞クローン)	その他	図(チャート)
-	Nわ2		2009.10 月号		クローン牛安全性に問題はない?	その他	図
-	ZNE1	Newton	2008.2月号		クローン ES 細胞、iPS 細胞の初期化	原因物質	図
-	ZNE2		2008.2月号		各クローン細胞比較表	原因物質	表
-	D8-1	DVD NHK 総合「スタジオパークからこんにちは」"どう考える?クローン牛の安全性"NHK 解説委員会 瀬宏毅	2009.4.3		体細胞クローン技術	原因物質	図
-	D8-2		2009.4.3		クローン牛と通常の牛での安全性の比較	原因食品	図
-	D8-3		2009.4.3		クローン技術の利用	その他	図
-	WEB1	読売年鑑 2002 yomiuri-online			クローン動物の作り方	その他	図
-	WEB2				体細胞クローン牛の誕生まで	その他	図
-	WEB3	朝日新聞 aspara クラブ 科学面			冷凍細胞や核からクローン	その他	図(チャート)
-	WEB4	畜産草地研究所 行動繁殖技術研究チーム			妊娠認識機構等利用受精卵移植受胎率向上技術開発	その他	図
-	WEB5				インターフェロントウによる子宮内膜上皮細胞を介する黄体退行阻止のメカニズム	その他	図
-	WEB6	石川県畜産総合センター			体細胞クローン牛と一般牛の体重・赤血球数推移比較	基礎データ	折れ線グラフ
-	WEB7				クローン牛作出技術の改善	その他	図(チャート)
-	WEB8	兵庫県畜産協会			受精卵クローン牛と体細胞クローンの違い	その他	表
-	WEB9	北海道農業研究センター「全きょうだい牛およびクローン牛を用いた黒毛和種種雄牛の検定法」			全きょうだい牛成績と候補牛推定育種価の関係(志望交雑)	基礎データ	その他
-	WEB10				2分離胚+全きょうだい検定システム	その他	図
-	WEB11				全きょうだい牛と受精卵クローン牛の級内相関係数	基礎データ	表
-	WEB12				各検定システムの比較表	基礎データ	表
-	WEB13	徳島県立農林水産総合技術センター			クローン牛分娩状況	基礎データ	表
-	WEB14				受精卵クローン牛の体重の推移	基礎データ	折れ線グラフ
-	WEB15				受精卵クローン牛の体重の推移泌乳状況	基礎データ	折れ線グラフ
-	WEB16	九州沖縄農業研究センター			核移植によるクローン牛作出実用化試験 分娩産子の状況	基礎データ	表
-	WEB17	中央畜産会畜産研究最優秀賞			体細胞クローン豚の作出技術の開発 大西彰	その他	図(チャート)
-	WEB18	長野県 HP			核移植クローン牛生産技術	その他	図
計	25						

「大豆イソフラボン配合特定保健用食品 妊婦・子どもに「推奨できない」/安全委」
(2006/03/10、読売)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別	
-	M-1	毎日新聞	2006/3/14	朝	大豆イソフラボンを特定保健用食品で追加摂取する1日あたりの目安量	暴露量評価	表	
-	TCN-1	食べ物はこうして血となり肉となる	技術評論社		イソフラボンと女性ホルモン(エストラジオール)の構造	原因物質	図	
-	TCN-2		技術評論社		巨大化した脂肪細胞が原因となる疾患	その他	図(チャート)	
-	WEB1	全国納豆共同組合連合会納豆PRセンター			大豆イソフラボンの予防効果	原因物質	図	
-	WEB2	みつわ薬品 HP			主な生理作用	原因物質	表	
-	WEB3				イソフラボンの働き	原因物質	図(チャート)	
-	WEB4				イソフラボンと女性ホルモンの代謝	原因物質	図	
-	WEB5				骨におけるイソフラボンの働き	原因物質	図(チャート)	
-	WEB6		自分でできるがん再発予防法??			大豆イソフラボンのがん予防効果	原因物質	図(チャート)
-	WEB7	大豆ペプチド健康フォーラム??			大豆の加工分類	原因食品	図(チャート)	
-	WEB8	日経ヘルス			大豆イソフラボンの摂取で肌のシワとハリが改善	基礎データ	折れ線グラフ	
-	WEB9				大豆の主な健康成分とその働き	原因物質	表	
-	WEB10	中日新聞 2009/2/24 朝刊			食品と薬品併用で発毛効果 イソフラボン+カプサイシン+葉	原因物質	図	
-	WEB11	ニチモウ イソフラボン講座			グリコンド型イソフラボン	原因物質	図	
-	WEB12	ニチモウバイオテック イソフラボン講座			アグリコン型イソフラボン	原因物質	図	
-	WEB13				エストロゲンとアグリコン型の分子構造比較 分子構造図	原因物質	図	
-	WEB14				抗酸化パワーの比較	基礎データ	棒グラフ	
-	WEB15				アグリコン型イソフラボン分子構造図はエストロゲン(女性ホルモン)とテストステロン(男性ホルモン)両方に似ている	原因物質	図	
-	WEB16				アグリコン型イソフラボンを摂取する前と後の血液状態測定	原因物質	図	
-	WEB17				アグリコン型イソフラボンにも3種類ある	原因物質	図(チャート)	
-	WEB18				若年性更年期障害にきくアグリコン型イソフラボン	原因物質	図(チャート)	
-	WEB19				ダイゼイン説明	原因物質	図	
-	WEB20				更年期うつにアグリコン型イソフラボン	その他	表	
-	WEB21				エストロゲンとイソフラボンは同一のものか?	原因物質	表	
-	WEB22				アディポネクチンの変動	基礎データ	棒グラフ	
-	WEB23				大豆イソフラボンのLDLコレステロール酸化抑制図	原因物質	図	
-	WEB24		ニチモウバイオテック アグリマックス			各種イソフラボンの吸収部位比較	原因物質	図
-	WEB25		ニチモウバイオテック イソフラボン講座			大豆イソフラボンのエストロゲン作用および抗酸化作用によるアテローム性動脈硬化の予防	原因物質	図
-	WEB26					慢性病(生活習慣病)に対する大豆イソフラボンの期待できる機能	原因物質	表
-	WEB27	名古屋市立大学大学院研究成果			唐辛子(カプサイシン)と大豆(イソフラボン)で髪が生えた!	その他	図(チャート)	
-	WEB28	フジッコ株式会社			大豆食品からのイソフラボン摂取量の分布	基礎データ	棒グラフ	
-	WEB29				イソフラボンの1日摂取量目安	その他	図	

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
-	WEB30	フジッコ株式会社			イソフラボン量の示し方 配糖体・アグリコン	原因物質	図
-	WEB31				大豆イソフラボンの食品含有量	基礎データ	表
-	WEB32				大豆イソフラボンの1日摂取量目安	暴露量評価	図
-	WEB33				年齢別イソフラボン摂取量	暴露量評価	棒グラフ
-	WEB34	マイクロソフトのビューティスタイルサイト			イソフラボンのメラニン生成抑制効果	原因物質	棒グラフ
-	WEB35				イソフラボンの増加と血圧の下降	原因物質	複合グラフ
-	WEB36	育毛研究.com			薄毛前頭脱毛に改善効果 カプサイシンとイソフラボン摂取方法	その他	図
-	WEB37	日経ネット いきいき健康			大豆たんぱく質とイソフラボンは共同でコレステロールを下げる	その他	図
-	WEB38				イソフラボンは大豆の芽に最も多く含まれる	原因食品	図
-	WEB39				大豆の摂取量と虚血性心疾患死亡率	基礎データ	折れ線グラフ
-	WEB40				大豆イソフラボン摂取による血圧低下、血清コレステロールの低下	基礎データ	棒グラフ
-	WEB41	イソフラボン倶楽部 通信販売			グリコシド型イソフラボンとアグリコン型イソフラボン	原因食品	表
計	44						

「メチル水銀摂取量 妊婦は現行比の4割減 食品安全委が基準試案」(2005/06/09、読売)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別	
-	N-1	日経新聞	2005/8/13	朝刊	妊婦が注意すべき魚介類の種類と摂取量の目安	暴露量評価	表	
-	M-1	毎日新聞	2005/8/13	朝刊	注意すべき魚などと、食べてよい回数	暴露量評価	表	
-	Y-1	読売新聞	2005/8/13	朝刊	妊婦が注意すべき魚介類の種類と摂取回数の目安	暴露量評価	表	
-	RG-1	リスク眼力	2005.3 発刊		主な魚介すりの水銀平均濃度	原因食品	表	
-	WEB1	環境省(H18 版環境白書)			水俣病患者発生地域	基礎データ	地図	
-	WEB2				メチル水銀の汚染経路	その他	図	
-	WEB3	国立水俣病総合研究センター			「水銀」って?	原因物質	図	
-	WEB4				体内へ入る水銀	原因物質	図	
-	WEB5				水銀の分布、排泄とは?	原因物質	図	
-	WEB6				メチル水銀中毒の治療は?	その他	図	
-	WEB7				魚介類の摂取について	原因食品	図	
-	WEB8				水俣湾の定着性魚の食性と水銀濃度の関係	原因食品	表	
-	WEB9		らべるびい予防医学研究所			母体から無防備な胎児の脳に水銀が移行	その他	図
-	WEB10		国立水俣病総合研究センター 安武章氏提供 らべるびい予防医学研究所			地球表面における水銀の循環	基礎データ	図
-	WEB11				バクテリアがメチル水銀を作る	原因物質	図	
-	WEB12				プランクトンへの蓄積	その他	図	
-	WEB13				小魚がプランクトンを食べる	その他	図	
-	WEB14				大型魚が小魚を食べる	その他	図	
-	WEB15				大型魚が小魚を食べる2	その他	図	
-	WEB16				魚を食べる	その他	図	
-	WEB17				体内でのメチル水銀のうごき	原因物質	図	
-	WEB18				ヒトの体の水銀濃度	基礎データ	棒グラフ	
-	WEB19				毛髪水銀濃度のものでさし	基礎データ	図	
-	WEB20				妊婦が注意すべき魚介類の種類とその摂取量	暴露量評価	表	
-	WEB21	熊本県 水俣市 【協立クリニック】水俣病に関して 水俣病 Q&A 内科 神経内科 リハビリ 精神科 等のご案内			メチル水銀暴露と症状の比較	その他	図	
-	WEB22	栄養医学研究所(民間企業)			魚の食物連鎖	原因食品	図	
-	WEB23	国際基督教大学			メチル水銀生物濃縮経路	原因食品	図	
-	WEB24	Senior Integrating Seminar 2003			主な漁業愛類のメチル水銀平均濃度	原因食品	棒グラフ	
-	WEB25				各国のメチル水銀関連の食事指導内容比較	その他	表	
計	29							

「BSE対策 全頭検査緩和を答申 生後20か月以下除外 / 食品安全委」(2005/05/07、読売)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
-	M-1	毎日新聞	2005/5/25	朝刊	米国産牛の輸入再開をめぐる主な経緯と今後の日程	時系列的整理	表
-	M-01	毎日新聞	2004/10/16	朝刊	米国産牛肉問題をめぐる今後の見直し	その他	図(チャート)
-	A-1	朝日新聞	2005/5/28	朝刊	OIE 新たなBSE安全基準	その他	表
-	A-01	朝日新聞	2004/9/16	朝刊	BSE問題を巡る食品安全委員会と日米の動き	時系列的整理	表
-	A-02	朝日新聞	2004/10/15	朝刊	全頭検査の見直しと米国産牛肉輸入再開の流れ	その他	図(チャート)
-	NK-01	日経新聞	2004/9/10	朝刊	牛肉の現行の安全基準	その他	図(チャート)
-	NK-02	日経新聞	2004/10/16	朝刊	日米における牛肉の安全対策	その他	表
-	NK-03	日経新聞	2004/10/17	朝刊	BSEをめぐる動き	時系列的整理	表
-	Y-01	読売新聞	2004/10/23	朝刊	米国産牛肉輸入再開を巡る日米両国の主な主張	その他	表
-	Y-02	読売新聞	2004/10/24	朝刊	米国産牛肉輸入再開を巡る今後の見直し	時系列的整理	図(チャート)
-	- 2	ビデオ 7/1 放送分	2009/7/1		食品安全委員会の役割	その他	図
-	- 3	食品安全委員会関連ニュース	2009/7/1		食品安全委員会の役割	その他	図(チャート)
-	- 5		2009/7/1		食品安全委員会の役割	その他	図
-	- 1	ビデオ 4/22~24 米国産牛肉せき柱混入事例	4/22 ~ 4/24、5/2 20:00 ~ 20:45、5/8		生後10ヶ月以下の検査の必要性のアンケート	消費者意識	円グラフ
-	- 6			BSE対策	その他	図	
-	- 7	5/2NHK20:00~20:45 食の安全基準を探る、新トーカー人の選択、5/8 鉛評価		生後10ヶ月以下の検査なしによる人への感染リスク	その他	図	
-	- 8			世界のBSE発生状況	基礎データ	棒グラフ	
-	- 9			BSE感染牛の生まれた年	原因	棒グラフ	
-	- 2	ビデオ 日曜討論 亀井農林大臣 NHK	2004/2/15		日本とアメリカのBSE対策	その他	表
-	- 1	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、4.13NHK生活ほっとモーニング金子委員、4.18 テレビタックル、5.19 農水・厚労リスコミ	H17.3.29、4.13、4.18、5.19		BSE問題の経過	時系列的整理	表
-	- 11	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、4.13NHK生活ほっとモーニング金子委員、4.18 テレビタックル、5.32 農水・厚労リスコミ	H17.3.29、4.13、4.18、5.32		日本のBSE対策	その他	図

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
-	- 6	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほ っとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.24 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.24		BSE対策今後の予定	その他	表
-	- 8	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほ っとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.27 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.27		国内のBSE対策見直し案	その他	図(チャート)
-	- 9	ビデオ H17.3.29 プリオン 翌日、 4.13NHK 生活ほ っとモーニング 金子委員、4.18 テレビタックル、 5.30 農水・厚労 リスコミ	H17.3.29、 4.13、4.18、 5.30		20ヶ月齢以下の牛のリスク	その他	その他
-	- 1	ビデオ H.16.6.23 NHK	H.16.6.23		アメリカでのBSE対策	その他	図(チャート)
-	- 2	あすを読む	H.16.6.23		アメリカ産牛肉輸入再開問題	その他	図
-	D6-1	DVD 2009/5/26NHK 総合「きょうのニ ュース&スポーツ」 「持論公論」	2005.5.26		OIEの国別リスク	その他	図
-	D6-2	総合「きょうのニ ュース&スポーツ」 「持論公論」	2005.5.26		日本産牛肉の輸出推移	その他	図
-	D6-3	「どう考える？ BSE 全頭検査 の継続」合瀬宏 毅 開設委員	2005.5.26		日本による米国産牛肉の年齢制限	その他	図
-	D6-4	「どう考える？ BSE 全頭検査 の継続」合瀬宏 毅 開設委員	2005.5.26		OIEより日本に全頭検査の撤廃要請	その他	図
計	30						

「食品安全委、「アマメシバ粉末禁止」で存在意義 課題は山積」(2003/10/11、読売)

事案	図表 NO	媒体名	掲載日付	朝刊/夕刊	図表タイトル	内容	種別
-	AK1	危ない健康食品から身を守る本			“アマメシバの大評判効果”「健康」01年9月号の中見出しページより	その他	図
-	AK2				法律による健康食品・医薬品・一般食品の分類	その他	図
-	AK3				アメリカで認められている病気になるリスクの低減表示	その他	表
-	AK4				限定付き健康強調表示が認められた健康食品	その他	表
-	AK5				FDA が検討中の表示	その他	表
-	AK6				パブリック・シティズンが「使用すべきでない」とあげた健康食品の素材	その他	表
-	AK7				進行中のおもな健康食品の素材の有効性を調べる臨床試験	その他	表
-	AK8				アメリカ・EU カナダ・日本の健康食品制度の違い	その他	図
-	AK9				高齢者向け健康食品のおもな副作用・禁忌・薬との相互作用	その他	表
-	AK10				健康食品の有効性を評価するフローチャート	その他	図
-	AK11				健康食品に関する年表	時系列的整理	表
-	WEB1	鹿児島大学病院神経内科・呼吸器内科			マウスへのアマメシバ投与私見と試験結果	その他	図
-	WEB2				アマメシバ関連閉塞性気管支炎の本邦報告例	その他	表
-	WEB3	群馬県 HP			健康食品として販売されるもの 内訳	その他	図
-	WEB4	東京都福祉保健局			アマメシバ加工食品の流通禁止措置までの流れ	時系列的整理	表
-	WEB5				アマメシバ加工食品」によると疑われる閉塞性気管支炎の発生	その他	図(チャート)
計	16						

1.3.3 収集資料の集計

(1) 一般事例

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生 (H.20.1)

種別 内容	図 チャート	図 見取り図	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	1	15
原因物質	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	9
原因食品	0	0	0	2	16	0	0	0	0	0	0	18
行政機関の役割	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1	9
時系列的整理	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	3	11
サプライチェーン	16	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3	24
原因	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9
被害拡大状況の整理	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	5
事業者の対応	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
消費者意識	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	4
基礎データ	1	0	0	1	9	1	4	2	2	2	1	21
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
総計	23	5	3	21	58	2	4	3	2	2	10	131

事故米穀の不正規流通事案（H.20.9）

種別 内容	図 チャート	図 見取り図	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 （ 棒 折 線 ）	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
原因物質	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	5
原因食品	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行政機関の役割	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
時系列的整理	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4
サプライチェーン	36	0	1	3	4	0	0	0	0	0	1	45
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	2	8	1	1	1	0	0	0	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	38	0	2	9	20	1	1	1	0	0	4	76

フグ毒一般

種別 内容	図 チャート	図 (見取り図)	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	1	0	0	7	4	0	0	0	0	0	1	13
原因食品	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	12	0	3	0	0	0	0	1	0	16
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	6
その他	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
総計	2	0	12	8	14	0	1	0	0	1	1	39

新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）の発生（H.21.4）

種別 内容	図 (チャート)	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	36	5	0	0	0	0	0	0	41
原因食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行政機関の役割	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	6
時系列的整理	0	0	0	1	16	0	0	0	0	0	1	18
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
被害拡大状況の整理	1	0	46	2	67	0	2	0	1	1	1	120
事業者の対応	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
基礎データ	0	0	5	0	4	2	16	8	1	0	0	36
その他	22	9	8	55	44	0	3	0	0	0	34	175
総計	25	9	60	95	142	2	21	9	2	0	37	402

ノロウイルス感染者の拡大（H.18.12）

種別 内容	図 チャート	図 見取り図	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 （ 棒 折 線 ）	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
原因食品	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	8	1	0	0	0	0	0	4	16
総計	3	0	0	8	5	0	5	0	0	0	4	25

国内外のBSE発生事案

種別 内容	図 (チャート)	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折れ 線 グラフ	棒 グラフ	複 合 (棒折 線) グラフ	その他	総 計
	曝露量評価	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	14	1	0	0	0	0	0	15
原因食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
サプライチェーン	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
原因	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
被害拡大状況の整理	0	0	6	1	6	0	0	1	0	0	14
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	3	3	3	3	2	0	0	14
その他	2	9	0	12	4	0	0	0	0	1	28
総計	11	9	6	31	27	3	3	3	0	1	94

かいわれ大根に関する風評被害が発生した集団食中毒事件（H.8.7）

種別 内容	図 (チャート)	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折れ 線 グラフ	棒 グラフ	グラフ	複 合 (棒折線)	その他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	2	0	0	7	5	0	0	0	0	0	1	15
原因食品	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	12	0	3	0	0	0	0	1	0	16
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	6
その他	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
総計	3	0	12	8	15	0	1	0	0	1	1	41

スギヒラタケが原因と疑われる急性脳症の発生（H.19.10）

種別 内容	図 チャート	図 見取り図	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 （ 棒 折 線 ）	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
原因食品	0	0	0	21	1	0	0	0	0	0	0	22
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	1	22	1	0	0	1	1	0	0	26

未認証遺伝子組み換えトウモロコシ Bt10 混入 (H.17.3)

種別 内容	図 チャート	図 (見取り図)	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
原因食品	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	6
行政機関の役割	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	5	0	0	3	0	0	0	8
その他	2	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	6
総計	3	0	1	6	9	0	0	3	0	0	0	22

(2) 食品安全委員会のリスク評価に関して報道された事例

「クローン牛・豚の評価に「安全」/食品委答申」(2009/06/26、読売)

種別 内容	図 チャート	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グラフ	棒 グラフ	複 合 (棒折線) グラフ	その他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
原因食品	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	4	0	3	0	0	1	8
その他	4	0	0	8	1	0	0	0	0	0	13
総計	4	0	0	11	6	0	3	0	0	1	25

「大豆イソフラボン配合特定保健用食品 妊婦・子どもに「推奨できない」/安全委」
 (2006/03/10、読売)

種別 内容	図 チャート	図 (見取り図)	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
原因物質	5	0	0	14	4	0	0	1	1	0	0	25
原因食品	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	1	0	2	4	0	0	0	7
その他	2	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	6
総計	8	0	0	19	8	0	2	6	1	0	0	44

「メチル水銀摂取量 妊婦は現行比の4割減 食品安全委が基準試案」(2005/06/09、読売)

種別 内容	図 (チャート)	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折れ 線 グラフ	棒 グラフ	複 合 (棒折 線) グラフ	その他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
原因物質	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
原因食品	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	5
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	4
その他	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	11
総計	0	0	1	19	7	0	0	2	0	0	29

「BSE対策 全頭検査緩和を答申 生後20か月以下除外 / 食品安全委」(2005/05/07、
読売)

種別 内容	図 チャート	図 (見取り図)	地 図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	5
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
基礎データ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	6	0	0	10	5	0	0	0	0	0	1	22
総計	7	0	0	10	9	1	0	2	0	0	1	30

「食品安全委、「アマメシバ粉末禁止」で存在意義 課題は山積」(2003/10/11、読売)

種別 内容	図 (チャート)	図 (見取り図)	地図	図	表	円 グラフ	折 れ 線 グ ラ フ	棒 グ ラ フ	グ ラ フ	複 合 (棒 折 線)	そ の 他	総 計
暴露量評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行政機関の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時系列的整理	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
サプライチェーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害拡大状況の整理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者意識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎データ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	6	7	0	0	0	0	0	0	14
総計	1	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	16

1.3.4 理解しやすい説明をする際に、留意すべき点

(1) 事例の特性によって、使用する図表の形式や内容は柔軟に検討する。

収集した図表の数を内容や種別に分けて集計したところ、事例の特性によって使われているものに差があった。例えば、中国産冷凍餃子については、原因食品について多く取り上げられているが、新型インフルエンザでは地図で被害拡大状況の整理をしているものが多くみられる。このことから、実際に緊急事態が発生した場合に求められる図表はその事案によって異なっており、柔軟に検討をする必要がある。なお、報道等においては、過去の類似事例を引き合いに出して解説している例が多く、図表作成の検討においては、過去の類似事例で使われているものが参考となる。

(2) 図(チャート)と表を多く活用し、グラフの採用には注意が必要である。

形式については、ほとんどの事例において図(チャート)と表が多い。特に、サプライチェーンに関するものが多く、事故米では全体の3分の2を占めている。事故米の事案が、

複雑な流通経路をたどっていたためにその解明が報道の焦点となっていたことが原因と推察される。また、全ての事例においてグラフについては非常に限定して使われていることがわかった。報道等においては、消費者の理解度に合せてグラフの使用を抑えている可能性があり、グラフの採用には注意が必要である。

2. 緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成

2.1 作成対象

各ハザードについて典型的と思われる図表や他のハザードとも共通して食品安全性評価について訴求すべき基礎知識などを考慮し、2点ずつ図表を元図として選び、これを説明資料作成の参考資料とした。元図の一覧を下表に示す。

表 元図の一覧

ハザード	図表番号	内容	元図
メタミドホス	1	メタミドホスの神経伝達のメカニズム	『食品汚染はなにが危ないのか』中西貴之著 株式会社技術評論社
	2	1日の摂取許容量(ADI)の説明図	『食品汚染はなにが危ないのか』中西貴之著 株式会社技術評論社
ジクロルボス	1	中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質の解説(メタミドホス、ジクロルボス、パラチオン、ホレート)	『2008年2月22日 産経新聞』
	2	マーケットバスケット調査方式(残留農薬の調査方法)	『食品汚染はなにが危ないのか』中西貴之著 株式会社技術評論社
アフラトキシンB ₁	1	カビ毒の解説(主なカビ毒の種類と汚染食品)	『Newton 08.12』P.109
	2	カビ毒の解説(カビは死んでもカビ毒は残る)	『Newton 08.12』P.109
フグ毒	1	有毒なフグの種類、テトロドトキシンを含む部位	『Newton 08.04』P.116
	2	テトロドトキシンが神経伝達をブロックする仕組み	『食品汚染はなにが危ないのか』中西貴之著 株式会社技術評論社

ハザード	図表番号	内容	元図
新型 インフル エンザ	1	感染患者数の推移グラフ(日経の例)	『2009年5月24日 日本経済新聞』
	2	新型インフルエンザへの恐怖感、水際対策についての統計調査(日経の例)	『2009年5月25日 日本経済新聞』
ノロウイルス	1	ノロウイルスの感染経路の説明図	群馬県ホームページより (http://www.pref.gunma.jp/cts/PortaIServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=71884)
	2	ノロウイルス感染を防ぐためには(加熱、手洗い、うがい、調理器具を清潔に)	食品安全委員会ホームページより (http://www.fsc.go.jp/sonota/norovirus.html)
プリオン	1	異常プリオンの蓄積する部位図(BSE感染牛)	『リスク眼力』 小島正美著(12章 BSE(牛海綿状脳症)の七不思議) P.193
	2	BSE感染リスクの比較図(日本と英国)	『リスク眼力』 小島正美著(12章 BSE(牛海綿状脳症)の七不思議) P.201
O157	1	O157の体内活動図(口～腸までの)模式図	『1996年8月3日 毎日新聞』
	2	O157の変わった感染経路(動物を媒介しての感染)	『食品汚染はなにが危ないのか』中西貴之著 株式会社技術評論社
スギヒラ タケ	1	スギヒラタケ脳症の多い地域(地図)	仙台キノコ同好会ホームページより (http://yumekinoko.web.infoseek.co.jp/10kinokokai_2005/P_10/10_sughiratake.htm)
	2	スギヒラタケ脳症の発生地域一覧表	仙台キノコ同好会ホームページより (http://yumekinoko.web.infoseek.co.jp/10kinokokai_2005/P_10/10_sughiratake.htm)

ハザード	図表番号	内容	元図
トウモロコシ Bt10	1	交配による品種改良と、遺伝子組換えによる品種改良の違い(図解)	『食と健康』 豊川裕之監修 ポプラ社
	2	Bt トウモロコシが害虫に強い理由の図解(人が食べても基本的には無害)	Weblio 辞書 > 学問 > バイテク用語 > Bt トウモロコシの解説 (http://www.weblio.jp/content/Bt%E3%83%88%E3%82%A6%E3%83%A2%E3%83%AD%E3%82%B3%E3%82%B7)

2.2 作成方針と作成した資料一覧

ハザードごとに図表の説明意図を新たに設定し、元図を参考に図表を作成した。作成した図の一覧を下表に示す。

表 作成した図表

ハザード	図表番号	内容	説明意図
メタミドホス	1	(模式図)メタミドホスの神経伝達のメカニズム	メタミドホスがどのように作用して、神経・脳が混乱をきたすかを説明した。
	2	1日の摂取許容量(ADI)の説明図	ADIについて、個人にとっての暴露量をおにぎりの個数で表現し、各個人が実感できるようにした。
ジクロルボス	1	中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質の解説(メタミドホス、ジクロルボス、パラチオン、ホレート)	ジクロルボスを他の有機リン系化学物質と比較し、特性を明確にした。
	2	マーケットバスケット調査方式(残留農薬の調査方法)	マーケットバスケット調査について、どのような調査であるかを具体的に説明した。
アフラトキシンB ₁	1	カビ毒の解説(主なカビ毒の種類と汚染食品)	一般に気をつけるべきカビ毒にはどのようなものがあるか、主な例を説明した。
	2	カビ毒の解説(カビは死んでもカビ毒は残る)	カビ毒について、殺菌してもカビ毒が残留し、安全上は問題があることを説明した。

ハザード	図表番号	内容	説明意図
フグ毒	1	有毒なフグの種類、テトロドトキシンを含む部位	フグの種類ごとに、どの部位にどれだけ強い毒性の物質が含まれるかを整理した。
	2	テトロドトキシンが神経伝達をブロックする仕組み	テトロドトキシンがどのように作用して神経伝達が麻痺するかを説明した。
新型インフルエンザ	1	感染患者数の推移グラフ(日経の例)	新型インフルエンザの患者数の増加状況を視覚的に説明した。
	2	新型インフルエンザへの恐怖感、水際対策についての統計調査(日経の例)	新型インフルエンザの脅威に対する消費者意識調査の結果を視覚的に説明した。
ノロウイルス	1	ノロウイルスの感染経路の説明図	ノロウイルスの感染経路について、食中毒と感染の両方があることを説明した。
	2	ノロウイルス感染を防ぐためには(加熱、手洗い、うがい、調理器具を清潔に)	ノロウイルスの感染予防策について、視覚的に訴えることを目的として説明した。
プリオン	1	異常プリオンの蓄積する部位図(BSE感染牛)	BSEの危険部位がどこであることを視覚的に説明し、通常食する部位ではないことを説明した。
	2	BSE感染リスクの比較図(日本と英国)	BSEに感染した牛は英国のほうが圧倒的に多いが、感染リスクで見ると、日本のほうが高いことを視覚的に説明した。
O157	1	O157の体内活動図(口～腸までの)模式図	O157の体内での活動について模式的に説明し、感染力が強く、また、深刻な障害をきたすことを示した。
	2	O157の変わった感染経路(動物を媒介しての感染)	O157の感染経路が多岐にわたることを例示した。
スギヒラタケ	1	スギヒラタケ脳症の多い地域(地図)	スギヒラタケ脳症患者の発生地域の偏りを図示した。
	2	スギヒラタケ脳症の発生地域一覧表	スギヒラタケ脳症患者の発生状況を視覚的に示した。
トウモロコシ Bt10	1	交配による品種改良と、遺伝子組換えによる品種改良の違い(図解)	品種改良と遺伝子組み換えの相違について図示し、遺伝子組み換えのメリットを訴求した。

ハザード	図表番号	内容	説明意図
	2	Bt トウモロコシが害虫に強い理由の図解(人が食べても基本的には無害)	Bt トウモロコシについて、虫と哺乳類への健康影響の差が生じる過程について図示し、人体や動物に対して無害であることを説明した。

Ⅲ． 定型的な説明資料の実効性の検証

目次

1. 消費者等の視点からの検証.....	67
1.1 有識者への説明会.....	67
1.2 消費者へのアンケート調査.....	71
1.3 消費者によるグループディスカッション.....	81
1.4 必要な改善.....	88
2. 緊急時対応訓練における実践による検証.....	89
2.1 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供の計画の作成.....	89
2.2 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供ができる説明資料作成等講習会の実施.....	94
2.3 定型的な説明資料の緊急時対応訓練での試行活用並びに検証を行うための資料の作成.....	95
2.4 定型的な説明資料の実効性の検証に必要な事項の整理・分析.....	109

1. 消費者等の視点からの検証

1.1 有識者への説明会

1.1.1 有識者への説明会の実施

消費者の代表及び食品安全分野の専門家の6名の有識者を対象に、定型的な説明資料について説明する会を開催し有識者から意見を聴き取った。有識者には主に次の項目に関する意見をお聞きした。

- ・内容の理解の程度
- ・長所・短所
- ・改善の方向性
- ・改善の具体
- ・感想
- ・その他（本調査目的達成のために有意義なもの）

(1) 参加した有識者

次の6名の有識者に協力いただいた。

青木 幸子 東京家政大学 教授

石川 純子 (社)消費者関連専門家会議 事務局長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会 組織推進本部 安全政策推進室長

菅 いづみ 全国消費者団体連絡会

蓮尾 隆子 家庭栄養研究会

三瀬 勝利 (独)医薬品医療機器基盤機構 顧問

(敬称略 50音順)

(2) 開催日

以下の2日間に分けて説明会を開催した。

平成22年3月3日(水), 3月5日(金)

1.1.2 調査の結果

有識者から得られた主な意見等を表 1.1.1 にまとめる。

表 1.1.1 説明資料に対する有識者からの主な意見

番号	ハザード	内容	有識者の主な意見
- 1	メタミドホス	(模式図)メタミドホスの神経伝達のメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> ・信号の流れる方向を矢印などで示す。 ・酵素の働きを記載するのが良い。 ・電気信号という言葉が難しい。 ・焦点を絞るという観点からは、一番右の図のみで良い。 ・文章での補足が必要。
- 2	メタミドホス	1日の摂取許容量(ADI)の説明図	<ul style="list-style-type: none"> ・判断の目安を伝えるなら、おにぎり12個を中心とすべき。 ・おにぎり4個は参考情報として、同列に配置しない(場合によっては不要)。 ・緊急時対応という観点からは、おにぎり約2/3個は不要。 ・残留基準値の位置付けは難しい(この場合超えているので、事故米特有の話で説明するのは無理がある)。 ・ppmの説明が必要である。 ・タイトルを”事故米に含まれるメタミドホスの”～ADI、とすべき。
- 1	ジクロールボス(他の残留農薬)	中国製冷凍食品から検出された有機リン系科学物質の解説(メタミドホス、ジクロールボス、パラチオン、ホレート)	<ul style="list-style-type: none"> ・急性参照量が無い場合(-)の説明が必要である。 ・基準値等があれば示す。 ・急性参照量の説明を加える。 ・ハザードの特性のみに注目するのではなく、ハザードもしくはハザードを含む物質が、何を目的として利用されてきたかを示す。
- 2	ジクロールボス(他の残留農薬)	マーケットバスケット調査方式(残留農薬の調査方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の食材も調理に入れる。 ・緊急時ではなく平常時の調査であることを示す。 ・マーケットバスケット調査の現状や意義を示す。
- 1	アフラトキシンB1(他のカビ毒)	カビ毒の解説(主なカビ毒の種類と汚染食品)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な状態の見分け方を説明すべきではないか。 ・健康影響の程度の違い(怖さの違い)を示すべき。 ・予防目的なのか、食べてしまった場合の情報提供なのかで内容が異なる。 ・カビのはえた食品の対処方法についても記載すべきではないか。
- 2	アフラトキシンB1(他のカビ毒)	カビ毒の解説(カビは死んでもカビ毒は残る)	-
- 1	フグ毒(テロドトキシン)	有毒なフグの種類、テロドトキシンを含む部位	<ul style="list-style-type: none"> ・フグの種類を区別する必要は無いのではないか。

番号	ハザード	内容	有識者の主な意見
- 2	フグ毒(テトロドトキシン)	テトロドトキシンの神経伝達をブロックする仕組み、テトロドトキシンのフグが死なない理由	-
- 1	新型インフルエンザ	感染患者数の推移グラフ	・時間的な変化を示す場合にはグラフが分かりやすい。 ・多くの情報を盛り込み過ぎないように注意する。盛り込む情報のポイントは2点程度までとするのが良い。
- 2	新型インフルエンザ	新型インフルエンザへの恐怖感、水際対策についての統計調査	・円グラフはばらした方が分かりやすい。 ・選択肢の文字が長い。
- 1	ノロウイルス	ノロウイルスの感染経路、なぜ冬に多いのか、どんな食中毒なのかの説明図	-
- 2	ノロウイルス	ノロウイルス感染を防ぐためには(加熱、手洗い、うがい、調理器具を清潔に)	-
- 1	プリオン	異常プリオンの蓄積する部位図(BSE 感染牛)	-
- 2	プリオン	BSE 感染リスクの比較図(日本と英国)	・感染牛の割合を提示できないか(質問されることが多い)。
- 1	O157	O157 の体内活動図(口～腸までの)模式図	-
- 2	O157	O157 の変わった感染経路(動物を媒介しての感染)	-
- 1	スギヒラタケ	スギヒラタケ脳症の多い地域(地図)	-
- 2	スギヒラタケ	スギヒラタケ脳症患者中の死者、腎機能障害者の割合グラフ	・人の図柄で示す必要は無いのではないか。
- 1	トウモロコシ Bt10(未認証遺伝子組換え)	交配による品種改良と、遺伝子組換えによる品種改良の違い(図解)	・品種改良で時間がかかる点を、複数ステップを示すなどして説明する。 ・遺伝子は切れたままにしない。 ・食品の安全性に特化した説明が大切である。 ・GMO については、様々な意見があるため、情報を発信する場合にも、一方的にメリットを伝えることがないような配慮が重要である。
- 2	トウモロコシ Bt10(未認証遺伝子組換え)	Bt トウモロコシが害虫に強い理由の図解(人が食べても基本的には無害)	・Bt タンパクをトウモロコシの図の中に入れる。 ・ムシの絵がニワトリと比較して大きい。 ・タイトルを“～食品としての安全性”とすべき。 意図せずに GMO を食べてしまったケースなどを具体的に想定した情報発信が重要である。一般論的な情報発信は、推進的立場との誤解を与える可能性がある。

主な意見のポイント

- 分かりにくくなるポイント
 - 専門用語の使用。
 - グラフには多くの情報を盛り込む。

- 分かりやすくなるポイント
 - ハザードの特性のみに注目するのではなく、ハザードもしくはハザードを含む物質が、何を目的として利用されてきたかを示す。
 - 受け手に期待することを、緊急時と平常時でしっかり区別する。
 - ◇ 予防のために、危険な状態の見分け方を示す。
 - ◇ 健康影響の恐れがあるものを食べてしまった場合の対応を示す。
 - 調査方法を紹介する際は、その現状や意義も示す。
 - グラフを使う場合には説明対象を2点程度に絞る。

- その他
 - 遺伝子組換え技術等は、利用に関して消費者の不安が大きい場合もあり、たとえ技術的に正確な内容でも、当該技術を推進または否定する立場というメッセージと理解されてしまうことに十分な注意が必要である。

1.2 消費者へのアンケート調査

一般消費者を対象に、定型的な説明資料についてアンケートを実施した。

1.2.1 調査概要

- 調査方法：インターネットアンケート
- 調査期間：平成 22 年 3 月 12～15 日
- 有効回答数：650
- 回答者属性：

性別・年齢構成：平成 17 年国勢調査結果でサンプリング

表 1.2.1 回答者の年齢・性別の分布

年齢	男性		女性		合計	
20-29歳	43	6.6%	45	6.9%	88	13.5%
30-39歳	55	8.5%	52	8.0%	107	16.5%
40-49歳	51	7.8%	47	7.2%	98	15.1%
50-59歳	63	9.7%	59	9.1%	122	18.8%
60歳以上	110	16.9%	125	19.2%	235	36.2%
合計	322	49.5%	328	50.5%	650	100.0%

表 1.2.2 回答者の職業の分布

会社勤務(一般社員)	150	23.1%
会社勤務(管理職)	46	7.1%
会社経営(経営者・役員)	13	2.0%
公務員・教職員・非営利団体職員	27	4.2%
派遣社員・契約社員	21	3.2%
自営業(商工サービス)	40	6.2%
SOHO	6	0.9%
農林漁業	4	0.6%
専門職(弁護士・税理士等、医療関連)	10	1.5%
パート・アルバイト	73	11.2%
専業主婦	146	22.5%
学生	11	1.7%
無職	85	13.1%
その他の職業	18	2.8%
合計	650	100.0%

1.2.2 質問内容

作成した図表を提示して、それぞれの図について、以下の問 1～10 までを質問した。提示した図表の一覧を表 1.2.3 に示す。質問内容については、表 1.2.4 に示す。

表 1.2.3 回答者に提示した図のリスト

番号	回答者に図表を提示した際のタイトル	定型資料の番号
図1	メタミドホスの作用メカニズム	図表 - 1
図2	一日接種許容量(ADI)とは？	図表 - 2
図3	中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質	図表 - 1
図4	マーケットバスケット調査	図表 - 2
図5	おもなカビ毒の種類と汚染食品	図表 - 1
図6	カビは死んでも、カビ毒は残る	図表 - 2
図7	部位ごとのテトロドキシンの毒性	図表 - 1
図8	テトロドキシンが神経伝達をブロックする仕組み	図表 - 2
図9	新型インフルエンザ感染患者数(2009年)	図表 - 1
図10	今回の新型インフルエンザを怖いと思うか？	図表 - 2
図11	ノロウイルスの多様な感染経路	図表 - 1
図12	ノロウイルスの感染予防	図表 - 2
図13	異常プリオンの蓄積する部位	図表 - 1
図14	BSE 感染リスクの比較	図表 - 2
図15	O157 の体内活動図	図表 - 1
図16	O157 の変わった感染経路	図表 - 2
図17	スギヒラタケ脳症の多い地域	図表 - 1
図18	スギヒラタケ脳症の発生地域と患者数	図表 - 2
図19	品種改良 遺伝子組換(GMO)	図表 - 1
図20	Bt トウモロコシの安全性	図表 - 2

表 1.2.4 質問内容

問	質問	選択肢	備考
問1	健康影響の有無について理解できましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ● よく理解できた ● 理解できた ● ある程度理解できた ● あまり理解できなかった ● 理解できなかった 	図4,6,9,10,12,13,16は健康影響の有無と直接関わらない図なので対象外とした。
問2	ハザードの特性について理解できましたか	<ul style="list-style-type: none"> ● よく理解できた ● 理解できた ● ある程度理解できた ● あまり理解できなかった ● 理解できなかった 	図 4,10 はハザードの特性と直接関わらない図なので対象外とした。
問3	それぞれの図表について、「よい」と思った項目を選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的に話される言葉を使っている ● ポイントを絞って説明されている ● 短い文章で簡潔に説明されている ● 箇条書きになっている ● 図が分かりやすい ● イラストが分かりやすい 	全ての図を対象とした。
問4	それぞれの図表について、「改善すべき」と思った点を選んでください	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門用語を使っている ● ポイントが絞られていない ● 長い文章で詳細な説明をしている ● 図が分かりにくい ● イラストが分かりにくい 	全ての図を対象とした。
問5	これらの図表の中で、健康影響の程度が最も分かりやすかったものを選んでください。	単一回答 (該当する図表を1つだけ選ぶ)	図4,6,9,10,12,13,16は健康影響の程度と直接かかわらないので対象外とした。
問6	これらの図表の中で、健康影響の程度が最も分かりにくかったものを選んでください。	単一回答 (該当する図表を1つだけ選ぶ)	図4,6,9,10,12,13,16は健康影響の程度と直接かかわらないので対象外とした。
問7	これらの図表の中で、新聞やテレビなどで見かけるものに似ていると思ったものを選んでください。	複数回答 (該当する図表を全て選ぶ)	全ての図を対象とした。
問8	新型インフルエンザに関して食品安全委員会から情報が提供されていることをご存知ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● いいえ 	-
問9	今後、健康被害の発生の原因となる可能性が高いと思うものを以下から2つを選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本来食品には利用されることがない化学物質 ● 微生物・ウイルス等 ● フグ毒などの自然界に存在している毒物 ● 遺伝子組換え食品 ● その他 	2つまで選択することとした。
問10	問9で「その他」を選んだ場合	自由記述 (「その他」の具体的な内容)	-

1.2.3 調査結果

(1) 健康影響とハザードの理解

健康影響とハザードの理解の調査結果を 図 1.2-1 に示す。「健康影響の有無」については、「よく理解できた」と「理解できた」という回答をあわせると、最も分かりやすいという結果になったのは、「図 1 1：ノロウイルスの感染経路について」の 54.5%であった。「図 7：フグの種類ごとの毒物が含まれる部位」が、50.2%でそれについだ。

「ハザードの特性」については、最も分かりやすいという結果になったのは、「図 1 2：ノロウイルスの感染予防について」の 68.4%であった。「図 1 3：BSE の危険部位」が、59.8%でそれについだ。

「あまり理解できなかった」と「理解できなかった」をあわせた回答が約 4 割と最も多かったのは、「健康影響の有無」、「ハザードの特性」ともに「図 1：メタミドホスの作用」についてであった。

(2) 良い点と改善すべき点

「良いと思った項目」、「分かりにくかった項目」の調査結果を 図 1.2-2 に示す。分かりやすさに関して、回答が 50%を超えたのは、以下の 3 つのみであった。

- 「図が分かりやすい」
 - 「図 9：新型インフルエンザの患者数の増加」(53.1%)
 - 「図 1 8：スギヒラタケ脳症発生患者の状況」(50.8%)
- 「イラストが分かりやすい」
 - 「図 1 3：BSE の危険部位」(52.5%)

その他は、個々の説明資料に対して様々な受け止め方がされている。ただし、全体的に見ると、今回の調査項目については、肯定的な回答（左の図）が多い場合には、否定的な回答（右の図）が少ない傾向となっており、以下の点は説明資料作成にあたって重要なポイントであることが確認できた。

- 「日常的に話される言葉を使う」(図 1.2-2 参照)
- 「ポイントを絞って説明する」(図 1.2-2 参照)
- 「短い文章で簡潔に説明する」(図 1.2-2 参照)
- 「分かりやすい図、イラストにする」(図 1.2-2 、 参照)

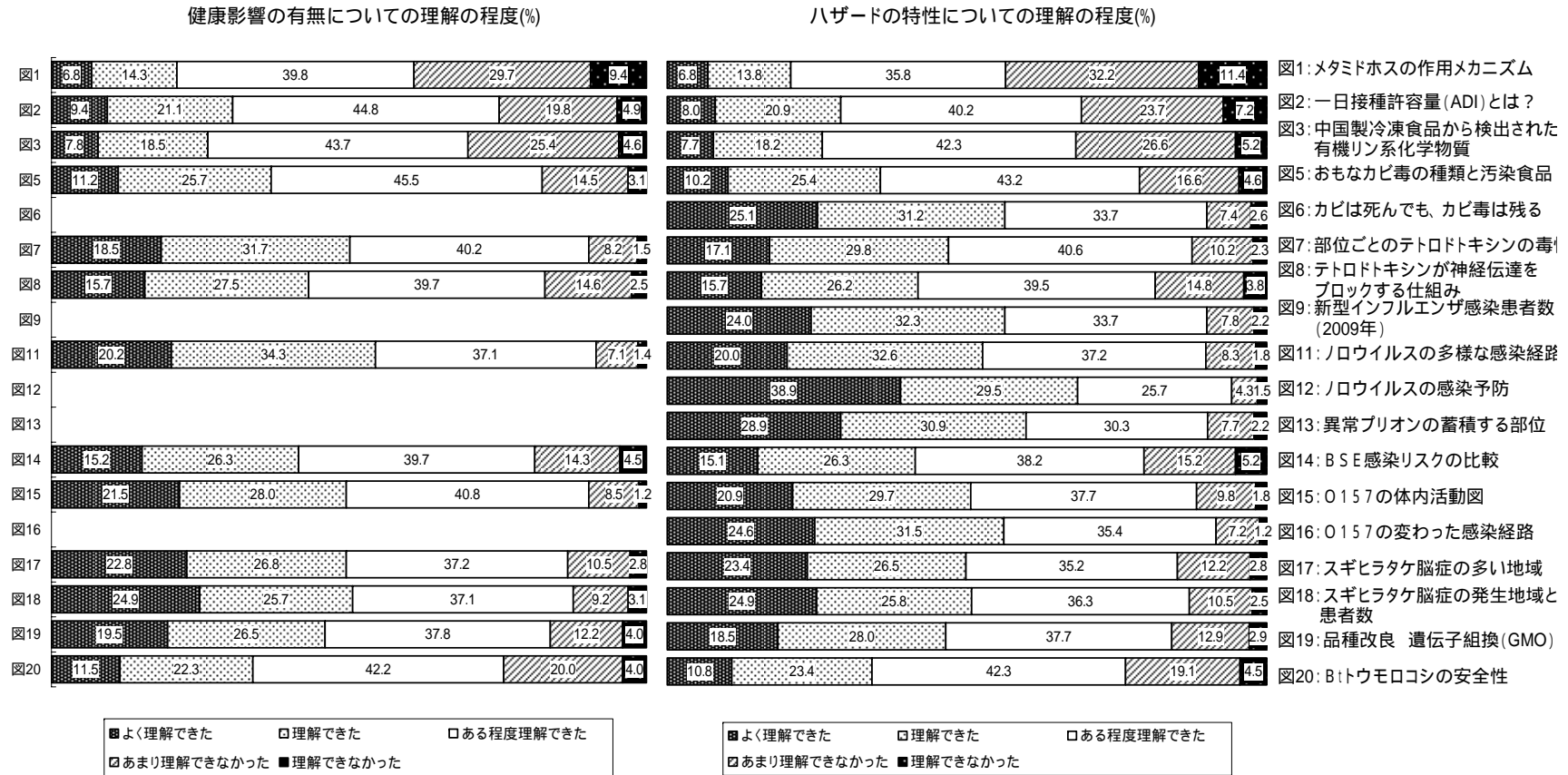


図 1.2-1 健康影響とハザードの理解 (問1、問2) (n=650)

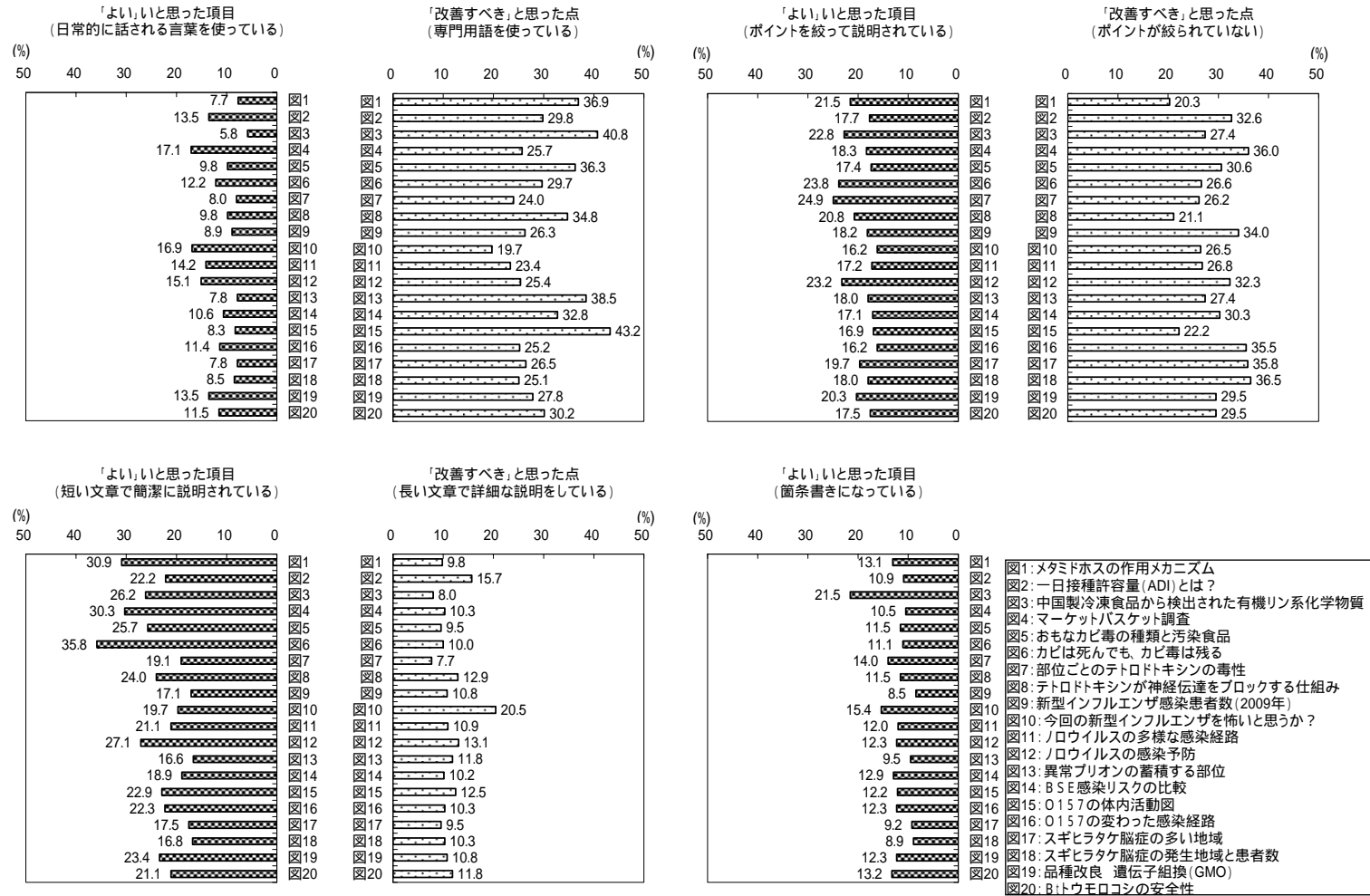
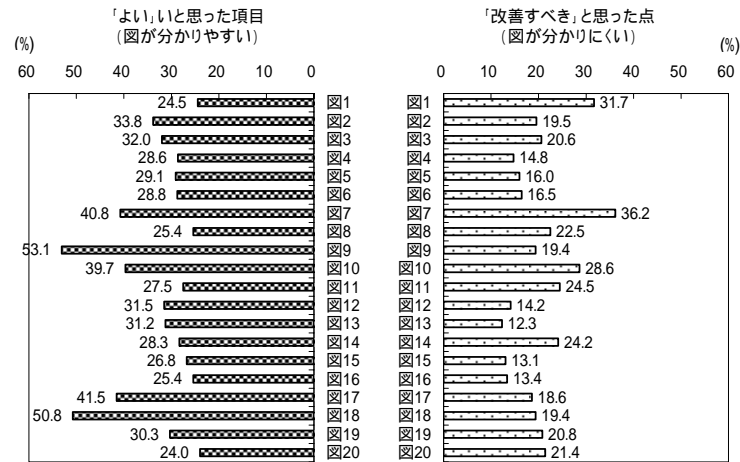


図 1.2-2 それぞれの図についての「よい」と思った項目 (問3)、「改善すべき」と思った点 (問4) (n=650, 複数回答)(1 / 2)



- 図1: メタミドホスの作用メカニズム
- 図2: 一日接種許容量 (ADI) とは ?
- 図3: 中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質
- 図4: マーケットバスケット調査
- 図5: おもなカビ毒の種類と汚染食品
- 図6: カビは死んでも、カビ毒は残る
- 図7: 部位ごとのテトロドキシンの毒性
- 図8: テトロドキシンの神経伝達をブロックする仕組み
- 図9: 新型インフルエンザ感染患者数 (2009年)
- 図10: 今回の新型インフルエンザを怖いと思うか ?
- 図11: ノロウイルスの多様な感染経路
- 図12: ノロウイルスの感染予防
- 図13: 異常プリオンの蓄積する部位
- 図14: BSE感染リスクの比較
- 図15: O157の体内活動図
- 図16: O157の変った感染経路
- 図17: スギヒラタケ脳症の多い地域
- 図18: スギヒラタケ脳症の発生地域と患者数
- 図19: 品種改良 遺伝子組換え (GMO)
- 図20: Btトウモロコシの安全性

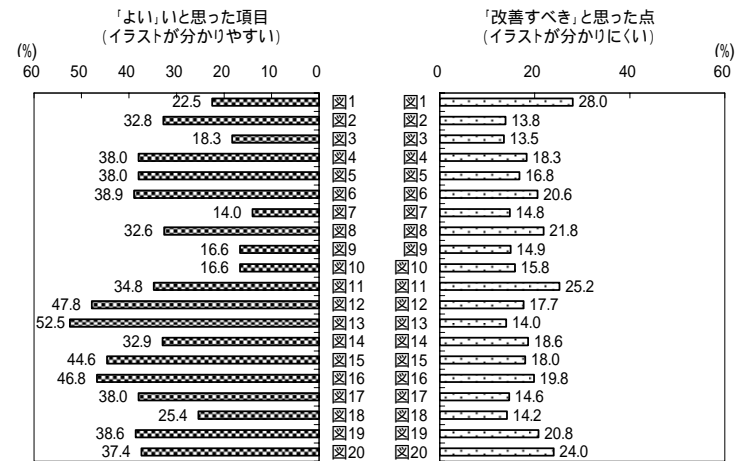
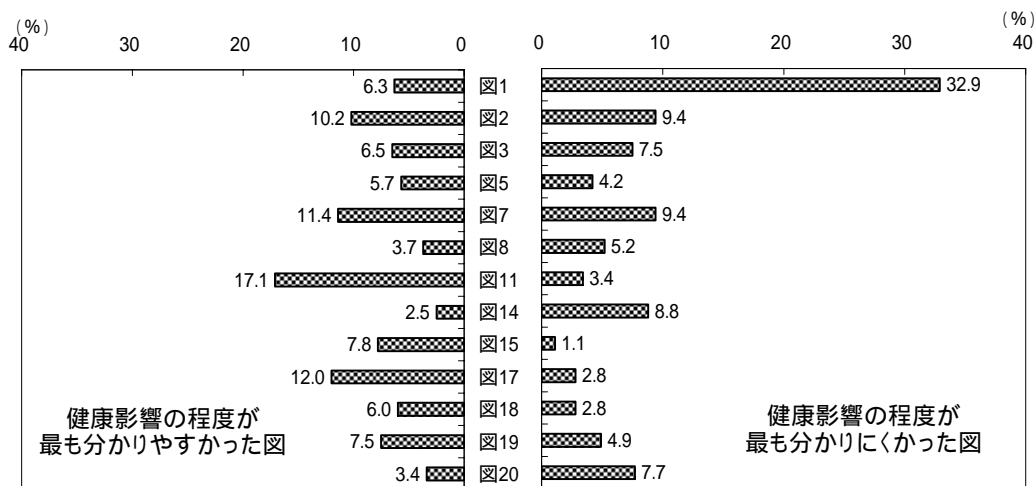


図 1.2-2 それぞれの図についての「よい」と思った項目 (問3)、「改善すべき」と思った点 (問4) (n=650, 複数回答) (2 / 2)

(3) 「最も分かりやすかった図」及び「最も分かりにくかった図」

「健康影響の程度について」、「最も分かりやすかったもの/分かりにくかったもの」の結果を 図 1.2-3 に示す。「最も分かりやすかったもの」は、「図 11：ノロウイルスの感染経路について」(17.1%)であった。一方、「最も分かりにくかったもの」は「図 1：メタミドホスの作用」(32.9%)であった。



- 図1 メタミドホスの作用メカニズム
- 図2 一日接種許容量(ADI)とは?
- 図3 中国製冷凍食品から検出された有機リン系化学物質
- 図5 おもなカビ毒の種類と汚染食品
- 図7 部位ごとのテトロドキシンの毒性
- 図8 テトロドキシンの神経伝達をブロックする仕組み
- 図11 ノロウイルスの多様な感染経路
- 図14 BSE感染リスクの比較
- 図15 O157の体内活動図
- 図17 スギヒラタケ脳症の多い地域
- 図18 スギヒラタケ脳症の発地域と患者数
- 図19 品種改良 遺伝子組換え(GMO)
- 図20 Btトウモロコシの安全性

図 1.2-3 健康影響の程度が最も分かりやすかった図と最も分かりにくかった図(問5、問6)
(n=650,複数回答)

(4) 新聞などで見かけるもの

「新聞などで見かけるもの」についての結果を 図 1.2-4 に示す。最も回答が多かったのは、「図 9：新型インフルエンザの患者数の増加」の 35.8%であった。

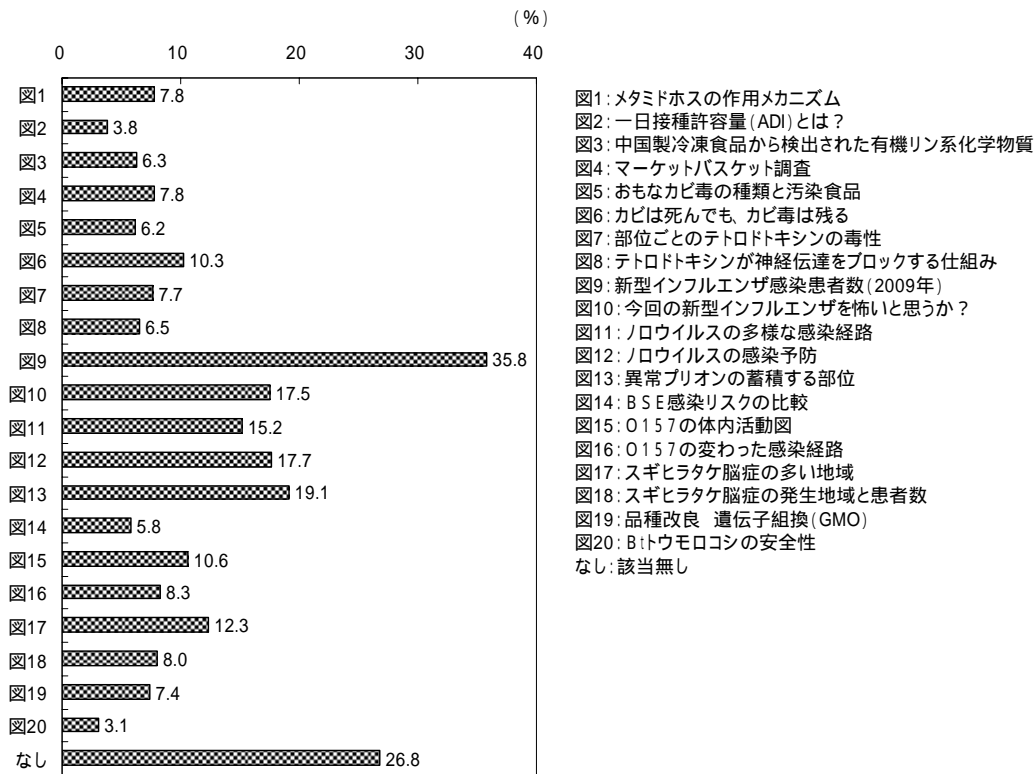


図 1.2-4 新聞やテレビなどで見かけるものに似ていると思ったもの (問7)
(n=650、複数回答)

(5) その他

「食品安全委員会の認知度」について、新型インフルエンザに対する情報発信の認知度を確認した。結果は図 1.2-5 に示すとおり、13.7%が食品安全委員会からの情報発信を知っていると回答した。

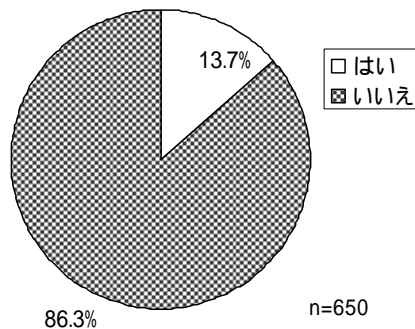


図 1.2-5 食品安全委員会の認知度 (問8「新型インフルエンザに関して食品安全委員会から情報が提供されていることをご存知ですか。」への回答)

健康被害の原因となる可能性があるものについて、質問した結果を図 1.2-6 に示す。「本来食品には利用されることが無い化学物質」(71.8%)への懸念が最も高く、「微生物・ウイルス等」(69.1%)がそれに次いだ。なお、「遺伝子組換え食品」という回答も26.6%あり、約4人に1人が「遺伝子組換え食品」による健康被害の懸念を有していることが分かった。「その他」という回答の中には以下が含まれていた。

- 現在食品に使用されている添加物
- 抗体性ウイルス
- 食用魚類による化学薬品中毒
- 輸入品

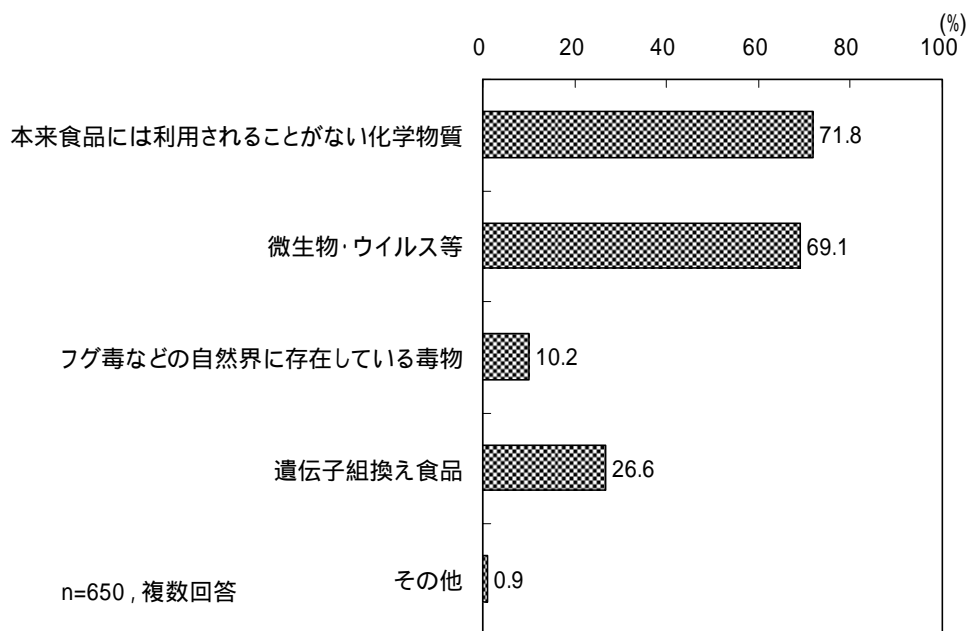


図 1.2-6 今後、健康被害の発生の原因となる可能性が高いと思うもの(2つまでを選択)
(問9)

(6) 属性による違い

属性(性別、年齢別、職業別)による大きな違いは今回の調査結果からは認められなかった。性別では、問5の「健康影響の程度が最も分かりやすかった図」において、図11(ノロウイルスの多様な感染経路)を分かりやすいと回答した女性が20.4%であったのに対して、男性は13.7%とやや大きな差があった。同じ図11について、40歳代以下の21.9%が「最も分かりやすかった」と回答したが、50歳代以上は15.7%と少し大きな違いがあった。

1.3 消費者によるグループディスカッション

一般消費者 11 名を対象に、定型的な説明資料について、グループディスカッションを実施した。グループディスカッションにおいては、内容の理解の程度、長所・短所、改善の方向性、改善の具体、感想、その他調査目的達成のために有意義な項目を中心的な話題とした。

1.3.1 対象としたグループ

日頃から食品に接する機会が多く、ある程度関心も高いと考えられる以下の 2 グループで、それぞれ 2 時間程度のディスカッションを行った。

グループ 1：小学生以下の子供のいる主婦（30～40 歳代）（5 名）

グループ 2：子育て経験のある主婦（50～60 歳代）（6 名）

1.3.2 グループの条件

食品について、一般的な関心を持つグループでのディスカッションを実施するために、関心が極めて高い層と、極めて低い層は対象としなかった。具体的に以下の条件設定を行った。

(1) 無関心層の除外

- 日頃の食品（生鮮、加工食品の他、飲料、菓子なども含む）の購入或いは宅配頻度が「週 2～3 日」以上であることとした。
- 購入チャネルとして「スーパー」「コンビニエンスストア」「個人商店」「デパートの地下食料品売場や高級食料品店」を「まったく利用しない」人は除外した。

(2) 高関心層の除外

- 「食品の安全性に疑問がある場合、行政やメーカーなどに問い合わせますか？」に対して明確に「はい」と回答した人（5 段階評価で「あてはまる」と回答した人）は除外した。
- 以下の 5 段階評価質問（「あてはまる / まああてはまる / どちらともいえない / あまりあてはまらない / あてはまらない」）において、9 問中 6 問以上「あてはまる」もしくは「まああてはまる」とした人は除外した。
 - a. 生協や産直などの信用できるルート以外では食品を買わない
 - b. レトルトなど加工食品は、原料の安全性や添加物が気になるので買わない
 - c. スーパーやコンビニの弁当・惣菜類は、原料の安全性や添加物が気になるので買わない

- d. 価格が高くて、安全な食品を選択している
- e. 外国産の野菜や肉は危険だと思う
- f. 子供には炭酸飲料やスナック菓子は与えない
- g. ファーストフードは、身体に悪いので食べない
- h. 残留農薬や食品添加物について、日頃から勉強している
- i. 食品についての表示や賞味期限などはそのまま信じない

(3) その他

- 食品関連会社、流通・小売等の関係者は除外した。

1.3.3 開催日

平成 22 年 3 月 4 日（木）に、各グループ 2 時間ほどのグループディスカッションを実施した。

1.3.4 調査結果

消費者によるグループディスカッションで得られた主な意見等を表 1.3.1 にまとめる。

表 1.3.1 説明資料に対するグループディスカッションの主な意見

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
図表 - 1	メタミドホス	(模式図)メタミドホスの神経伝達のメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報伝達物質」、「受容体」などの用語が難しい。「酵素」はよく聞く単語だから違和感がない。 ・漢字がすごく多くてわからない。 ・この絵が神経細胞だということがわかりづらい。 ・この絵がどこをクローズアップしているのかわからない。具体的な症状の例などが無いと、この絵だけではわかりづらい。実際に例えば痛いなら痛いという反応をしている子どもの絵などがあればわかりやすい。 ・左の図と中央の図の関係性がわかりにくい。時間の経過、ステップになっていることがわかりにくい。 ・右の図の下にある、「神経・脳が混乱」という結果さえわかればよいのではないか。どのような症状が出るのかということが具体的に知りたい。 ・左と中央の図はいらぬのではないかと、右の図1つだけでよいのではないかと。左の図と中央の図の違いがよくわからない。 ・左の図において、酵素があるのにな

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
			<p>ぜそこに情報伝達物質が止まらないのか、中央の図において、どういう状況で酵素が出てきたのか、受容体があいているのにどうしてそこに入らないのか、がよくわからない。</p>
図表 - 2	メタミドホス	1日の摂取許容量(ADI)の説明図	<ul style="list-style-type: none"> ・絵のおにぎりが、事故米のおにぎりがどうかわかりにくい。 ・中段のおにぎり4個の中にどれだけメタミドホスが入っているか、わかった方がいい。 ・上段・中段・下段それぞれにどれくらい含まれているかがわかりにくい。 ・この図の並び方がわかりにくい。そもそも中段のおにぎりはメタミドホスが含まれていないものではないのか、中段の図は、別枠にしたほうがよいのではないかと、並んでいるからわかりにくい。 ・「一日摂取許容量(ADI)」の説明について、一日なのか一生なのかわかりにくい。 ・「一日摂取許容量(ADI)」や「メタミドホスの残留基準値」はどこが決めた値なのか明記してほしい。 ・「メタミドホスの残留基準値」が安全の話と直結しない。 ・一番下の説明文「0.06ppmの～」がどこの何の説明なのかわからない。 ・「0.01ppm」と「0.06ppm」の関係性がわからないので混乱する。 ・「一日摂取許容量(ADI)」の基準となる「人」がわからない。あいまいすぎる。 ・「メタミドホスの残留基準値」は何の値なのか説明がほしい。 ・「ppm」の単位がよくわからない。実感できない。 ・「メタミドホスの残留基準値」の値がいかにかいかに小さいかを明示したらわかりやすくなる。(今の絵ではわかりにくい。) ・上段と下段の絵の2つの関係性がわかりにくい。 ・絵に先に目がいってしまうが、この絵だけでは理解ができない。 ・「メタミドホスの残留基準値」が「ADI」よりどれくらい低いかの説明が足りない。
図表 - 1	ジクロルボス (他の残留農)	中国製冷凍食品から検出された有機リン系科学物質の解説(メタミドホ)	<ul style="list-style-type: none"> ・「急性参照量」の意味がわからない。

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
	薬)	ス、ジクロールボス、パラチオン、ホレート)	<ul style="list-style-type: none"> ・「急性参照量」の「 」がどういう意味かわからない。 ・薬局でもらう薬の情報が書かれている紙のイメージで、実際の写真(もしくはそのものの絵)と説明が書かれているほうがわかりやすい。 ・「有機リン系化学物質」とは何かわからない。「有機」とあるからよさそうな気もするし、「化学」とあるからよくなさそうな気もするし、よくわからない。 ・それぞれの物質が何のために使われているものなのか、これを摂取したらどうなるのかが知りたい。 ・予防できるような情報がほしい。(色やにおいなど、詳しく。例えば、「芳香性」とはどんな芳香なのか、等)
図表 - 2	ジクロールボス (他の残留農薬)	マーケットバスケット調査方式(残留農薬の調査方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい絵である。 ・「できた料理」の絵が、具体的な料理の絵の方がよいのではないか。 ・「マーケットバスケット調査」とは何を目的として、どこがやっていることなのか、意図や背景を説明した方がよいのではないか。
図表 - 1	アフラトキシン B 1 (他のカビ毒)	カビ毒の解説(主なカビ毒の種類と汚染食品)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵がキレイすぎるので、カビのついた写真か、カビのついた絵の方がわかりやすい。 ・「オクラトキシン」の「食肉製品等」の絵の中にワインがあるが、これはワインもということなのか？(食肉製品等という分類名が適当でない？) ・カビのはえた写真の方がわかりやすい。カビのはえたものを実際に見ないと、どうやって見分けるのかわからない。 ・カビを見たことがないので、こういうのがカビだという情報が詳しく知りたい。 ・カビの名前を聞いてもピンとこない、どんなカビなのかわからない。 ・このように絵だけをパッと見せられると、こわくて食べられなくなる。 ・ -1 の表のような形式の方がわかりやすい。 ・表示の仕方が少し昔っぽい。
図表 - 2	アフラトキシン B 1(他のカビ毒)	カビ毒の解説(カビは死んでもカビ毒は残る)	<ul style="list-style-type: none"> ・「殺菌」の方法を列挙してほしい。 ・どのくらい根がはっているのか、どのくらいの範囲まで危険なのか(どこまで取り除けば安全なのか)、を知りたい。

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
			・カビ毒の残るカビの種類を示してほしい。
図表 - 1	フグ毒(テロドトキシン)	有毒なフグの種類、テロドトキシンを含む部位	・わかりやすい。 ・自分では調理しないものだから、これくらいでよいのではないか。 ・「無毒」の色は、青の方が安全なイメージがある。
図表 - 2	フグ毒(テロドトキシン)	テロドトキシンが神経伝達をブロックする仕組み、テロドトキシんでフグが死なない理由	・「イオン」など用語が、むずかしい。 ・トゲが刺さるとイオンが出入りするということを知らないから、よくわからない。 ・上段の絵で、オレンジの粒が水色の内側にも入っていた方がよいのではないか(出入りしていることを示すため)。 ・イラストだけでわかるように、わかりやすくならないか。子どもにもわかるように。 ・こわい、やさしい等のキャラクターをつけると、わかりやすくなる。 ・色づかいをもう少し濃くした方がよいのではないか。 ・上段の脳の絵に痛みが伝わった色をつけた方がわかりやすいのではないか。
図表 - 1	新型インフルエンザ	感染患者数の推移グラフ	・わかりやすい。
図表 - 2	新型インフルエンザ	新型インフルエンザへの恐怖感、水際対策についての統計調査	・オレンジの棒グラフの、文字とグラフがくっついていてよい。 ・オレンジの棒グラフとブルーの棒グラフの向きをそろえた方がよい。 ・青の矢印とオレンジの矢印がそれぞれ、一つの色の部分しか示していないように見えるので、“{“でとじるなどしてわかりやすくした方がよい。 ・上の円グラフが立体的な形をしているのがわかりにくい。このようなグラフを見たことがないのでとまどう。 ・円グラフは普通の円(立体的ではない)の方がわかりやすい。 ・円グラフの分類名のところに、パーセンテージを表示した方がよいのではないか。
図表 - 1	ノロウイルス	ノロウイルスの感染経路、なぜ冬に多いのか、どんな食中毒なのかの説明図	・右下の「二枚貝」の絵が、カキだけではないことをよくわからせてくれるのでよい。 ・右側の「食品取扱者」が少しわかりにくい。 ・感染者の下にある「下痢・嘔吐」がも

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
			う少し、感染者に近い位置にあるほうがわかりやすいのではないか。
図表 - 2	ノロウイルス	ノロウイルス感染を防ぐためには(加熱、手洗い、うがい、調理器具を清潔に)	・ノロウイルスの潜伏期間などがあるなら、示しておいてほしい。 ・左図の「しっかり加熱！」とは具体的にはどのくらいの温度で、どのくらいの時間が必要なのか、という情報を記載してほしい。
図表 - 1	プリオン	異常プリオンの蓄積する部位図(BSE 感染牛)	・パーセンテージはどういう意味か分かりにくい。
図表 - 2	プリオン	BSE 感染リスクの比較図(日本と英国)	・「vCJD」とはいきなりでてきた単語で何のことか分からない。 ・結局、この絵で何を伝えたいのかがわかりにくい。
図表 - 1	O157	O157 の体内活動図(口～腸までの)模式図	・O157の絵が、ゴキブリもしくは虫に見える。 ・「ベロ毒素による脳障害」の脳障害とはどんなことなのか、具体的な症状が知りたい。 ・菌の形がゴキブリみたいなので、変えた方がいい。 ・赤い矢印はベロ毒素(赤いイガイガマーク)から出た方がよい。
図表 - 2	O157	O157 の変わった感染経路(動物を媒介しての感染)	
図表 - 1	スギヒラタケ	スギヒラタケ脳症の多い地域(地図)	・スギヒラタケのキノコの絵があった方がわかりやすい。 ・日本地図が全部ないのはどうしてなのか、全部の方がよいのではないか。 ・人型よりも、円マークなどで、何人と明記してあたりの方がわかりやすい。 ・地図で示している方が -2 よりもわかりやすい。
図表 - 2	スギヒラタケ	スギヒラタケ脳症患者中の死者、腎機能障害者の割合グラフ	・地図(-1)の方がわかりやすい。 ・県名を文字で見てもすぐにどこかイメージしにくいところもある。
図表 - 1	トウモロコシ Bt10(未認証 遺伝子組換え)	交配による品種改良と、遺伝子組換えによる品種改良の違い(図解)	・遺伝子組換えの利点がわからない。 ・「時間がかかる」「短期間でできる」というのは消費者にとっては問題ではない。安全性にかかわることの方が重要。 ・切り離された遺伝子の一部は、くっついた方がよい。 ・「品種改良」の絵をもっと縦に長くして(くり返す絵を下にどんどん増やして)絵の長さで時間がかかることを表現するとわかりやすいのではないか。

番号	ハザード	内容	グループディスカッションの主な意見
図表 - 2	トウモロコシ Bt10(未認証 遺伝子組換)	Bt トウモロコシが害虫に強い理由の 図解(人が食べても基本的には無 害)	<p>グループディスカッションの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Btタンパク質」とは何か？の説明がほしい。 ・「Btトウモロコシ」が遺伝子組換トウモロコシであることを明記する。 ・「アワノメイガ(害虫)」を本物のイメージ(色など)にした方がよいのではないか。 ・下段のニワトリの絵のところに、人間の絵もあった方がわかりやすいのではないか。 ・上段と下段の違い、胃があるかないかということがわかりやすい方がよいのではないか。(胃を全摘出している人はどうなのか?) ・影響(農薬がつかわれなくてよい)などの説明があった方がよい。 ・遺伝子組換えは今のところ平気だけど、長年たってどうということになるかわからないから怖い。

主な意見のポイント(消費者)

- 分かりにくくなるポイント
 - 専門用語の使用(「情報伝達物質」、「受容体」、「ppm」、「急性参照量」、「イオン」、「vCJD」など)。
 - 漢字が多い。
 - 訴求ポイント(伝えたいこと)が絞られていない。
 - 複数種類のテーマを示す絵を同じ図に示す場合、その関係性が分かりにくく捉えられることがある。
 - 絵が多用されていて、説明が少ない場合。
 - 受け手のイメージが理解を妨げる場合もある(「有機」は良いイメージ、「化学」は悪いイメージなど)。
 - きれいな絵や図(正常なもの)のみを見せると、危険性などが伝わらないおそれがある。反対に、提示された食品全てに危険性があるとの誤解を生む恐れもある。
 - 分かりやすく書いた図が誤解を呼ぶ場合もある(大腸菌がゴキブリに見える、など)。

- 分かりやすくなるポイント
 - 専門的な用語でも、身近で使われているものは分かりやすい(「酵素」など)。
 - 具体的な症状などの説明。
 - 訴求ポイントを絞る(2つ程度まで)。

- 基準値などについては、決定した組織等の説明があると良い。
- 絵は、全体像を示す場合などに対して利用する。
- 実際に手にしたり、目で見たりできるものについては、写真による説明が分かりやすい場合がある。
- 具体的な予防方法の情報ニーズが高い（「手洗い方法」、「殺菌方法」、「加熱温度と時間」など）。
- 調査方法の説明については、目的や意図も記載する。
- 多くの受け手のイメージにあった色を使う（「無毒」は青のイメージ、など）。
- グラフについては、パーセントの値などの数字を提示すると、より分かりやすくなる場合がある（提示されている要素が多い場合や、要素間の差が小さい場合など）。
- 新しい技術の紹介などについては、その技術を利用する目的も示す方が分かりやすい。

1.4 必要な改善

作成したそれぞれの図表に対する改善点等は、別紙にまとめる。

検証の結果から全体を通して以下の様なポイントが明らかになった。

- 受け手（この場合消費者）にどのような行動を望むかを予め明確にする。
 - 具体的な行動（予防など）を望む場合は、それについても触れる。
 - 具体的な健康影響（症状など）について言及する。
 - 説明する内容の背景や今後の展開、受け手に及ぼす影響などを含める。
- 図表についてはポイントを絞る（2つ程度まで）。
 - 図表については、小学生向の範囲が目安となる。
 - ◇ 円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ など
 - ◇ 中学の、理科や社会で利用される図表は日常的に目にするものではない場合があり、必ずしも多くの受け手にとって分かりやすいとは言えないことに注意する。
 - 専門用語の利用には注意する。

2. 緊急時対応訓練における実践による検証

2.1 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供の計画の作成

2.1.1 訓練の企画立案

緊急事態等における食品安全委員会の役割である迅速かつ分かりやすい科学的知見に基づく情報提供に対応するため、食品安全委員会全体の対応能力を一層向上させる必要がある。

そこで、平成20年度緊急時対応訓練の検証結果から重点課題として、

(1) 緊急時対応マニュアル等の実効性の向上

緊急時における対応体制の確認及び緊急時対応マニュアルの検証等を行う。

(2) 効果的な広報技術の習得

記者を対象とした模擬的な説明会の実践など、効果的なメディアトレーニングを実施する。

を設定し、「平成21年度緊急時対応訓練について（緊急時対応専門調査会第30回会合了承）」を踏まえ一層実効性のある訓練にするため、平成21年度緊急時対応訓練は、実務研修と確認訓練の2本立ての訓練設計とし、体系的に実施した。

実務研修では、委員会内の基本的な緊急時対応能力を向上させることを目的とし、

- ・ 「緊急事態等における初動対応の要点」習得講習会〔実務研修 〕
- ・ 緊急時対応のためのHP掲載講習会〔実務研修 〕
- ・ 理解しやすい^()説明資料作成等講習会〔実務研修 〕

() 緊急事態等において国民が理解しやすく、国民から誤解されないことを意味する。

を実施した。

上記の実務研修を踏まえ、確認訓練では、緊急時対応マニュアルに基づく対応について、委員会内の共通理解を得るとともにその実効性を検証することを目的とした。

実務研修は、できるだけ多くの委員及び職員を対象に、「講習会」や「演習会」を実施し、必要な技術や手順の習得を図ることを目的として実施した。実務研修および確認訓練の目的・内容等は表 2.1.1 に示すとおりである。

表 2.1.1 平成 21 年度緊急時対応訓練の設計

名 称	実務研修			確認訓練	
目 的	委員会内の基本的な緊急時対応能力を向上させる。			緊急時対応マニュアルに基づく対応について、委員会内の共通理解を得るとともにその実効性を検証する。	
研 修 名	実務研修 (「緊急事態等における 初動対応の要点」習得講 習会)	実務研修 (緊急時対応のための HP掲載講習会)	実務研修 (理解しやすい(注1)説明資料作成等 講習会(注2))	緊急時対応マニュアルに基づいた対応手順を確認する。	
目 標	緊急事態等における主に 連絡体制等を中心とした 基本的な一連の手順の習 得を図る。	夜間・休日等の緊急事態等 における重要な広報手段 であるHPへの情報掲載 技術の習得を図る。	・図表やグラフィック等を用いて相手が 理解しやすい資料を作成するために必 要な技術の習得を図る。 ・基本的なバーバル及びノンバーバルコ ミュニケーション技術の習得を図る。		
実施内容	「緊急事態等における初 動対応の要点」に基づい た基本的な一連の手順や 流れについて、理解促進 のための講習を実施。	マニュアルに基づいたHP 試験掲載について、講習 を実施。	・図表やグラフィック等を用いて相手が 理解しやすい説明資料を作成するた めに必要な技術について、講習を 実施。 ・基本的なバーバル及びノンバーバルコ ミュニケーション技術について、講習 を実施。 ・危機管理における基本的な心構え等 について、講習を実施。	特定のシナリオに沿った(案：一部非提 示)実動訓練を実施。	
対 象	職員3人程度1グループ		委員及び職員		
時 間	1回30分程度	1回1.5時間程	半日程度	1日(執務時間内〔午前・午後〕)	
講 師	緊急時対応係長		専門家		
重点課題 注3	(1)		(2)	(1)	(2)

注1：緊急事態等において国民が理解しやすく、国民から誤解されないことを意味する。

注2：食品安全確保総合調査「食品安全に係る緊急事態等に対応した情報提供の高度化に関する調査」の一環の講習会

注3：重点課題(1)緊急時対応マニュアル等の実効性の向上、(2)効果的な広報技術の習得

2.1.2 訓練における情報提供計画の検討

食品安全委員会が作成する緊急時対応訓練のシナリオに応じた情報提供計画を検討した。情報提供は、シナリオのステージに応じて複数の手法を施行することとし、模擬記者説明会を含む計画とした。シナリオとして以下を設定し、このシナリオに基づき情報提供計画の具体的な姿とその手順に関する検討を行った。

1 危害因子
変異株ノロウイルス

2 対象食品
輸入果実 Q (X 国産)

3 状況想定

【発生状況】

- ・ X 国において果実 Q を原因とした変異株ノロウイルスによる食中毒が発生。
- ・ 問題の果実 Q は国内へ輸入されており、複数の都道府県で食中毒が発生。
- ・ 国内ではほぼすべての該当果実 Q は回収済み。

【社会の状況、関係機関の対応状況】

- ・ 一部の報道を通じて、変異株ノロウイルスが「新型」ノロウイルスとして過熱報道され、国民の不安が増大。

【食品安全委員会の対応（訓練内容）】

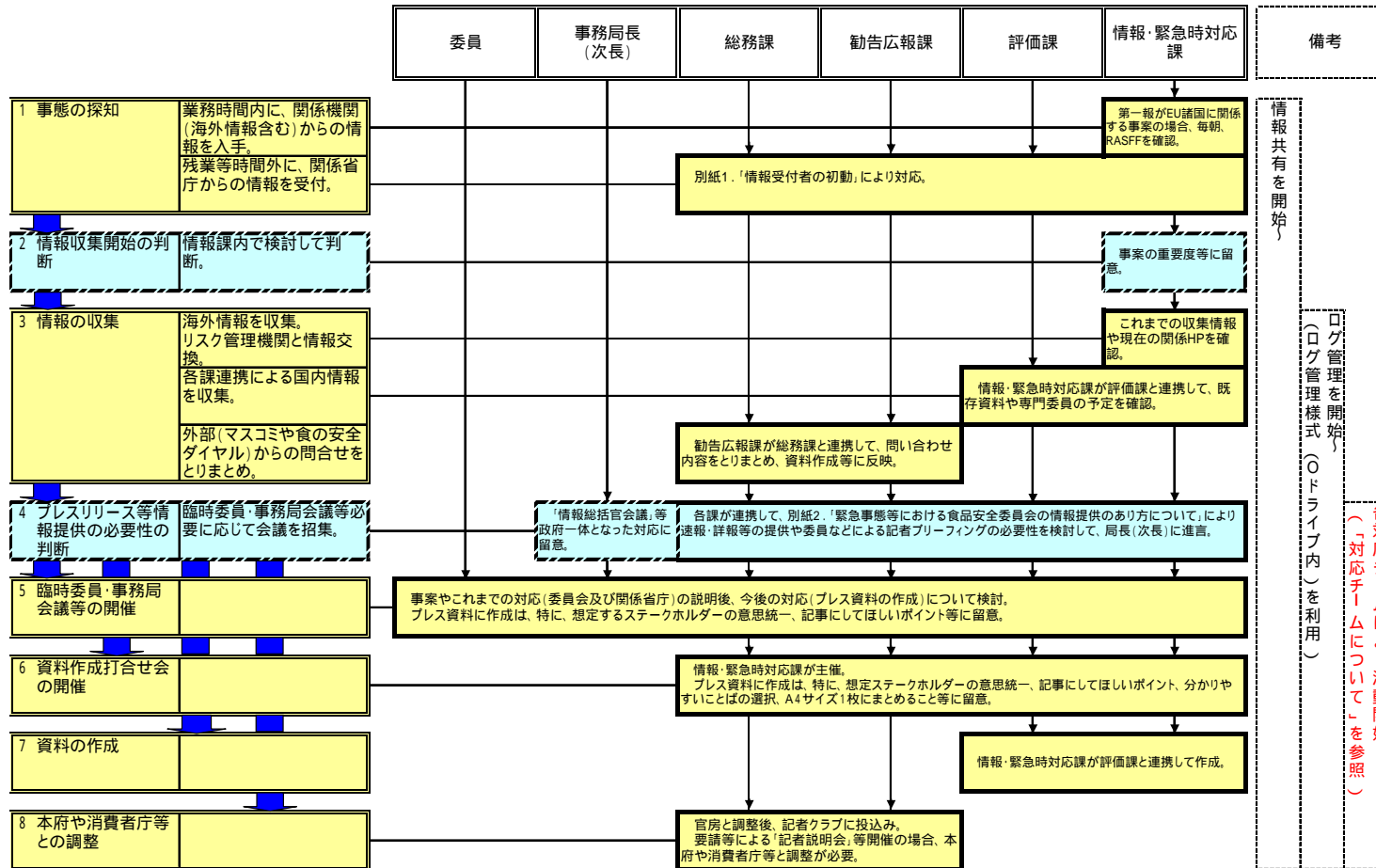
- ・ 食品安全委員会が本件の科学的知見について、国民に対してホームページで発信するとともに、記者説明会を実施。

このとき、情報提供の媒体はプレスリリース、ホームページ、メールマガジンの他、記者への説明会を検討した。上記のシナリオおよび情報提供媒体に基づく情報提供計画を表 2.1.2 に示す。また、情報提供の準備手順について図 2.1-1 のような流れを検討した。

表 2.1.2 情報提供計画（案）

	訓練設定時刻	食品安全委員会の活動	外部機関の活動
訓練4日前	10:30	（情報課が右記情報を入手）	X国リスク管理機関ホームページ ・X国において、原因不明の下痢、腹痛、嘔吐等症状による患者が増加。
	15:00	（上記を委員会内共有）	
	16:00		厚生労働省から関係省庁への連絡（第1報） ・2県において、ノロウイルスによる食中毒症状の発症が確認。
訓練3日前	9:30	（情報課が右記情報を入手）	EU食品・飼料緊急警報システム（RASFF） ・X国における健康影響について、一次感染が果実Qを原因とした変異株ノロウイルスによるものが判明。 ・衛生当局による回収措置が進められている。 ・一部冷蔵及び冷凍品が日本に輸出された可能性がある。
	12:00		厚生労働省プレスリリース ・果実Qについて輸入業者を管轄する自治体を通じて輸入業者に販売中止、回収等を指示。
	18:00		厚生労働省から関係省庁への連絡（第2報） ・複数の都道府県において、ノロウイルスによる食中毒症状の発症が確認。
訓練前日	10:30	（ここまでの情報を委員会内共有）	
	18:00		厚生労働省から関係省庁への連絡（第3報）、プレスリリース ・原因食材が輸入果実Qに特定された。 ・一次感染者からヒトヒト感染により感染が拡大した。 ・当該ノロウイルスはこれまで未確認の変異株である。 ・外交ルートによると原因果実は特定のパッカーに限定されることが判明。 ・既にほとんどが回収済み。
	23:00	（消費者庁から情報統括官会議開催の緊急連絡受信）	
訓練当日	8:30	（情報統括官会議にて、消費者庁から食品安全委員会に対して国民に向けて科学的知見に基づいた情報を発信するよう要請）	
	9:30		厚生労働省プレスリリース ・拡大防止、再発防止策。 ・科学的知見は食品安全委員会に問い合わせを欲しい。
	9:45		消費者庁と厚生労働省が合同記者会見（内容は同上）
	10:30	ホームページ「重要なお知らせ」に厚生労働省プレス資料へのリンク設定、既存資料の再掲載。	
	16:30	記者説明会を開催	
	17:00	プレスリリース（投込み、ホームページ掲載）	
	17:00	メルマガ発信	

緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順(案)



注) : 通常の業務の手順や各課間の連携体制、「食品安全委員会事務局内緊急時対応事務処理要領(平成19年8月)」を踏まえて対応のこと。

図 2.1-1 緊急事態等におけるプレスリリース等の情報提供の準備手順(案)

2.2 緊急事態発生時に理解しやすい情報提供ができる説明資料作成等講習会の実施

緊急事態発生時に理解しやすい情報提供ができる説明資料作成等講習会として、実務研修を平成21年12月16日に実施した。実務研修の実施概要を表2.2.1に示す。受講者は委員および事務局職員であり、以下のような講習のねらいを設定した。

<講習のねらい>

- 説明資料に求められるポイントの理解
- 説明資料を作成する際のポイントの理解
- 緊急事態等への対応の基本事項の理解

表 2.2.1 説明資料作成等講習会（実務研修）の実施概要

テーマ	時刻(分)	講師	備考
記者から見た分かりやすい情報提供について	13:30～ 15:00 (90)	(株)毎日新聞社 編集員小島正美氏	・ 記者から見た分かりやすい情報提供（説明資料）のあり方についてご紹介いただく。
説明資料を作成する際のポイント	15:10～ 16:40 (90)	(株)三菱総合研究所	・ 調査中の説明資料等を紹介。 ・ 参加者で簡単な演習を実施。
		(株)電通パブリック リレーションズ コミュニケーション デザイン局次長 青木浩一氏	・ 資料作成に関するポイントをコメントいただく。
緊急時対応のポイント	16:50～ 17:20 (30)	(株)三菱総合研究所	・ 分かりやすい説明資料作成に関しても重要な、緊急時の情報共有のポイントを紹介する。 ・ 危機管理対応の一般論の範囲として、他分野の失敗事例などを紹介する。

2.3 定型的な説明資料の緊急時対応訓練での試行活用並びに検証を行うための資料の作成

図 2.3-1 に示す考え方に沿って、緊急時対応訓練における定型的な説明資料の試行活用・検証を行った。まず、緊急時対応訓練（実務研修）において図表の例示等を含め説明資料を作成する際のポイントを示し、その他の既存資料（専門家資料、食品安全委員会の既出の公表資料、等）とともに緊急時対応訓練（確認訓練）を実施した。その訓練評価の結果は、定型的な説明資料のサンプルに対する見直し意見としてフィードバックを図った。

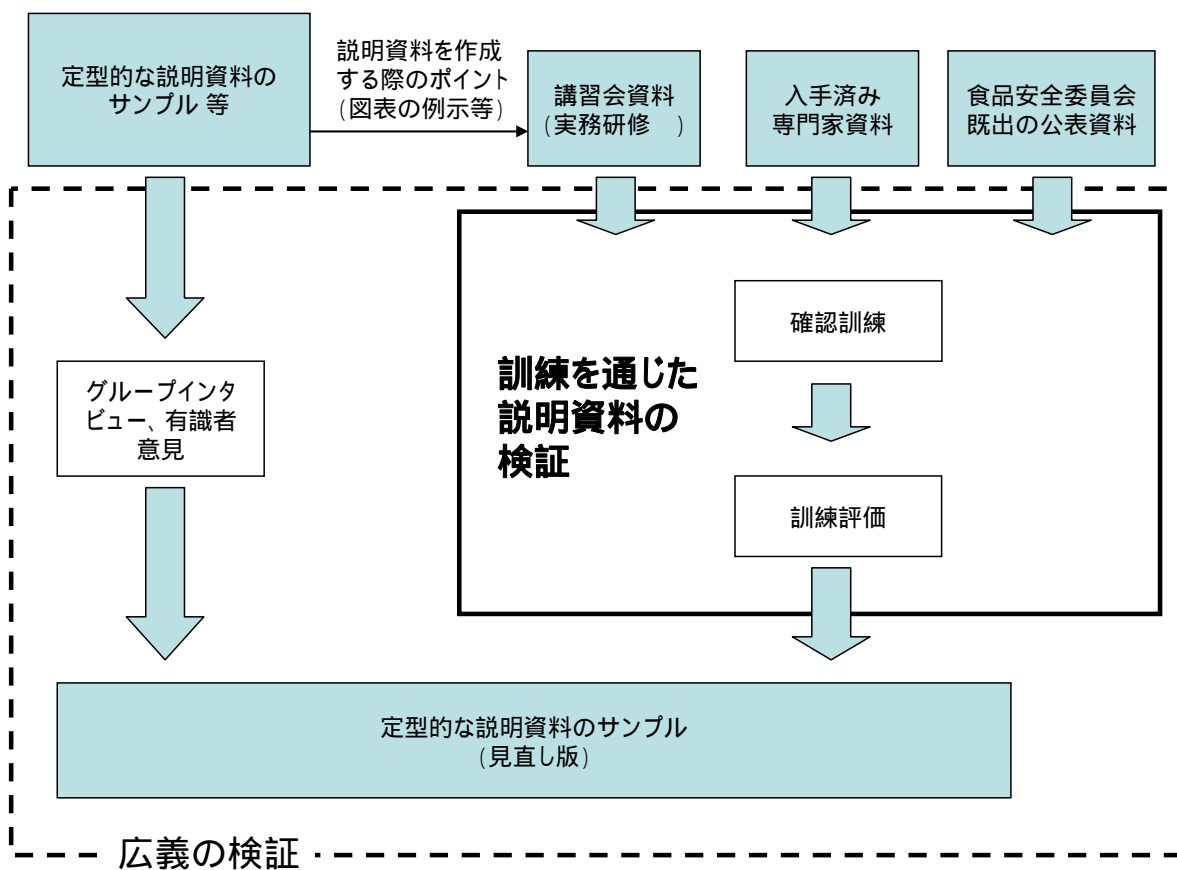


図 2.3-1 緊急時対応訓練での説明資料の検証に係る考え方

2.3.1 確認訓練に必要となる資料の検討

食品安全委員会事務局にて検討された平成 21 年度緊急時対応訓練（確認訓練）の訓練シナリオをもとに、各種訓練資料を作成した。

作成資料のうち評価に関する資料は、表 2.3.1 に示す評価方法および評価の視点に基づき用意した。

作成した訓練資料を表 2.3.2 にまとめる。

表 2.3.1 訓練における評価方法と評価の視点

評価方法	評価の視点
評価シート	<ul style="list-style-type: none">・ 第三者的な視点での評価（訓練シナリオ等の検討に係わった評価者、内部事情に通じた評価者、専門的知見を有する評価者、等）・ チェックシート形式の評価（自由記述形式での評価も併用）
参加者アンケート	<ul style="list-style-type: none">・ 訓練参加者による自己評価
アフター・アクション・レビュー（反省会）	<ul style="list-style-type: none">・ 訓練参加者の記憶が鮮明な時点におけるディスカッションを通じた自己評価
総括会議	<ul style="list-style-type: none">・ アンケートや評価シート等の分析に基づく評価・ 上記分析結果を踏まえたディスカッションによる評価

表 2.3.2 作成資料一覧

大分類	小分類	タイトル	ID	
訓練管理	訓練進行資料	実施要領	1	
		緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順(案)	2	
	シナリオ関連資料	期待される活動(案)	3	
		訓練シナリオ概要(素案)	4	
	訓練ロジ資料	執務室座席表	5	
訓練中(プレーヤー)	訓練時使用資料	ログ管理用エクセル	6	
		記者公表予定届	7	
		記者クラブ投込文	8	
	外部情報(訓練前)		1月25日1500日報(X国の情報等3事案)	9
			1月25日1600厚労省情報(第1報)	10
			1月26日0930RASFF情報	11
			1月26日1200厚労省プレス資料	12
			1月26日1800厚労省情報(第2報)	13
			1月28日1030週報	14
			1月28日1800厚労省情報(第3報)	15
			1月28日1900報道状況	16
			1月28日2300消費者庁連絡	17
			1月29日0830総括官会議資料	18
			1月29日0930厚労省プレス資料	19
			1月29日1000消費者庁・厚労省会見資料	20
	外部情報(訓練中)		1015消費者庁会見メモ	21
			1200報道状況	22
	訓練中(コントローラー)	問合せ	1015-45マスコミ問合せ3件	23
			1030国民問合せ1件	24
			1415-30マスコミ問合せ2件	25
1430国民問合せ1件			26	
模擬記者説明会	模擬記者用資料	模擬記者質問シナリオ	27	
	記者説明会ロジ資料	会見配置図	28	
		会場貼りだし	29	
		会場案内図	30	
訓練評価	評価者用記入資料	評価シート:資料作成	31	
		評価シート:記者説明会(事務局用)	32	
	参加者アンケート	参加者アンケート	33	
総括会議・評価結果	評価結果	模擬記者会見メモ(先生コメント)	34	
		模擬記者会見評価結果	35	
		参加者アンケート集計	36	
	総括会議資料	総括会議資料	37	

2.3.2 確認訓練に係る関係資料の作成及び整理

本項では確認訓練の詳細について示す。

(1) 形式と進め方

確認訓練では、以下に示す形式および進め方を設計した。

確認訓練は、シナリオ非提示型の実動訓練として実施する。訓練参加者には、訓練開始前段階の想定状況と「緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順（案）」（別添）を事前に提示するが、詳細な想定状況および参加者毎の分担は訓練当日の訓練開始前に実施する直前オリエンテーションで提示する。

確認訓練は、緊急事態等における食品安全委員会としての対応、特に科学的知見に基づいた危害物質などの迅速で分かりやすい、かつタイムリーな情報提供について機能強化を図ることを目的として実施する。

訓練当日のスケジュールのうち前半では、情報提供内容・方針及び形式・媒体の決定（委員・事務局会議を含む）情報提供資料の作成、情報提供の模擬を実施する。同後半では、前半に引き続き資料の作成・決定（委員・事務局会議を含む）・提供を実施するとともに、作成した資料に基づき記者を対象とした模擬的な「記者説明会」を実施する。

外部（専門委員、各リスク管理機関等）との間での情報連絡については、想定とし実施しない。

専門委員やリスク管理機関等への情報提供は本訓練では原則実施せず、コントローラーに対して連絡する。

訓練における事務局内の情報伝達は、口頭もしくは紙媒体及びメールで行う。電子データをやり取りする場合には、共有ドライブ（Oドライブ）の【H21 緊急時対応訓練】フォルダ内のファイルを用いる。

執務室内において訓練に参加する者は、ゼッケンを着用する。

プレーヤー：赤（総務課）、緑（評価課）、黒（勧告広報課）、紫（情報・緊急時対応課）
評価者：黄色　　コントローラー：白

(2) 日時・実施場所

以下の日時・場所にて訓練（事前オリエンテーション、総括会議を含む）を実施した。

直前オリエンテーション

平成 22 年 1 月 29 日（金） 9 時 30 分～10 時

食品安全委員会 中会議室

訓練当日

平成 22 年 1 月 29 日（金） 10 時～18 時

食品安全委員会 執務室、中会議室、委員長室、他

総括会議

平成 22 年 2 月 26 日（金） 10 時～12 時

食品安全委員会 中会議室

(3) 訓練当日（1月29日）のスケジュール

確認訓練当日のスケジュールは表 2.3.3 のとおりである。

表 2.3.3 確認訓練当日のスケジュール

時間	テーマ	場所	内容
9:30～10:00	直前オリエンテーション	中会議室	訓練設定状況の確認、訓練ルールの確認
10:00～17:00	実動訓練開始		
10:00～12:00	(訓練前半)	執務室、等	情報提供内容・方針及び形式・媒体の決定(委員・事務局会議を含む)、情報提供資料の作成、情報提供の模擬
12:00～14:00	中断	-	
14:00～14:15	中間オリエンテーション	中会議室	訓練上の状況確認
14:15～17:00	(訓練後半)	執務室、等	情報提供資料の作成・決定(委員・事務局会議を含む)、情報提供の模擬
16:30～17:00	(訓練後半)	中会議室	記者説明会の開催
17:00～17:15	休憩	-	
17:15～18:00	反省会・訓練講評	中会議室	実動訓練直後の感想等の整理

活動シナリオを提示しない訓練のため、時間進行が多少前後する可能性がある。

(4) 訓練参加者

訓練参加者は表 2.3.4 に示すとおりである。

表 2.3.4 訓練参加者

		メンバー
コントローラー (情報付与、訓練評価、等)		情報付与：情報・緊急時対応課 係長 訓練評価：全体 情報・緊急時対応課長 各課 総務課長 評価課長 情報・緊急時対応課課長補佐 勧告広報課長 三菱総合研究所
プレーヤー	実動訓練	総務課：課長、担当補佐、事務補助員 評価課：課長、調整官、担当補佐、担当専門官、担当係長 情報・緊急時対応課：課長、担当補佐、担当係長 勧告広報課：課長、担当補佐、担当係長 初動対応者：(当日に任意指名)
	委員事務局会議	委員事務局会議メンバー(委員、局幹部)
	模擬記者会見	委員長(スポークスパーソン) 勧告広報課長(司会) 担当課長(補佐役)
オブザーバ		緊急時対応専門調査会専門委員

(5) 訓練における想定概要

確認訓練では、以下に示すプロセスで想定について参加者への事前周知を行った。

- 予め訓練用の「日報【訓練】」を準備し、訓練4日前に、通常の日報と同時に「日報【訓練】」を配布することで、委員・事務局内に対して、訓練で扱う事例候補となる3事例について周知した。
- 次に、訓練前日の情報連絡会議において、通常の日報と同時に「週報【訓練】」を説明することで、委員・事務局内に対して、訓練で扱う1事例について、前日までの状況設定を周知した。
- 訓練当日は、「緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順(案)」を踏まえた想定とした。

訓練上の想定(訓練で扱った1事例)は以下のとおりである。

<p>1 危害因子 変異株ノロウイルス</p> <p>2 対象食品 輸入果実Q(X国産)</p> <p>3 状況設定(は想定、 は実動) (1) 訓練4日前～3日前まで 訓練4日前、海外X国リスク管理機関が、ホームページにより、果実Qを原因食品としたノロウイルスによる大規模食中毒が発生していることについて公表。 (日報【訓練】により委員・事務局内に訓練開始を宣言。日報【訓練】には、当該事案の情報以外に他2事例を混ぜて、訓練前日まで訓練のハザードを特定しない。) 一方、同4日前から、厚生労働省が、複数の都道府県において、ノロウイルスによる食中毒症状の発症が確認されたことについて情報連絡。 同3日前の朝、EU食品・飼料緊急警報システム(RASFF)により、X国における果実Qによる食中毒について、衛生当局による回収措置が進められていること、ウイルスは変異株であること、一部が日本に輸出された可能性があることを探知。 同3日前の昼、厚生労働省が、当該果実Qの輸入届出を保留するとともに輸入者を管轄する自治体を通じて販売中止、回収について指示したことをプレスリリース。</p>
--

(2) 訓練前日

食品安全委員会情報連絡会議において、当事案等について委員及び事務局幹部に説明。(当会議を通じて初めて、訓練のハザードやこれまでの状況設定について局内に周知。)

夕方、厚生労働省が、複数の都道府県におけるノロウイルスによる食中毒症状の発症について、製菓類の原材料として使用されていたX国産果実Qからウイルスを検出し、患者から分離されたウイルス株と遺伝子パターンが一致したこと、外交ルートによると因果実は特定のパッカーに限定されることが判明したこと、既にほとんどが回収済み、当該ノロウイルスはこれまで未確認の変異株であるなど確認情報について連絡(一部内容をプレスリリース)。

夕方、一部報道が、変異株ノロウイルスを“新型ノロウイルス”として過熱報道。深夜、消費者庁が、当事案について、10都道府県における広域の食中毒事案であること、“新型”ノロウイルスとして一部マスコミで過熱報道されていること等から、果実等食品に対する社会的影響が懸念されるため、翌朝の「情報総括官会議【訓練】」を開催する旨、緊急連絡。

(3) 訓練当日

早朝、「情報総括官会議【訓練】」が開催され、消費者庁から食品安全委員会に対して国民に向けて科学的知見に基づいた情報を発信するよう要請。会議後、厚生労働省がプレスリリース、消費者庁及び厚生労働省が合同記者会見を実施。

消費者庁からの要請を受けて開催した臨時委員打合せにおいて、プレスリリースの方針を固め、その後、資料作成を開始。

複数のマスコミから科学的な詳しい説明(一部からは委員からの直接説明)の要望を受け、委員長の判断によりプレスリリースだけでなく「記者説明会」の開催を決定。

夕方4時30分から5時まで「記者説明会」を開催し、マスコミを通じて国民に向けて、科学的知見に基づいた情報についてわかりやすく説明。

4 その他

ノロウイルスによる食中毒について、専門家(微生物・ウイルス専門調査会専門委員)から、シナリオ作成に際して協力を得るとともに訓練当日の資料作成時にも協力を得る。

現実味があり、かつ、一部非提示で実践可能なシナリオを設定。

(6) 想定状況および訓練シナリオ

以下に、訓練における想定状況および訓練シナリオを示す。

(は、実践)

時間の経過		内容	備考
4 日前	1月25日(月)	10:30 ~ 情報・緊急時対応課情報班がX国リスク管理機関ホームページから第一報を入手。 < 第一報の内容 > X国において、原因不明の下痢、腹痛、嘔吐等 症状による患者が増加。	(想定)
		15:00 情報・緊急時対応課が日報で情報を共有。 < 情報の内容 > X国の情報及び他 2 事例	(実践) 日報【訓練】により委員・事務局内に訓練開始を宣言。日報【訓練】には、X国の情報以外に他 2 事例を混ぜて、訓練前日まで訓練のハザードを特定しない。但し、記者説明者には詳細を説明。
		16:00 厚生労働省が関係省庁に情報連絡(第1報)。 < 第1報の内容 > 2県において、原因食品不明のノロウイルスによる食中毒症状の発症が確認。	(想定)
3 日前	1月26日(火)	9:30 情報・緊急時対応課がEU食品・飼料緊急警報システム(RASFF)の確認により情報を入手。 < RASFF情報の内容 > ・X国における健康影響について、一次感染が果実Qを原因とした変異株ノロウイルスによるものが判明。 ・衛生当局による回収措置が進められている。 ・一部冷蔵及び冷凍品が日本に輸出された可能性がある。	(想定)
		9:40 情報・緊急時対応課が課内で事案に関する情報収集開始を意志決定。	(想定)
		9:40 ~ 情報・緊急時対応課情報班が情報収集を開始。 情報・緊急時対応課が評価課との連携を開始。 < 連携内容 > ・公表資料作成準備(既存資料の確認等) ・専門委員の予定確認 等	(想定) (想定)
		12:00 厚生労働省が果実Qについて輸入業者を管轄する自治体を通じて輸入業者に販売中止、回収等指示したことをプレスリリース。	(想定)

		18:00	厚生労働省が関係省庁に情報連絡(第2報)。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><第2報の内容> 8都道府県において、ノロウイルスによる食中毒症状の発症が確認。</p> </div>	(想定)
前日	1月28日(木)	10:30~	情報連絡会議において、情報・緊急時対応課が海外発生事案及び厚生労働省からの情報について委員及び事務局幹部に説明。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><説明に使用する資料> 週報(X国の情報)、RASFFの情報、厚生労働省通知等</p> </div>	(実践) 当会議をとおして初めて、訓練のハザードやこれまでの状況設定について局内に周知。プレーヤーに微生物専門調査会専門委員の資料を提供。
		17:30	厚生労働省が消費者庁等関係省庁に情報連絡(第3報)。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><第3報の内容> ノロウイルス食中毒症状に関するプレスリリースについて (主な内容) ・原因食品がX国産輸入果実Qに特定された。 ・一次感染者からヒトヒト感染により感染が拡大した。 ・当該ノロウイルスはこれまで未確認の変異株である。 ・当該果実Qは製菓類に利用されていた。 ・外交ルートによると原因果実は特定のパッカーに限定されることが判明。 ・既にほとんどが回収済み。</p> </div>	(想定)
		18:00	厚生労働省が同上内容についてプレスリリース(1回目)。 一部報道が突如加熱報道。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><過熱報道の主な見出し> ・「猛威!“新型”ノロウイルスによる大規模食中毒発生！」 ・「“新型”ノロウイルス上陸！」 ・「脅威!“新型”ノロウイルスの毒性は強毒性新型インフルエンザに匹敵!か?」</p> </div>	(想定)
		18:30	情報・緊急時対応課が委員会HPの関係省庁からのお知らせに、厚生労働省プレスリリース資料をリンク設定。	(想定)
		23:00	消費者庁が「情報総括官会議」の開催について関係省庁に緊急連絡。(緊急時対応係が携帯電話で受信) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><連絡の内容> 明朝8時30分から「情報総括官会議」を開催する。 (理由) ・本事案について、10都道府県における広域の食中毒事案であること ・“新型”のノロウイルスであること ・一部マスコミで過熱報道されていること ・果実等食品に対する社会的影響が懸念されること</p> </div>	(想定)

		23:00	緊急時対応係が局幹部に携帯電話により連絡。	(実践：局長に電話。)	
当日	1月29日(金)	8:30～	「情報総括官会議【訓練】」が開催。 <主な会議の内容> ・事案の詳細について厚生労働省から説明。 ・同日AM9:45に消費者庁として厚生労働省と合同記者会見を行う。 ・消費者庁から食品安全委員会に対して国民に向けて科学的知見に基づいた情報を発信するよう要請。	(想定)	
		直前オリエンテーション (9:30～10:00)	9:30	厚生労働省がプレスリリース(2回目)。 <主なプレス内容> 拡大防止策について(商品回収を実施。食べないよう呼びかけ。) 原因究明について(海外、国内の状況)「新型のノロウイルスに関する科学的知見は食品安全委員会に問合せほしい。」 再発防止策について(相手国X国に対して衛生管理強化等を要請。)	(想定)
			9:45	消費者庁が厚生労働省と合同記者会見を実施。 <各大臣の会見内容> ・厚生労働省のプレス(2回目)内容と同じ ・「科学的な詳しい内容は食品安全委員会に訊いてほしい。」と発言。	(想定)
		9:30	「情報総括官会議」を受けて局長が委員長と相談し、委員長の指示で臨時委員打合せ(1回目)(同日10:00開始)を招集。	(想定)	
訓練前半 (10:00～12:00)		10:00～	ログ管理者が活動経過について記録を開始。(記載内容は、随時精査の上、情報提供参考資料として活用。)	(実践：LANのOdrive内の様式を活用。)	
		10:00～10:30	緊急時対応係から指示を受けた職員Aが委員会HP重要なお知らせに、厚生労働省プレス資料をリンク設定するとともに既存資料を再掲載。	(実践：リンク設定のみ実施。研修の成果を試行。)	
		10:00 10:15	臨時委員打合せ(1回目)を開催。 <打合せの内容> ・局長が、「情報総括官会議」の内容を説明。 ・勧告広報課長が、消費者庁記者会見の内容を説明。 ・情報・緊急時対応課が、食品安全委員会の対応について説明。(厚生労働省資料のHPリンク設定等) ・プレスリリースの実施を決定するとともにプレス資料の作成方針を決定。(ステークホルダーの想定について意思統一) ・情報・緊急時対応課が、「緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順(案)」に基づくプレスまでの流れを説明。 ・委員長が、臨時委員・事務局会議(2回目)の開催(同日15:30開始)を招集。	(実践：ステークホルダーの意思統一は、LANのOdrive内の様式を活用。)	

10:15 ~ 10:30	<p>臨時事務局会議（資料作成打合せ会）（1回目）を開催。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><打合せ内容> 臨時委員打合せ決定のプレス資料の作成方針を受け、具体的な内容について検討。 <留意点> 関係者間でステークホルダーの想定について再確認。</p> </div>	（実践：ステークホルダーの意思統一は、LANのOdrive内の様式を活用。）
10:15	消費者庁記者会見メモを委員・事務局内回覧	（実践）
10:30 ~	プレスリリース（投込用）資料の作成を開始。	（実践：ステークホルダーの意思統一は、LANのOdrive内の様式を活用。）
10:15、10:30、10:45	<p>勧告広報課及び総務課がマスコミからの問合せを受け、当情報を委員及び局内に伝達。（消費者庁記者会見の発言（「科学的な詳しい内容は食品安全委員会に訊いてほしい。」）を受けて問合せが殺到）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><問合せの概要> ・受付数： 3社 ・内容： 科学的な詳しい説明（2社からは委員からの直接説明）についての要望</p> </div>	（実践：問合せ内容を情報の伝達により記者説明に反映。）
	<p>勧告広報課が食の安全ダイヤルを受け、当情報を委員及び局内に伝達。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><問合せの概要> ・受付数： 1人 ・内容： 「不安!」、「安全か?」等</p> </div>	（実践：問合せ内容を情報の伝達により記者説明に反映。）
11:00	マスコミからの要望を受け、局長が委員長と相談し、委員長の指示でプレスリリースだけでなく「記者説明会」の開催を決定（開催時間、場所、説明者を決定）。	（実践）
11:00 ~	作成中のプレスリリース（投込用）資料について、「記者説明会」での使用を踏まえたものに微調整。	（想定）
11:30 ~ 11:45	<p>「記者説明会」打合せ会を開催（主催：勧告広報課）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><打合せ内容> 会場設営の準備・段取、司会進行等役割等の確認</p> </div>	（実践）
11:45	総務課が「記者説明会」開催について、本府大臣秘書官に連絡。	（想定）
	情報課が「記者説明会」開催について、消費者庁等関係省庁に連絡。	（想定）

		<p>勧告広報課が「記者説明会」開催について、官房と調整後、記者クラブに投込み。</p>	(想定)
<p>中断 (12:00 ~ 14:00)</p>	12:00	<p>キー局テレビニュースが報道(一部過熱気味)。</p>	(想定)
<p>中間オリエンテーション (14:00 ~ 14:15)</p>			
<p>訓練後半 (14:15 ~ 17:30)</p>	14:15、14:30	<p>勧告広報課及び総務課がマスコミからの問合せを受け、当情報を委員及び局内に伝達。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><問合せの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付数： 2社 ・内容： 科学的な詳しい説明(1社からは委員からの直接説明)についての要望 </div>	(実践：問合せ内容を情報の伝達により記者説明に反映。)
		<p>勧告広報課が食の安全ダイヤルを受け、当情報を委員及び局内に伝達。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><問合せの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付数： 1人 ・内容： 「不安!」、「安全か?」等 </div>	(実践：問合せ内容を情報の伝達により記者説明に反映。)
	15:00 ~ 15:15	<p>臨時事務局会議(資料作成打合せ会)(2回目)を開催(主催：情報課)。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><打合せ内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーの想定を確認。 ・分かりやすいことばの選択、記事にしてほしいポイント等理解しやすさに留意した資料であるかを確認。 </div>	(実践：ステークホルダーの意思統一は、LANのOdrive内の様式を活用。)
	15:15 ~ 15:30	<p>プレスリリース資料(投込用)に修正を加えつつ局内最終調整。(了解を取るプロセス)</p>	(実践)
	15:30 ~ 15:45	<p>臨時委員打合せ(2回目)を開催。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><会議内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリース資料(投込用)及び「記者説明会」資料について検討、決定。 ・資料は、プレスリリース用の鑑1枚、説明概要(A4サイズ)1枚、詳細参考資料2~3枚(研究成果のパワーポイント資料を活用)を想定。 ・提供情報、コメントの内容は、 <ul style="list-style-type: none"> 新型のノロウィルスの科学的知見(性質や感染食品について) 二次感染予防の視点での対策(食品の取扱や人感感染の注意点、食べてしまった場合の対応)等 ・説明に当たっての留意点を確認。 </div>	(実践)

	15:45 ~	プレスリリース資料（投込用）及び「記者説明会」資料の修正指示があった場合は修正。	（実践）
	16:15 ~ 16:30	「記者説明会」資料を印刷。	（実践）
	16:30~ 17:00	「記者説明会」を開催。	（実践：科学部の記者を想定。委員長が説明。会場準備は当日又は前日に実施。）
	16:30 （「記者説明会」開始と同時刻）	勧告広報課がプレスリリース（投込み及びHP掲載）を実施。	（想定）
勧告広報課がプレスリリースを関係省庁に連絡。（情報課が総括官ルートで関係省庁担当者に連絡。）		（想定）	
勧告広報課がメルマガを発信。		（想定）	
	休憩（17:00 ~ 17:15）		
	「記者説明会」の講評・反省会（17:15 ~ 18:00）		
	19:00	キー局テレビニュースで報道。	（想定）

「緊急事態等におけるプレスリリース等情報提供の準備手順」(案)：

緊急事態等における情報提供について、現行の緊急時対応マニュアルには情報提供に特化した分かりやすい手順が整理されていないことから、当訓練を契機に、緊急時対応マニュアルのうち「食品安全委員会事務局内緊急時対応事務処理要領」から緊急事態等における情報提供に係る部分を抽出、これに特化した委員会の準備手順について整理したチャートを作成。なお、予め訓練前日までに、局内全員に配布の上、周知。

2.4 定型的な説明資料の実効性の検証に必要な事項の整理・分析

2.4.1 評価結果から得られた課題の整理

(1) 訓練の結果

- 一連の実務的活動（資料作成から記者説明会の実施まで）が概ね手順どおりに実践され、想定した対応手順が確認されるとともに、短時間のうちに円滑に対応できるよう、より具体的かつ明確な役割分担や一層具体的な手順の整理・工夫の必要性が確認された。
- 実務研修により習得した知識・技術（緊急事態等における初動対応の要点や理解しやすい情報提供等）を活用したことにより、現状の知識・技術のレベルが確認されるとともに、分かりやすい情報提供に向けた改善点が見つかった。
- 実務研修を含めた訓練の継続により組織全体の対応能力を一層向上させる必要性が確認された。

(2) 結果の検証

確認訓練中の事務局の対応について

< 評価される点 >

- 一連の実務的活動（資料作成から記者説明会の実施まで）が概ね手順どおりに実践され、想定した対応手順が確認された。

< 課題 >

- 役割分担について、会議開催の告知等情報伝達が不明確であったこと、短時間による対応が必要なことなどから、より具体的かつ明確にしておく必要がある（担当者不在の場合も想定）。
- 進行管理の方法について、事務局内の共有ドライブによる方法が十分に周知徹底されなかった、扱いが不慣れだったことから、ホワイトボードの活用による方法を再検討する必要がある。
- 実際のプレスリリースや記者説明会の時刻の設定について、政務三役への連絡等の手続きを考慮する必要があることから、当手続きをマニュアル等に組み込む必要がある。
- 臨時の委員打ち合わせや事務局会議での検討について、プレスリリース等の設定時刻まで短時間であり十分な検討が行われなかったことから、短時間のうちに効率よく検討し、意思決定されるような工夫が必要である。
- 臨時の委員打ち合わせや事務局会議での検討について、社会情勢を踏まえた対応の検討

が重要なことから、マスコミ情報等外部の状況を的確に把握し、把握情報を迅速に反映させる工夫が必要である。

- 資料の作成における担当者間の認識について、ステークホルダーの想定や伝えるべきポイントに関して一部認識の不一致があったことから、意思統一が徹底される工夫が必要である。
- 資料の作成作業について、担当者それぞれが各自の座席で行っていたため、事態が長期化する場合は、担当者間の連携の確保や作業の効率化、徹底した情報の管理が一層求められることから、場合に応じて資料作成者が作業部屋に会する方式の導入を検討する必要がある。

確認訓練における模擬記者説明会について（情報提供資料の作成過程も含む）

< 評価される点 >

- 資料の記載内容について、結論を最初に述べる等構成が良かった。
- 説明者（小泉委員長）の対応について、冷静かつ丁寧に行っているとともに的確なメッセージと端的な説明でわかりやすかった。

< 課題 >

- 説明資料における記載情報について、更に加える方が望ましい情報もあったことから、短時間で必要事項を漏れなくまとめる作業面の工夫が必要と思われる。（具体的な予防方法、具体的な統計データ、ハイリスクグループの対応等）
- 公表資料に添付する図表について、受け手によっては誤解される可能性があることから、分かりやすい説明文章を添付するような工夫が必要である。
- 説明者による説明について、今後一層円滑に行うためには、想定されるQ & Aや応答要領を可能な範囲で準備するとともに、話し方などのメディア対応の事前レクチャーを検討する必要がある。
- 資料や説明に用いられていた言葉について、専門用語が一部で用いられていたことから、一般的で平易な分かりやすい言葉の使用に努める必要がある。

確認訓練における訓練設計や当日の運営について

< 評価される点 >

- 訓練をシナリオ一部非提示で行ったことにより、形式的な訓練にならず、実践的で役に立つ訓練であった。

< 課題 >

- 訓練のシナリオ一部非提示に関連して、想定部分と実践部分について、参加者の認識が異なり、参加者に戸惑いを生じさせたことから、想定部分を明確にしたルールの訓練参加者への提示が必要である。
- 訓練のシナリオ一部非提示に関連して、訓練参加者の指名や訓練当日のタイムスケ

ジュールの周知を、訓練の前日又は当日に行ったために一部で通常業務との調整に混乱を生じさせたことから、周知の方法や時期に工夫が必要である。

- ・ 訓練参加者が事務局職員の一部に限られることについて、訓練に参加しない事務局職員にも緊急時対応の動きを伝えるよい機会になることから、ホワイトボードの活用等による積極的な状況の周知などの工夫が必要である。

実務研修について

< 評価される点 >

実践向きで非常に有意義であった。特に、

- ・ 講演は、内容が国民の関心に応える対応を改めて考えるものであった。
- ・ 演習は、局全体が係わることで認識を共有する場になった。

< 課題 >

実践向きで非常に有意義であったことから、人事異動による転入者に対する通常の事務局内研修に含めるなど定例化して今後も継続する必要がある。(実務研修 及び)

2.4.2 検証にあたって必要となる事項の明確化

緊急時対応訓練（確認訓練）の結果を踏まえ、以下のように今後の対応策を検討した。

(1) 今後の対応策

確認訓練中の事務局の対応について

緊急時対応マニュアルに基づいた緊急時対応の手順について、事務局が短時間のうちに円滑に対応できるよう、次の事項を反映しつつより具体的に整理した「食品安全委員会緊急時対応手順書（仮称）」を策定し、研修により事務局全体に周知するとともに、その実効性を訓練で確認する。

- A) 担当者の具体的な役割分担の明確化（担当者不在の場合も想定）
- B) ホワイトボードの活用による進行管理の徹底
- C) 政務三役への連絡等を踏まえた手続の整理
- D) 臨時の委員打合せや事務局会議における検討項目の整理
- E) 臨時の委員打合せや事務局会議における外部状況の確認の徹底
- F) 想定ステークホルダーや伝えるべきポイントの意思統一など資料作成の留意点の明確化
- G) 事態の長期化が予想される場合の資料作成場所の設定

確認訓練における模擬記者説明会について（情報提供資料の作成過程も含む）

の対応策で策定する「食品安全委員会緊急時対応手順書（仮称）」に次の事項を盛り込み、の対応策と同様、研修により事務局全体に周知するとともに、その実効性を訓練で確認する。

- A) ハザードや事案ごとに対応した情報提供すべき必要事項の整理（「緊急事態等におけるハザード別の情報提供の場合分けめやす（修正案）」を想定）
- B) 資料に添付する図表への説明文章の添付
- C) 資料作成や説明を行う際の分かりやすい言葉の選択
- D) 想定されるQ & Aや応答要領の準備、メディア対応の事前レクチャーの実施

確認訓練における訓練設計や当日の運営について確認訓練当日の訓練の設計や運営シナリオの一部非提示の訓練の場合、次のA)及びB)の事項を考慮して運営する。また、当日は、事務局全体が一体となった緊急時対応を想定して次のC)の事項を実施する。

- A) 想定部分を明確にしたルールの提示
- B) 訓練参加者の指名や訓練当日のタイムスケジュールの周知方法や時期の検討

C) ホワイトボードの活用による訓練状況の周知

実務研修について

緊急事態等における初動対応の要点の研修について人事異動による転入者を対象にした「新規着任者研修」の一講座に位置づけるとともに、「食品安全委員会緊急時対応手順書（仮称）」を周知する研修についても定例化できるよう検討する。また、メディア対応に関する研修の企画も検討する。

(2) 今後の対応策のうち定型的な説明資料の見直しに資する事項

総論

緊急時対応訓練における説明資料の検証の結果、総論としては以下のような事項について留意・配慮すべきとの示唆が得られた。

- 定型的な説明資料を利用して説明・提示を行う際には、例えば以下の点に留意すべきである。
 - ・ 重症化しない理由等があれば、その理由に関して説明する。
 - ・ 手洗いの方法等、消費者等に対してわかりやすい対策を提示する。
 - ・ わかりやすいデータ（数字）で提示する。
- 定型的な説明資料を利用する際には、以下のような補足を付することに配慮すべきである。
 - ・ 日常的に話される言葉を使う。
 - ・ ポイントを絞って説明する。
 - ・ 短い文章で簡潔に説明する。
 - ・ 分かりやすい図、イラストにする。

各論

緊急時対応訓練における説明資料の検証結果として得られた示唆を踏まえ、本報告書章にて作成した定型的な説明資料の個々に対して見直しを行った。個々の説明資料に対する具体的な反映事項は、本報告書 1.4 節における消費者等の視点からの検証も含め、別紙に取りまとめた。

IV. まとめ

目次

1. まとめ	117
2. 今後の課題	118

1. まとめ

本調査においては、以下の調査項目を実施した。

(1) 国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査

理解しやすい説明や、食品安全委員会の信頼性を高める表現及びスピード感のある対応が求められることから、以下の調査を実施した。なお、調査に当たっては、食品安全委員会緊急時対応専門調査会及び食品安全委員会事務局(以下「事務局」という。)と対象とするハザードの種類や健康影響の程度等について、検討・調整を行った。

食品安全に係る事案の報道等における図表・グラフィック・様式等の類型分析

平成8年から現在まで、国内で発生した食品安全に係る事案等の国内における報道等について、報道等に用いられた図表・グラフィック・様式等を対象とするハザードの種類や健康影響の程度等パターンに類型分析し、緊急事態において、理解しやすい説明をする際に留意すべき点を取りまとめ整理した。

緊急時対応の充実のための定型的な説明資料の作成

食品安全委員会の緊急時対応を更に充実させるため、対象とするハザードの種類や健康影響の程度等段階に応じた定型的な説明(単なる事件の説明ではない)資料を、前項の調査結果に基づき、過去の食品安全委員会や厚生労働省等の対応を参考に作成した。

(2) 定型的な説明資料の実効性の検証

「国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査」で作成した定型的な説明資料について、消費者や食品安全分野の専門家の視点から検証し必要な改善を図ると共に、実効性を確認した。

消費者等の視点からの検証

本調査で作成した定型的な説明資料について、有識者への説明会や消費者へのアンケート調査等により消費者等の視点から検証し、消費者等の意見を取りまとめ整理の上、意見を反映した必要な改善を図った。本調査では、以下の3種類の方法で検証を実施した。

- ・有識者への説明会
- ・消費者へのアンケート調査
- ・消費者によるグループディスカッション

緊急時対応訓練における実践による検証

訓練において、今後起こりうる事例について、「国民に対する説明資料の内容や表現等の高度化のための調査」で作成した定型的な説明資料を試行活用しつつ、緊急記者会見用説明資料及びホームページ掲載用説明資料を試行作成し、模擬記者会見においてプレゼンテーションを試行実施することを前提に、1)の調査結果(「消費者等の視点からの検証」)を踏まえ、緊急事態発生時に国民に対し危害物質の健康影響等の一層迅速で理解しやすい情報提供について計画提案するとともに、訓練での試行活用及び検証に必要な資料を作成した。

2. 今後の課題

今後も継続的に訓練を実施していく中で、適切な情報発信のあり方を想定した、様々な説明資料を試行・検証していくことが重要である。